

平成 21 年度

岩手県農業研究センター 年 報

平成 22 年 10 月

目 次

I 農業研究センターの概要	
1 組織機構・職員数	- 1
2 会議、委員会、部会等の運営	- 2
(1) 農業試験研究推進会議等の開催	
ア 新規試験研究課題の評価と選定	
イ 試験研究成果の評価と採択	
ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価	
エ その他	
オ 外部評価委員	
(2) 企画運営会議、全体会議の概要	- 9
(3) 委員会等の運営	- 14
ア ほ場管理委員会	
イ 図書管理委員会	
ウ 研究報告等編集委員会	
エ 参観デー等企画運営委員会	
オ 特許審査委員会	
カ 備品導入検討委員会	
キ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会	
ク 環境美化委員会	
ケ 職員衛生委員会	
コ 原種等生産管理委員会	
(4) その他会議	- 18
ア 全国農業関係試験研究場所長会議	
イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議	
ウ 全国農業関係試験研究主務課長・場長会議	
エ 全国畜産関係試験研究場所長会議	
オ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議	
カ 岩手県試験研究機関評価に係る公設試所長等会議	
キ 東北農業試験研究推進会議	
ク 東北地域研究・普及連絡会議	
ケ 県内で開催された関係学会	
コ 北東北3県農業試験研究センター企画経営室長会議	
II 試験研究の推進	
1 研究活動の概要	- 1
2 トピックス	- 2
(1) 特許・品種登録出願状況	
(2) 表彰等受賞状況	
(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進	
(4) その他	
3 研究室の動き	- 8
(1) プロジェクト推進室	
(2) 企画管理部	
(3) 技術部	
(4) 環境部	

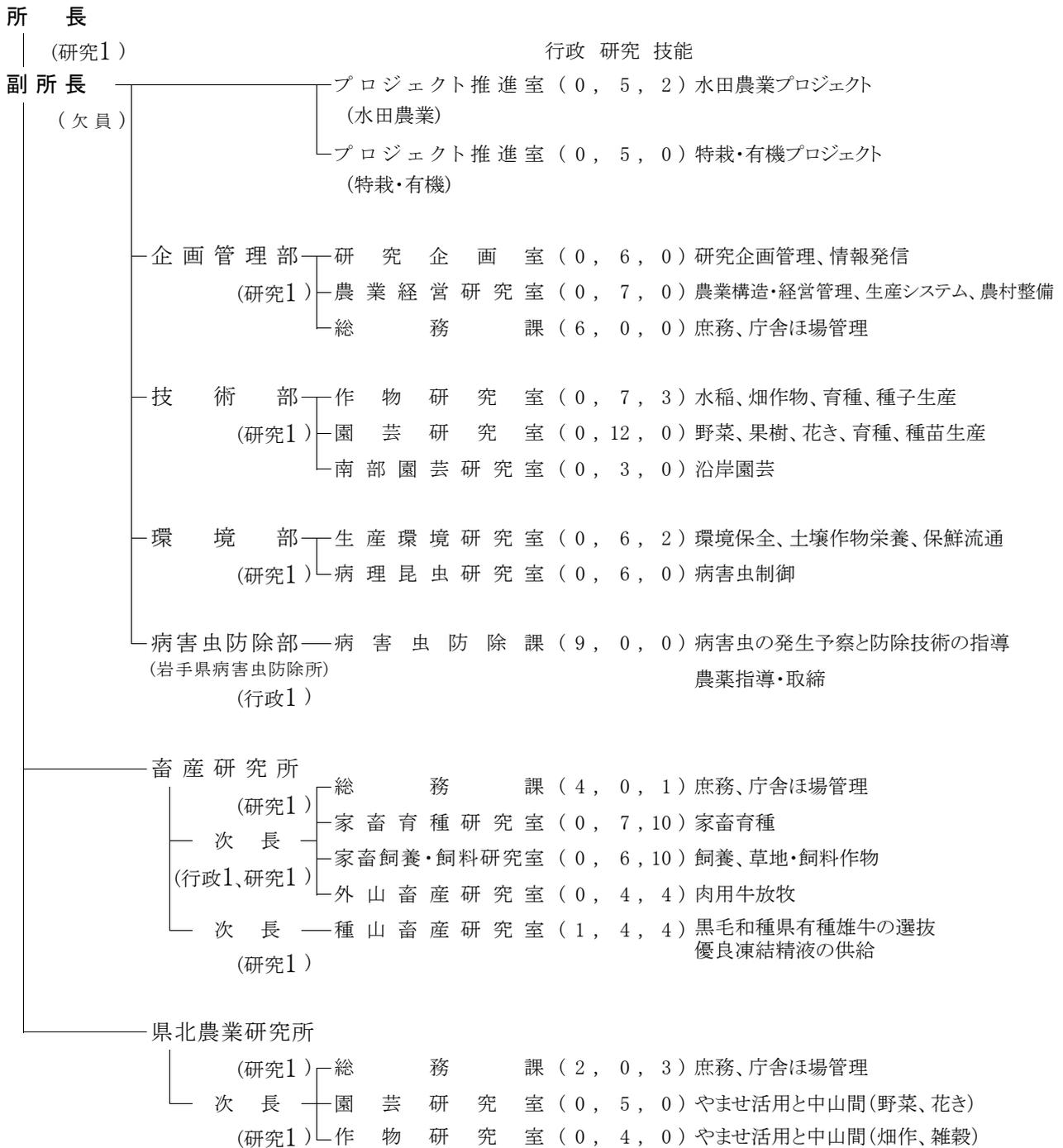
(5) 病害虫防除部	
(6) 畜産研究所	
(7) 県北農業研究所	
4 平成21年度試験研究課題	- 18
(1) 細目課題分類	
(2) 試験研究課題一覧	
(3) 要望課題の措置	
5 共同研究等の推進	- 31
(1) 国庫委託研究事業	
(2) 農研機構プロジェクト(交付金プロジェクト)研究	
(3) 農林水産省委託プロジェクト研究事業	
(4) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業	
(5) 重点地域研究開発推進プログラム(地域ニーズ即応型)	
(6) その他独法等からの委託	
(7) 民間委託試験	
(8) (財)岩手生物工学研究センターとの共同研究	
(9) 他の公設試との共同研究	
(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会	
(11) その他共同研究	
(12) 産学官連携	
6 現地試験の実施	- 38
III 試験研究の成果	
1 試験研究成果	- 1
(1) 平成21年度成果数	
(2) 外部評価結果(集計)	
(3) 平成21年度成果名及び外部評価結果一覧	
2 追跡評価	- 6
(1) 評価視点	
(2) 追跡評価の調査方法	
(3) 追跡評価結果	
3 東北農業試験研究成果	- 7
(1) 研究成果数	
(2) 研究成果名	
IV 試験研究成果の発表	
1 試験成績書等刊行物	- 1
2 研究レポート	- 2
3 岩手県農業研究センター研究報告	- 4
4 学会等研究報告	- 6
5 雑誌等掲載	- 13
6 新聞等掲載	- 17
7 テレビ・ラジオ放送	- 21
8 指導資料等掲載	- 22
9 図書資料収集・提供	- 24
10 ホームページ	- 24

V	指導・啓発活動	
1	技術伝達研修等の実施	- 1
2	現地指導・研修会等への講師派遣	- 3
3	視察者、見学者の受け入れ状況	- 15
4	春季一般公開及び参観デー	- 15
5	現地ふれあい農業研究センター	- 15
6	一日子供農業研究員	- 15
7	農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者	- 16
8	研修生の受け入れ	- 17
	(1) 海外研修員	
	(2) 北東北3県連携に係る人事交流(研修受入)	
	(3) 短期研修生	
	(4) 体験学習の受け入れ	
	ア 小中学校及び高等学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの	
	イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの	
	ウ インターンシップ等に対応したもの	
9	協議会、委員会等委員	- 19
VI	職員研修	
1	大学院派遣	- 1
2	海外派遣・研修	- 1
3	国内研修への派遣	- 1
	(1) 依頼研究員	
	(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)	
	(3) 農林水産関係研究リーダー研修	
	(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修	
	(5) 農林水産関係中堅研究者養成研修	
	(6) その他	
4	所内研修等	- 4
5	所内セミナー等	- 5
VII	試験研究以外の業務概要	
1	作物の原々種の採種	- 1
	(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産	
	(2) その他原々種種子の生産	
2	作物の原種の採種	- 2
	(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産	
	(2) その他原種種子の生産	
3	種苗等の配布	- 3
	(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布	
	(2) その他種苗の配布	
4	県有種雄牛の精液の供給	- 5
	(1) 黒毛和種	
	(2) 日本短角種	
5	種豚、種鶏等の配布	- 6
	(1) 銘柄鶏の配布	

6	寄託放牧	-	6
	(1) 牛			
	(2) 馬			
VIII 人事、予算、財産				
1	岩手県農業研究センター予算	-	1
2	建物、用地の面積及び飼養家畜数	-	2
	(1) 建物・用地の面積			
	(2) 飼育家畜頭数			
3	種苗登録、特許等	-	3
	(1) 種苗登録			
	(2) 特許、実用新案			
	(3) 一般に公開しているプログラム等			
4	表彰	-	6
5	職員名簿	-	9
沿 革				

農業研究センターの概要

1 岩手県農業研究センター 組織機構・職員数



(職員数)

	本 部		畜産研究所			県北農業研究所	合 計
	(北上市)	南部園芸研究室 (陸前高田市)	(滝沢村)	外山畜産研究室 (盛岡市玉山区)	種山畜産研究室 (住田町)	(軽米町)	
行政	16		5		1	2	24
研究	58	3	15	4	5	11	96
技能	7		21	4	4	3	39
合計	81	3	41	8	10	16	159

2 会議、委員会、各部等の運営

(1) 農業試験研究推進会議等の開催

ア 新規試験研究課題の評価と選定

(ア) 第1回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等	農産	園芸			畜産	総合	県北振興*
		(果樹)	(野菜)	(花き)			
開催日	H21.7.29(水)	H21.7.30(木)			H21.7.28(火)	H21.7.29(水)	H21.7.31(金)
参集範囲	(財)岩手生物工学研究センター	○				農産部会と合同開催	
	農業振興課	○					
	農業普及技術課	○		○			○
	農村計画課	○					
	農産園芸課	○		○			○
	畜産課				○		
	盛岡地方振興局農政部				○		
	県南広域振興局花巻総合支局農林部						○
	宮古地方振興局農政部				○		
	中央家畜保健衛生所				○		
	農業大学校			○	○		
	中央農業改良普及センター(県域)	○		○	○		○
	中央農業改良普及センター(軽米)						○
	中央農業改良普及センター(地域)			○			○
	八幡平農業改良普及センター				○		
	一関農業改良普及センター	○					
久慈農業改良普及センター					○		
二戸農業改良普及センター					○		

注1)*は県北振興連携プロジェクトの略(ホウレンソウ・雑穀に関する試験研究課題について検討)

注2)農産部会と総合部会は合同開催

b 協議事項

- 平成22年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- 平成22年度新規試験研究課題(案)について
- 平成21年度試験研究成果(案)について (※農産・総合同部会のみ)
- その他

(イ) 第1回内部調整会議

a 開催日 平成21年9月1日(火) 14:00～

b 協議事項

- 平成22年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- 平成22年度新規試験研究課題(案)について
- 平成21年度試験研究成果(案)について
- その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

(ウ)第1回外部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等		農産	園芸			畜産	総合	県北振興*	
			(果樹)	(野菜)	(花き)				
開催日		H21.9.16(水)	H21.9.16(水)	H22.9.15(水)	H22.9.15(水)	H21.9.17(木)	H21.9.16(水)	H21.9.18(金)	
参集範囲	外部評価委員	○	○	○	園芸部会(野菜)と合同開催	○	農産部会と合同開催	○	
	農業農村指導士							○	
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○					○	○
	岩手県農業共済組合連合会	○	○	○					
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○					○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○					
	岩手県農業卸商業協同組合	○	○	○					
	岩手県農業公社	○						○	
	岩手県農業機械協会	○							
	岩手県畜産協会							○	
	新岩手農業協同組合								○
	花巻農業協同組合								○
	一戸町担い手育成総合支援協議会								○
	雑穀生産者(花巻・二戸・軽米・九戸)								○
	(株)プロ農夢花巻								○
	農産園芸課								○
	久慈地方振興局農政部								○
	二戸地方振興局農政部								○
	中央農業改良普及センター								○
	久慈農業改良普及センター								○
二戸農業改良普及センター						○			

注1)*は県北振興連携プロジェクトの略(ホウレンソウ・雑穀)に関する試験研究課題について検討)

注2)農産部会と総合部会、園芸部会(野菜)と園芸部会(花き)は合同開催

b 協議事項等

- (a) 平成21年度の主な取組みについて
- (b) 平成21年度実施中の試験研究課題について
- (c) 平成22年度の新規試験研究課題について

(エ)第1回総合調整会議

a 開催日 平成22年10月26日(火) 13:00～

b 協議事項等

- (a) 平成22年度試験研究を要望された課題とその措置について
- (b) 平成22年度新規試験研究課題(案)について
- (c) 平成21年度試験研究成果(案)について
- (d) その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長
 農業普及技術課総括課長、中央農業改良普及センター所長

イ 試験研究成果の評価と採択

(ア) 第2回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等	農産	園芸			畜産	総合	県北振興*
		(果樹)	(野菜)	(花き)			
開催日	H21.12.7(月)	H21.12.9(水)	H22.12.9(木)	H22.12.7(火)	H21.12.4(金)	H21.12.3(木)	H22.12.8(水)
(財)岩手生物工学研究センター	○			○			
農業普及技術課	○	○	○	○	○	○	○
農村計画課	○					○	
農産園芸課	○	○	○	○			○
畜産課					○		
盛岡地方振興局農政部					○		○
県南広域振興局農林部					○		○
久慈地方振興局農政部					○		○
二戸地方振興局農政部							○
中央家畜保健衛生所					○		
県北家畜保健衛生所					○		
県南家畜保健衛生所					○		
農業大学校			○	○	○	○	○
中央農業改良普及センター(県域)	○	○	○	○	○		○
中央農業改良普及センター(軽米)			○		○		○
中央農業改良普及センター(地域)	○		○				○
八幡平農業改良普及センター	○				○		○
一関農業改良普及センター	○				○		
宮古農業改良普及センター(岩泉)					○		
久慈農業改良普及センター							○
二戸農業改良普及センター						○	○

注1)*は県北振興連携プロジェクトの略(ホウレンソウ・雑穀に関する試験研究課題について検討)

b 協議事項

- (a) 平成21年度試験研究成果(案)について
- (b) 試験研究推進計画について
- (c) その他

(イ) 第2回内部調整会議

a 開催日 平成22年12月17日(金) 13:00～

b 協議事項

- (a) 平成21年度試験研究成果(案)について
 - ①内部評価(成果評価)
 - ②外部検討会議提案課題の確認
- (b) その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

(ウ) 第2回外部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等	農産	園芸			畜産	総合	県北振興*
		(果樹)	(野菜)	(花き)			
開催日	H22.1.6(水)	H22.1.5(火)	H22.1.12(火)	H22.1.6(水)	H22.1.8(金)	H22.1.7(木)	H22.1.13(水)
参集範囲	外部評価委員	○	○	○	○	○	
	東北農政局岩手農政事務所	○	○	○	○		
	家畜改良事業団岩手種雄牛センター				○		
	全国農業協同組合連合会岩手県本部	○	○		○		○
	岩手県農業共済組合連合会	○	○	○	○		
	岩手県土地改良事業団体連合会					○	
	岩手県農産物改良種苗センター	○	○	○	○		○
	岩手県植物防疫協会	○	○	○	○		
	岩手県農薬卸商業協同組合	○	○	○	○		
	岩手県農業公社	○				○	
	岩手県農業機械協会	○					
	新岩手農業協同組合						○
	一戸町担い手育成総合支援協議会						○
	リンドウ生産者(JA新しいわて北部管内)						○
	促成アスパラガス生産者(JA新しいわて奥中山管内)						○
	ホウレンソウ生産者(JA新しいわて久慈管内)						○
	雑穀生産者(二戸・軽米・九戸)						○
	久慈地方振興局農政部						○
	中央農業改良普及センター						○
	久慈農業改良普及センター						○
二戸農業改良普及センター						○	

注1)*は県北振興連携プロジェクトの略(ホウレンソウ・アスパラガス・リンドウ・雑穀に係る試験研究課題について検討)

b 協議事項

- (a) 平成21年度試験研究成果(案)について
- (b) その他

(エ) 第2回総合調整会議

a 開催日 平成22年1月25日(月) 13:00～

b 協議事項

- (a) 平成21年度試験研究成果(案)について
- (b) その他

c 参集範囲

農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長
 農業普及技術課総括課長、中央農業改良普及センター所長

ウ 試験研究課題の年度評価及び事後評価

(ア) 第3回内部検討会議

a 開催日及び参集範囲

部会名等	プロジェクト推進室	企画管理部	技術部		環境部	畜産研究所	県北農業研究所
			(作物関係)	(園芸関係)			
開催日	H22.2.24(水)	H22.2.24(水)	H22.2.25(木)	H22.3.1(月)	H22.2.26(金)	H22.3.2(火)	H22.3.3(水)
参集範囲	流通課					○	○
	農業振興課		○				
	農業普及技術課	○	○	○	○	○	○
	農産園芸課	○					
	畜産課					○	
	盛岡地方振興局農政部					○	○
	県南広域振興局農林部					○	
	中央家畜保健衛生所					○	
	県北家畜保健衛生所					○	
	農業大学校	○			○		○
	中央農業改良普及センター(県域)	○	○	○	○	○	○
	中央農業改良普及センター(軽米)					○	○
	八幡平農業改良普及センター					○	○
	奥州農業改良普及センター						○
	一関農業改良普及センター					○	
	宮古農業改良普及センター					○	
	久慈農業改良普及センター					○	
二戸農業改良普及センター						○	

b 協議事項

- (a) 平成22年度新規試験研究課題(案)について
- (b) 平成22年度試験研究を要望された課題とその措置(案)について
- (c) その他

★ リンドウこぶ症に関する課題は、第3回内部検討会議(リンドウこぶ症連携プロジェクト)で検討

- a 開催日 平成22年3月4日(木) 9:30～11:30
- b 協議事項等
 - (a) 平成21年度の実績および平成22年度の計画について
 - (b) 今後のチーム活動について
 - (c) その他
- c 参集範囲
 - (財)生物工学研究センター、農産園芸課、中央農業改良普及センター(県域)
 - 農業研究センター所長、各部長、各研究所長

(イ) 第3回内部調整会議

- a 開催日 平成22年3月17日(水) 13:00～
- b 協議事項等
 - (a) 年度評価について
 - (b) 事後評価について
 - (c) その他
- c 参集範囲
 - 農業研究センター所長、各部長、各研究所長、プロジェクト推進室長

エ 岩手県農業技術開発会議

(ア) 第1回

- a 開催日 平成21年5月18日(月) 15:15～17:15
- b 協議
 - (a) 技術開発基本構想について
 - (b) 平成21年度の技術開発に係る計画等について
 - (c) 技術開発に係る県以外の機関との連携について
 - (d) その他
- c その他
- d 参集範囲
(財)生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

(イ) 第2回

- a 開催日 平成22年2月12日(金) 15:00～17:00
- b 議事
 - (a) 「農林水産技術立県いわて」技術開発基本方針について
 - (b) 農業研究センターにおける技術開発について
 - (c) 財団法人岩手生物工学研究センターにおける技術開発について
 - (d) 総合討議
- c その他
- d 参集範囲
(財)生物工学研究センター
農政担当技監、農政関係各室課、生物工学研究所、農業大学校、中央農業改良普及センター
農業研究センター所長、各部長、各研究所長、各研究所次長、プロジェクト推進室長

オ 外部評価委員

所属部会	氏名	役職名	出席者	
			第1回	第2回
農産	小野 正一	岩手県農業農村指導士	○	○
	高橋 信	岩手県農業農村指導士、いわて直播栽培米研究会 会長	○	○
	千葉 丈	全農岩手県本部営農対策部 次長兼営農技術課長	○	○
	土屋 一成	(独)東北農業研究センター東北飼料イネ研究チーム 上席研究員		○
	星野 次汪	岩手大学農学部寒冷フィールドサイエンス教育研究センター 教授		○
園芸 (果樹)	紺野 啓	岩手県果樹協会 会長	○	○
	菅原 榮一	岩手県農業農村指導士	○	
	副島 淳一	(独)果樹研究所企画管理部 主任研究員	○	○
	高梨 祐明	(独)東北農業研究センター省農薬リンゴ研究チーム チーム長	○	○
園芸 (野菜)	小川 清弘	全農岩手県本部園芸部 部長	○	○
	門田 育生	(独)東北農業研究センター寒冷地野菜花き研究チーム 上席研究員	○	○
	武藏 康	岩手県農業農村指導士	○	○
	森下 昌三	(独)東北農業研究センター夏秋どりイチゴ研究チーム チーム長	○	○
園芸 (花き)	稲本 勝彦	(独)東北農業研究センター寒冷地野菜花き研究チーム 主任研究員	○	
	及川 辰幸	岩手県農業農村指導士	○	○
	日影 孝志	八幡平市花き研究開発センター 所長	○	○
畜産	及川 欣一	岩手県農業農村指導士	○	○
	小田 伸一	岩手大学農学部動物科学課程 准教授	○	○
	猪原 崇	全農岩手県本部畜産酪農部 次長		
	白戸 綾子	(独)家畜改良センター岩手牧場 場長	○	○
	澤口 松男	岩手県農業農村指導士		
	須山 哲男	(独)東北農業研究センター 研究管理監	○	○
	山影 典良	(社)岩手県畜産協会経営支援部 部長		○
総合	小島 幸喜	有機農産物アドバイザー・岩手県有機農業連絡会 会長	○	○
	河合 成直	岩手大学農学部応用生物化学課程 教授		○
	関野 幸二	(独)東北農業研究センター 東北地域活性化研究チーム長	○	○
	広田 純一	岩手大学農学部共生環境課程 教授	○	
			21 名	22 名

内訳別	人数
A 学識経験者	14名
B 農業者	8名
C 農業関係団体職員	4名
D 外部検討会議の議長が特に必要と認めるもの	1名
合計	27名

部会別	人数	主な分野
(1) 農産部会	5名	水稲、畑作、生産工学など
(2) 園芸部会	11名	果樹、野菜、花きなど
(3) 畜産部会	7名	畜産全般
(4) 総合部会	4名	経営、生産環境など共通分野
合計	27名	

(2) 企画運営会議、全体会議の概要

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
21.04.10(金)	特別会議室	(第1回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 特定課題検討チームについて (2) 連携プロジェクトチームについて 2 連絡事項 (1) 平成21年度競争的研究資金応募課題採否状況について (2) 平成21年度試験研究課題の最終調整結果について (3) 試験研究推進に係る諸規定及び外部評価委員の確認について (4) 災害発生時における職員配備体制及び非常召集連絡系統図について (6) 県庁各課との業務打合せについて (7) 各部長・研究所長からの情報提供等 (8) 4月、5月の行事予定及び年間スケジュールについて
21.04.10(金)	大会議室	(全体会議) 平成21年度 業務推進方針等について (1) 農業普及技術課 業務推進方針及び農業技術開発基本構想について (2) 農業研究センター ア センター運営方針について イ プロジェクト推進室、各部・研究所の業務推進方針について (ア) 企画管理部 (イ) 技術部 (ウ) 環境部 (エ) 病虫害防除部 (オ) 畜産研究所 (カ) 県北農業研究所 (キ) プロジェクト推進室
21.04.24(金)	特別会議室	(第2回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 特定課題調査検討チーム・連携プロジェクトの編成について (2) 県庁関係各課との業務打合せについて(各部・研究所からの報告) (3) タイムリーな成果の提案について 2 連絡事項 (1) 農業技術開発会議について (2) 農業農村指導士・法人協会との意見交換について (3) 研究員等育成研修計画について (4) 知事視察対応について (5) 副知事視察対応について (6) 各部長・研究所長からの情報提供等 (7) 5月、6月の行事予定について

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
21.05.27(水)	特別会議室	(第3回企画運営会議) 1 協議事項 (1) タイムリーな成果の提案について (2) 平成21年度新規に実施する外部資金研究課題について (3) 民間等からの受託・共同研究の取り扱いについて 2 連絡事項 (1) 農業・農村指導士との意見交換会について (2) 経済危機対策に係る補正(備品・施設修繕)について(対応状況) (3) センター所長表彰について (4) 参観デーの開催について (5) 岩手農林研究協議会(AFR)の活動について (6) 各部長・研究所長からの情報提供等 (7) 6月、7月の行事予定について
21.06.22(月)	特別会議室	(第4回企画運営会議) 1 協議事項 (1) タイムリーな成果について (2) センター所長表彰について 2 連絡事項等 (1) 平成21年度 試験研究推進会議 第1回内部検討会議について (2) 新規試験研究課題設定に係る予算面での留意事項 (3) センター業務方針の主要課題の第一四半期の取り組みについて (4) 外部研究資金事業に係る応募・採否現況について (5) 副知事視察について図書管理委員会での検討事項について (6) 県議会農林水産常任委員会県内調査について (7) 各部長・研究所長からの情報提供等 (8) 現地ふれあい農業研究センターの実施申込み状況について (9) 各部長・研究所長からの情報提供等 (10) 7月、8月の行事予定について
21.07.24(金)	畜産研究所 会 議 室	(第5回企画運営会議) 1 協議事項 なし 2 連絡事項等 (1) 内部検討会議に提案予定の平成22年度新規試験研究課題(案)等について (2) 外部評価委員について (3) 試験研究推進計画(素案)について (4) 農業研究センター所属長表彰等について (5) 現地ふれあい農業研究センターの申し込み状況について (6) 各部長・研究所長から情報提供 (7) 8、9月の行事予定について
21.09.01(火)	特別会議室	(第6回企画運営会議) 1 協議事項 なし 2 連絡事項等 (1) 平成21年度第1回外部検討会議について (2) 平成22年度向け競争的研究資金応募計画及び事業情報について (3) 現地ふれあい農業研究センターの開催について (4) センター職員表彰について (5) 各部長・研究所長からの情報提供等 (6) 9月、10月の行事予定について

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
21.10.01(木)	特別会議室	(第7回企画運営会議) 1 協議事項 (1) タイムリーな成果の提案について 2 連絡事項等 (1) 平成21年度第1回総合調整会議の日程について (2) 研究員等育成研修計画について (3) 研究推進構想の見直し(進捗状況)について (4) 競争的外部研究資金応募に係る回議様式(チェックリスト)について (5) 東北地域研究・普及連絡会について (6) リエゾン-Iマッチングフェアについて (7) 第2回センター所長表彰について (8) 各部長・研究所長からの情報提供等 (9) 10、11月の行事予定について
21.10.26(月)	特別会議室	(第8回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 研究推進構想の見直しについて(進捗状況) (2) 平成22年度からの試験研究会議及び評価制度のあり方について (3) 平成22年度向け競争的研究資金事業等応募提案・委託課題の提案について (4) 第2回センター所長表彰について (5) 研究功労者表彰(全国場所長会)について 2 連絡事項等 (1) 平成22年度に向けた研究用備品更新計画について (2) 特定課題調査チーム、プロジェクトチームの検討概要について (3) リエゾン-Iマッチングフェアの対応について (4) 各部長・研究所長から情報提供等 (5) 平成21年度東北地域農業関係試験研究場所長会議について (6) 平成21年度東北地域研究・普及連絡会議について (7) 11月、12月の行事予定について
21.11.25(水)	特別会議室	(第9回企画運営会議) 1 協議事項 なし 2 連絡事項 (1) 研究推進計画の見直しについて(進捗状況) (2) 平成21年度第2回内部検討会議について(併せて予定試験研究成果について) (3) センター業務方針の主要課題に係る第3四半期の取り組みについて (4) 「岩手県農業研究センターにおける研究活動に係る経費の管理・監査の実行方針」(案)及び「岩手県農業研究センターにおける研究費等に関する不正防止計画」(案)について (5) 研究報告等企画編集委員会について (6) 農林水産・食品に係る産学官連携コーディネーター候補者の推薦について (7) 各部長・研究所長から情報提供等 (8) 12月、1月の行事予定について

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
21.12.17(木)	特別会議室	(第10回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成22年度向け競争的資金への応募課題について 2 連絡事項等 (1) 平成22年度業務方針策定に向けた意見交換について (2) 第3回センター所長表彰について (3) 特定課題調査検討チーム、連携プロジェクトの検討状況及び取りまとめについて (4) 試験研究推進構想の見直し(進捗状況)について (5) 平成21年度委託研究に係る支出経理簿等の提出とヒアリング日程調整について (6) 各部長・研究所長から情報提供等 (7) 1、2月の行事予定について
22.01.25(月)	特別会議室	(第11回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成22年度向け競争的資金への応募課題について (2) 第3回センター所長表彰について 2 連絡事項等 (1) 試験研究推進計画について (2) 県農業技術開発会議について (3) センター業務方針に係る主要課題及び組織運営課題について (4) センターホームページ平成21年度月別・項目別アクセス数 (5) 平成21年度2月補正予算要求事業概要書 (6) 平成21年度年報原稿等の作成について (7) 各部長・研究所長からの情報提供等 (8) 2、3月の行事予定について
22.02.19(金)	特別会議室	(第12回企画運営会議) 1 協議事項 なし 2 連絡事項等 (1) 平成22年度向け競争的資金への応募課題について (2) 平成22年度業務方針の作成について (3) 第3回内部検討会議に係る試験研究課題について (4) 試験研究推進会議のあり方について (5) 農業試験研究推進構想の目標値に対する進捗状況について (6) 試験研究成果等に関する情報提供及び広報活動について (7) 平成21年度2月補正予算及び平成22年度当初予算について (8) 平成22年度農業研究センター参観デー開催日等について (9) 平成21年度農業研究センター年報の原稿作成について (10) 研究報告(第11号)の投稿募集について (12) 各部長・研究所長から情報提供 等 (13) 3、4月の行事予定について

開催月日	場 所	内 容(協議事項等)
21.03.17(水)	特別会議室	(第13回企画運営会議) 1 協議事項 (1) 平成22年度向け競争的資金への応募課題について資料 (2) 平成22年度業務方針(案)について (3) 【研究報告編集委員会】第11号投稿論文の審査結果について 2 連絡事項等 (1) 試験研究課題の最終調整について (2) 平成22年度からの試験研究会議及び評価制度の見直しに関する意見交換会の概要について (3) 平成22年度農業研究センター全体会議の開催について (4) 平成22年度農業研究センター次長及び室課長会議の開催について (5) 平成21年度年報の原稿作成について(進捗) (6) 各部長・研究所長から情報提供 等 (7) 4月の行事予定について

(3) 委員会等の運営

ア ほ場管理委員会

開催月日	活動事項	内容
21.04.08	作業部会打ち合わせ	○作業部会「ほ場使用及びほ場作業調整」の年間計画 ○平成21年度の岩手県農業公社への作業委託内容 ○水路掃除 ○圃場利用計画、E地区水稻育苗ハウスの利用計画 ○圃場用水の利用計画 ○E地区水稻育苗ハウス周辺の揚水ポンプの稼働
21.04.09	水田関係 E地区水田等水路泥上げ、圃場周辺のゴミ拾い	○E地区排水路、水稻育種研究室耐冷性検定圃場の泥上げ作業 ○E地区圃場周辺の環境美化、ゴミ拾い作業
21.04.24	技術部圃場管理打ち合わせ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
21.05.28	技術部圃場管理打ち合わせ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
21.06.26	技術部圃場管理打ち合わせ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
21.07.09	圃場説明会	○当年度の圃場試験に係る職員説明会
21.07.27	技術部圃場管理打ち合わせ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
21.08.25	技術部圃場管理打ち合わせ	○当面する作業予定について(調整) ○その他技術部に関わる圃場の管理について
21.09.14	水田関係圃場管理打ち合わせ	○秋作業の計画と調整
21.09.29	技術部圃場管理打ち合わせ	○秋作業の計画と調整
21.10.29	機械利用及び圃場施設管理作業部会	○農業経営研究室(旧生産工学研関係)所管備品の取り扱いについて ○圃場管理用機械の更新について
21.12.14	圃場周辺のゴミ拾い等	○野鼠防除 ○圃場周辺の環境美化、ゴミ拾い作業
22.03.10	機械利用及び圃場施設管理作業部会	○圃場管理備品の更新リストの完成について
22.03.12	技術部圃場管理打ち合わせ	○春作業の計画と調整

イ 図書管理委員会

開催月日	場所	内容
22.03.16	図書室	平成22年度定期購読図書について

ウ 研究報告等企画編集委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内容
21.11.25	特別会議室	(1)平成21年度分(第10号)提出原稿の審査について(事前審査) (2)今後のスケジュールについて
21.12.17	特別会議室	(1)平成21年度分(第10号)提出原稿の審査について(本審査) (2)今後のスケジュールについて
22.03.17	特別会議室	(1)第10号(平成21年度)掲載保留原稿の第11号(平成22年度)掲載に関する審査について (2)第11号(平成22年度)投稿状況について

(イ)幹事会

開催月日	場所	内 容
		平成21年度は未開催

エ 参観デー等企画運営委員会

(ア)委員会

開催月日	場所	内 容
21.05.27	特別会議室	【第3回企画運営会議】 平成21年度参観デーについて

(イ)幹事会等

(本部関係)

開催月日	場所	内 容
H21.6.1	本部2階小会議室	(1) 平成21年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 平成20年度の反省点について イ 全国リンゴ研究大会の対応(9/4(金))について ウ 開催計画について(イベント、人員配置、必要資材など) エ 今後のスケジュール(予定)について (2) 第64回岩手県全国農業機械実演展示会における農事・営農相談コーナーの設置について (3) 生物工学研究所一般公開について (4) その他
H21.6.23	本部2階小会議室	(1) 平成21年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 開催計画について(イベント、人員配置、必要資材など) イ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究所一般公開について (3) その他
H21.7.22	本部2階小会議室	(1) 平成21年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 開催計画について(イベント、人員配置、必要資材など) イ 今後のスケジュール(予定)について (2) 生物工学研究所一般公開について (3) その他
H21.8.26	本部2階小会議室	(1) 平成21年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 本部参観デーマニュアルについて イ 準備作業等について ウ インフルエンザ対策について (2) 生物工学研究所一般公開について (3) その他
H21.8.27	本部 2階中会議室	平成21年度岩手県農業研究センター本部参観デー全体説明会 (1) 平成21年度岩手県農業研究センター本部参観デー開催計画について ア 本部参観デーのイベントについて イ 準備作業等について ウ インフルエンザ対策について (2) 生物工学研究所一般公開について (3) その他

(畜産研究所関係)

開催月日	場所	内 容
21.07.01	セミナー室	平成21年度参観デー (1)日程について (2)開催期間中の人員について (3)開催内容について
21.07.15	セミナー室	(1)実施体制・今後のスケジュールについて (2)体験コーナー内容について (3)会場配置について (4)開催内容について
21.08.26	セミナー室	(1)平成21年度参観デーに係る最終確認について ・パネルおよび配布資材の準備進捗状況について ・実施体制確認 ・会場配置確認

(県北農業研究所関係)

開催月日	場所	内 容
21.04.10	中会議室	(1)平成21年度参観デー日程について (2)その他
21.08.11	応接室	(1)平成21年度参観デー開催概要について (2)セミナー開催計画について
21.08.21	応接室	(1)「平成21年度参観デーに係る職員への説明会」の事前打ち合わせ (2)各班の準備進捗状況について (3)その他(併催行事の打合せ)
21.08.26	中会議室	(1)平成21年度参観デーに係る職員への説明会 (2)質疑応答
21.09.01	応接室	(1)平成21年度参観デーに係る最終確認について (2)その他

オ 特許審査委員会

開催月日	場所	内 容
22.01.12	特別会議室	1 勤務発明の審査について (1)ぶどう品種「岩手3号」 (2)「樹皮を原料とする培土の製造法」

カ 備品導入検討委員会

開催月日	場所	内 容
21.07.06	特別会議室	1 協議事項 (1)平成21年度の備品購入について(1件) (2)平成21年度備品更新計画の策定について
21.08.25	特別会議室	1 協議事項 (1)平成21年度6月補正に係る備品購入について(9件)
21.10.14	2階小会議室	1 協議事項 (1)平成22年度予算要求に向けた研究用備品更新計画の策定について
21.10.29	持ち回り審議	1 協議事項 (1)地上デジ対応テレビの購入について(18台)
21.12.02	持ち回り審議	1 協議事項 (1)多本架冷却遠心器(1台:8月審議の再審議)

開催月日	場所	内 容
21.12.04	持ち回り審議	1 協議事項 (1) マルチ味度メーター(1式)
21.12.11	持ち回り審議	1 協議事項 (1)テンシプレスサー (1式) (2)接種恒温器 (1式)

キ 岩手県立農業ふれあい公園管理運営委員会

開催月日	場 所	内 容
21.06.25	特別会議室	協議 (1) 平成20年度管理運営報告について (2) 平成21年度事業計画(案)について

ク 環境美化委員会

開催月日	場 所	内 容
21.04.07	2階小会議室	協議 (1) 平成20年度環境美化事業報告について (2) 平成21年度環境美化事業計画(案)について

ケ 職員衛生委員会

開催月日	場 所	内 容
21.06.24	応接室	議題 (1) 平成20年度事業実績について (2) 平成21年度事業計画(案)について
21.10.28	応接室	議題 (1) 平成21年度定期健康診断の結果について (2) 労働安全衛生立入指導の結果について

コ 原種等生産管理委員会

開催月日	活動事項	内 容
21.05.01	第1回委員会	○本年の取り組み事項 ○生産計画 ○関係様式の確認 ○規程整備 ○原種等生産管理委員会設置要領
21.07.02	第2回委員会	○原種原々種本年の生産・取り組み状況(圃場視察含む) ○各種規程
21.07.16	東北6県主要農作物原種原々種生産にかかわる情報交換会	○東北各県の主要農作物の生産状況 ○意見交換
21.08.11	外部審査	○水稻原種・原々種外部審査(出穂期)
21.09.17	外部審査	○水稻原種・原々種外部審査(糊熟期)
22.01.27	外部審査	○水稻原種・原々種外部審査(生産物)
22.02.19	第3回委員会	○21年度の実績について ○22年度の計画について
22.03.03	水稻原種圃周辺田の稲バカ苗病対策にかかわる説明会	○原種周辺圃場耕作者への現況と対策説明 ○意見交換

(4) その他会議

ア 全国農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
21.6.11	埼玉県	参加者: 所長 平成21年度第1回全国農業関係試験研究場所長会幹事会 (1) 総会議案について (2) 農業技術協会の現状と見直し状況について
21.6.11 ～12	埼玉県	参加者: 所長 全国農業関係試験研究場所長会議 (1) 平成21年度全国農業関係試験研究場所長会通常総会 (2) 平成21年度研究功労者表彰式 (3) 平成21年度全国農業関係試験研究場所長会現地検討会
21.11.4	東京都	参加者: 所長 平成21年度第2回全国農業関係試験研究場所長会幹事会 (1) 「全国農業関係試験研究場所長会のあり方に関する意見」に関する討議 (2) 現行事業の進捗について (3) 22年度の総会および現地検討会の概要 (4) その他

イ 東北地域農業関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
21.10.7 ～8	山形県	参加者: 所長、企画管理部長、研究企画室長 1 協議 (1) 全国農業関係試験研究場所長会のあり方検討について (2) 平成22年度全国農業関係試験研究場所長会現地検討会について (3) 次年度以降の開催県、研究功労者表彰候補者、会報執筆等について 2 情報交換 (1) 各試験研究機関連携等について 3 現地検討会 (1) 山形県農業総合研究センター園芸試験場場内視察(寒河江市) (2) 飼料米現地試験圃場(寒河江市)

ウ 全国農業関係試験研究主務課長・場長会議

開催月日	場 所	内 容
		平成21年度は開催なし

エ 全国畜産関係試験研究場所長会議

開催月日	場 所	内 容
21.06.12	東京都	1 通常総会 (1) 平成20年度事業報告及び収支決算について (2) 平成21年度事業計画及び収支予算について (3) 平成21年度会費の額及び徴収方法について (4) 平成21・22年度役員選任に関する件 (5) その他 2 畜産研究功労賞表彰 3 研修会 「畜産と地球温暖化問題をめぐる研究動向」 講師: 日本獣医生命科学大学客員教授 東京農工大学名誉教授 板橋久雄 氏

オ 全国畜産関係場所長会北海道・東北ブロック会議

開催月日	場 所	内 容
21.08.20 ～21	福島県	1 開 会 2 挨 拶 3 議 題 (1)試験研究を要する重要問題について (2)国・独立行政法人に対する提案事項について (3)新たな農林水産施策を推進する実用技術開発事業の研究領域設定型又は現場提案型研究の採択に関する地方農政局との協力について (4)優秀畜産技術者表彰候補者の推薦について (5)畜産研究功労者表彰候補者の推薦について (6)次回開催地について (7)その他 4 現地視察 「株式会社 川俣町農業振興公社」(川俣町)

カ 岩手県試験研究機関評価に係る公設試験所長等会議

開催月日	場 所	内 容
		平成21年度は開催なし

キ 東北農業試験研究推進会議

開催月日	場 所	内 容
21.07.02 ～03	秋田県秋田市 (秋田県農業試験場)	「 基盤技術推進部会・土壌肥料研究会(夏期) 」 1 園芸作物を中心とした土壌診断システムの現状と課題
21.07.30	盛岡市 (東北農業研究センター)	「 基盤技術推進部会・東北地域農業経営研究会(夏期) 」 1 東北地域における担い手のビジネスモデルの形成と経営管理
21.07.30 ～31	青森県青森市他 (アピオあおもり)	「 畜産推進部会・畜産研究会(夏期) 」 1 高付加価値畜産物生産の取組方策
21.08.20 ～21	秋田県大館市他 (大滝温泉富士屋ホテル)	「 基盤技術推進部会・作業技術研究会(夏期) 」 1 水田転換畑における露地野菜等栽培の現状と今後の課題
21.08.24 ～25	青森県黒石町 (青森県農林総合研究所)	「 基盤技術推進部会・病虫害研究会(夏期) 」 1 低化学農薬型農業経営の問題解決に向けた取り組み
21.08.25 ～26	山形県山形市他 (山形県農業総合研究センター)	「 作物推進部会・畑作物研究会(夏期) 」 1 大豆連作障害の実態と技術的対応 2 各県の畑作物生育概況
21.08.27 ～28	山形県鶴岡市他 (鶴岡ワシントンホテル)	「 野菜花き推進部会・野菜研究会(夏期) 」 1 野菜栽培における省エネルギー技術の現状と今後の課題
21.09.01	盛岡市 (東北農業研究センター)	「 東北地域麦・なたね品種・系統検討会 」 1 麦・なたねの有望品種・系統及び新配布系統の成績検討
21.09.02 ～03	福島県福島市他 (ホテルサンルートプラザ福島)	「 作物推進部会・直播研究会(夏期) 」 1 東北地域の直播栽培等の現状について 2 各県における水稻直播栽培等の導入状況の推進方向 3 水稻直播栽培の試験研究に関する情報提供 4 直播栽培導入事例 5 総合討論 6 その他

開催月日	場 所	内 容
21.09.07	盛岡市 (東北農業研究センター)	「評価企画会議」 1 農業新技術2010候補の抽出 2 東北農業新技術実用化促進プロジェクト(1.5年プロ)実証技術候補の抽出 3 現場段階での重要な技術的課題の抽出 (1) 国の政策で対応すべき技術的課題候補の抽出 (2) (1)以外の技術的課題の抽出 4 重点検討事項の抽出 5 競争的研究資金獲得の取り組み 6 その他
21.09.10 ～11	山形県山形市 (山形県農業総合研究センター)	「東北地域水稲品種立毛検討会」 1 水稲育成系統等の試験実施状況の視察および立毛観察調査
21.09.16 ～17	青森県青森市 (ラ・プラス青い森)	「野菜花き推進部会・花き研究会(夏期)」 1 課題検討「東北地域特産花きの育種および栽培技術開発」
21.09.17	秋田県羽後町 (JA新しいわて安代中央支所)	「作物推進部会・東北ソバ研究会(夏期)」 1 最近のソバ事情 2 伊藤園が国産蕎麦にこだわったわけ 3 雄勝地域におけるソバ生産及び需要拡大の取り組み 4 東北農研の品種開発の取り組み 5 総合討論
22.01.25	盛岡市 (東北農業研究センター)	「流通・加工推進部会」 1 主要研究成果候補の検討 2 重点検討事項「農産物の美味しさ指標」の検討 3 現場段階での重要な技術的課題への取り組みの検討 4 地域連携プロジェクト応募を予定している課題の検討 5 その他
22.01.25 ～26	盛岡市 (岩手労働福祉会館)	「果樹推進部会」 1 主要研究成果候補の検討 2 重点検討事項の検討 (1) 果樹の試験研究・技術開発における地域連携のあり方について (2) セイヨウナシのおいしさをもっと多くの人に知ってもらうために 3 現場段階での重要な技術的課題への取り組み「寒冷地帯における地球温暖化に対応した果樹栽培技術の開発」の取り扱い 4 その他
22.01.28 ～29	盛岡市 (東北農業研究センター)	「野菜花き推進部会」 1 主要研究成果候補の検討 2 重点検討事項「東北の野菜花き研究における連携推進方策」の検討 3 地域連携プロジェクト応募を予定している課題の検討 4 その他
22.01.28 ～29	盛岡市 (サンセール盛岡)	「畜産推進部会」 1 試験研究の検討・評価 (1) 主要研究成果候補の検討 (2) 「農業新技術20XX」候補の検討 2 重点検討事項「東北地域における畜産物のブランド化の現状と課題」 3 地域連携プロジェクト応募を予定している課題の検討
22.01.28	秋田県大仙市 (グランドパレス川端)	「東北地域水稲品種・系統検討会(作物推進部会)」 1 研究成果情報(稲育種)の検討 2 品種の作付け動向と要望される品種 3 奨励品種決定調査関係の検討 4 新配布系統の紹介 5 育種関係情報交換

開催月日	場 所	内 容
22.01.28	秋田県大仙市 (グランドパレス川端)	「畑作物栽培研究会(作物推進部会)」 1 東北農政局からの情勢報告 2 検討会「転換畑大豆栽培における病害虫の発生動向と対策技術」 3 主要研究成果候補の検討 4 その他
22.01.29	秋田県大仙市 (グランドパレス川端)	「稲栽培研究会(作物推進部会)」 1 検討課題「東北地域における水稻の有機栽培」の検討 2 研究成果情報候補課題の検討
22.01.29	秋田県大仙市 (グランドパレス川端)	「畑作物品種検討会(作物推進部会)」 1 夏畑作物品種系統の検討 2 ハトムギ・ソバ品種系統の検討 3 各県の研究実施状況の報告
22.01.29	秋田県大仙市 (グランドパレス川端)	「作物推進部会」 1 試験研究の検討・評価 (1) 主要研究成果候補の検討 (2) 「農業新技術20XX」候補の検討 (3) 「1.5年プロ」候補の検討 2 重点検討事項「多用途米の品種育成と多収低コスト栽培技術」 3 次年度重点検討事項候補課題 4 地域連携プロジェクト応募を予定している課題の検討 5 その他
22.01.29	盛岡市 (サンセール盛岡)	「牧草・飼料作物優良品種選定ネットワーク会議」 1 飼料用トウモロコシ品種選定試験 2 北海道におけるトウモロコシのカビ毒の発生と対応研究について 3 講演「飼料用イネの品種選定と放牧利用」 秋田県農林水産技術センター畜産試験場 佐藤寛子 氏
22.02.01 ～02	盛岡市 (東北農業研究センター)	「土壌肥料研究会(基盤技術推進部会)」 1 主要研究成果候補課題の検討 2 検討事項「減肥基準の策定に向けた試験研究の現状と今後の対応」の検討 3 地域連携プロジェクト応募課題の検討
22.02.01 ～02	盛岡市 (国保会館)	「基盤技術推進部会 病害虫分科会病害研究会」 1 研究成果情報の検討 2 平成21年度試験研究成績の検討 3 地域連携プロジェクト応募を予定している課題の検討
22.02.01 ～02	盛岡市 (国保会館)	「基盤技術推進部会 病害虫分科会虫害研究会」 1 研究成果情報の検討 2 「現場段階での重要な技術的課題への対応」の検討 3 平成21年度試験研究成績の検討
22.02.01 ～02	盛岡市 (東北農業研究センター)	「作業技術研究会(基盤技術推進部会)」 1 研究成果情報の検討 2 重点検討事項「新たな農業機械技術と普及上の課題」の検討 3 地域連携プロジェクト応募を予定している課題の検討
22.02.01 ～02	盛岡市 (東北農業研究センター)	「経営研究検討会(基盤技術推進部会)」 1 研究成果情報の検討 2 「農業新技術2011」および「1.5年プロ」候補の選定 3 重点検討事項「研究技術開発に向けた地域連携(共同研究)における経営課題」の検討 4 夏期研究会の次年度開催計画の検討 5 その他

開催月日	場 所	内 容
22.02.02	盛岡市 (東北農業研究センター)	「 基盤技術推進部会 農業気象分科会 」 1 研究成果情報の検討 2 地域連携プロジェクトに関する意見交換 3 平成21年度試験研究成績の検討
22.02.02	盛岡市 (東北農業研究センター)	「 基盤技術推進部会 」 1 研究成果情報候補の検討・評価 2 重点検討事項「研究技術開発に向けた地域連携の推進」の検討 3 現場段階での重要な技術的課題への取り組みの検討 4 専門調整区分へつなぐ重要研究問題の検討 5 各県からの情勢報告 6 その他
22.02.04	盛岡市 (東北農業研究センター)	「 評価企画会議 」 1 推進部会での検討の報告 2 主要研究成果の評価 3 東北農業新技術実用化促進プロジェクト(1.5年プロ)の実施要領と次の実施主体候補について 4 現場段階での重要な技術的課題の抽出と検討 5 その他
22.02.05	盛岡市 (東北農業研究センター)	「 本会議 」 1 重点検討事項の検討 「研究技術開発に向けた地域連携の推進」 (1) 話題提供「東北連携の戦術と現状 ―食品研究を中心に―」 (地独)岩手県工業技術センター副理事長 齋藤博之 氏 (2) 東北農研センターからの報告 (3) 各県・機関からの報告 (4) 総合討論 2 その他

ク 東北地域研究・普及連絡会議

開催月日	場 所	内 容
21.10.23	宮城県仙台市	参加者: 所長 1 「国の施策で対応すべき技術的課題」候補等の選定について 2 「農業新技術2010」候補の選定について 3 「農業新技術2008」のフォローアップ調査等について 4 「東北農業新技術実用化促進プロジェクト(1.5年プロ)」実証技術の選定について 5 地域農業研究について 6 その他

ケ 県内で開催された関係学会

開催月日	場 所	学 会 名 ・ 内 容
21.06.26	岩手県農業研究センター (中会議室)	第11回東北雑草研究会(参加108人)
21.8.20~21	岩手大学	日本作物学会東北支部会第52回総会及び講演会
21.8.21	岩手大学	東北育種研究集会(参加62名)

コ 北東北3県農業試験研究センター企画経営室長会議

開催月日	場 所	内 容
21.10.2	秋田県	参加者:企画管理部長、研究企画室長 1 平成21年度の人事交流について 2 平成22年度北東北3県研究員の人事交流について 3 北東北3県研究課題の連携について 4 北東北3県人事交流に関する覚書の締結について 5 その他

試験研究の推進

1 研究活動の概要

県では、平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の計画となる「いわて県民計画」を平成 21 年 12 月に策定した。この「いわて県民計画」に基づき、農林水産部では、農林水産分野の長期的な技術開発の方針として「『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針」(以下「技術開発基本方針」という。)を策定した(平成 22 年 3 月)。

この方針をうけ、農業研究センターが平成 26 年度までに取り組む具体的なアクションプラン「岩手県農業研究センター試験研究推進計画」を策定し

- ①もうかる農業経営体の育成に向けた技術開発
- ②安全・安心を基本とした産地形成に向けた技術開発
- ③クオリティマネジメントによる日本一の畜産県に向けた技術開発
- ④いわてブランド確立を推進する高付加価値化技術の開発
- ⑤農業生産の維持的発展のための生産環境技術の開発
- ⑥バイオマスの有効利用の開発を柱として生産者

等県民のニーズにあった、また、時代を先取りした試験研究を着実に進めてきた。

平成 21 年度は、現場ニーズに基づく研究課題等を選定し、内部・外部(外部評価委員、生産者)の評価を経て、新規課題 21 課題、継続課題 129 課題、合計 150 課題に取り組み、96 の成果(うちタイムリーな成果 3 成果)をとりまとめた。

これらの試験研究の推進にあたっては、専任体制(プロジェクト推進室)とプロジェクトチーム(県北振興連携、リンドウこぶ症対策、りんごの農薬 50%削減、いちご生産振興)と基盤研究部門とが一体となり、現地に密着した研究に取り組み、技術開発段階からの技術の迅速な普及・定着化を図った。

また、予算面では、競争的資金応募課題への積極的な応募や応募課題内容のブラッシュアップなどにより、採択率の向上や、初めて研究課題の研究グループのリーダー(研究総括者)になるなどの成果が得られた。

研究連携では、北海道、北東北3県知事サミット合意事項である多収稲の共同育種について、青森県、岩手県、東北農業研究センターと「東北地域中北部向け多収水稻品種の共同育種」に係る協定を締結し、本格的な試験研究がスタートした。

2 トピックス

(1) 特許・品種登録出願状況

区分	出願内容	担当
特許	水田作業機の排水溝形成装置 (出願・審査請求中)【特願2008-304112(2008/11/28)】	プロジェクト推進室 (水田農業)
	りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法 (出願中)【特願2009-008551(2009/1/19)】	環境部 生産環境研究室 (共同出願:住友ベークライト株式会社)
	高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法 (出願・審査請求中)【特願2009-078260(2009/3/27)】	技術部 南部園芸研究室
種苗 登録	りんご 岩手7号 【登録2009/9/10】 ※ 9月下旬に成熟する着色良好な赤色リンゴ	技術部 園芸研究室
	ぶどう 岩手3号 【登録に向け手続き中】 ※ 耐寒性が強く食味良好な赤色・大粒種ぶどう	技術部 園芸研究室
	りんどう いわてDPB1号(A4PB No.34-25) 【登録出願2009/8/3】 ※ A4菌により作出されたわい性リンどう	技術部 園芸研究室 (生物工学研究センター)
	ももずきんちゃん(花研鉢2) 【登録出願2009/8/3】 ※ 親株無加温で8月下旬から出荷できる鉢物リンどう	技術部 園芸研究室
	いわてVEB6号(極々早生6) 【登録2010/1/14】 ※ 露地栽培で新盆需要(7月上旬)に対応できる青紫色リンどう	技術部 園芸研究室

(2) 表彰等受賞状況

ア 細断型ロールペーラの研究開発(平成21年度農事功績者表彰「農業技術開発名誉賞」)

農事改良の奨励または実行上功績顕著な者、農業上の有益な発見または研究を行い功績顕著な者等に対し、社団法人大日本農会が行っている、農事功績者表彰「農業技術開発名誉賞」を農業研究センター畜産研究所が受賞した。本研究は、独立行政法人農研機構・生物系特定産業技術支援センターはじめ16機関の共同受賞である。

受賞研究課題名:「細断型ロールペーラの研究開発」

研究内容(要約):1cm前後に細断された青刈りトウモロコシ等を直径約85cm、幅約90cmのロールペールに成形できるロールペーラである。フォレージハーベスタを装着したトラクタにけん引するワンマン作業、定置作業、伴走作業に対応可能である。

関係機関:(株)タカキタ、スター農機(株)、畜産草地研究所、家畜改良センター、宮崎県畜産試験場、熊本県農業研究センター畜産研究所、愛媛県農林水産研究所畜産研究センター、岡山県総合畜産センター、三重県畜産研究所、群馬県畜産試験場、福島県農業総合センター畜産研究所、北海道立釧路農業試験場、おかやま酪農協同組合、おかやま酪農協同組合津山地区コントラクター組合

イ 品種 品種 半もち・短稈の早・中・晩ヒエ「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」の育成(農林水産部長表彰)

職務に関し有益な研究を行い優秀な成果をあげ、著しい功労があった研究員が、瀬川純・農林水産部長より岩手県庁において表彰を受けた。

(ア)平成21年度第1回・農林水産部長表彰(平成21年10月27日)

①被表彰者: 県北農業研究所 作物研究室 仲條 真介 主任専門研究員
 " 吉田 宏 主任専門研究員
 技術部 園芸研究室 漆原 昌二 主任専門研究員
 " 作物研究室 阿部 陽 専門研究員
 中央農業改良普及センター 長谷川 聡 主任農業普及員
 (遠野普及サブセンター)



②表彰事績: 品種 半もち・短稈の早・中・晩ヒエ「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」(出願公表中)の育成

5名は、良食味の雑穀優良品種「もじゃっぺ」の半もち性を生かしつつ、短稈化したヒエ新品種を育成した。

育成したヒエ新品種は、早生の「ねばりっこ1号」、中生の「ねばりっこ2号」、晩生の「ねばりっこ3号」の3品種で、半もち性と短稈性を兼ね備えたヒエの育種は世界初であること、また、県の奨励品種への採用も39年ぶりであること等が評価されての受賞となった。

現在、水田栽培が可能な短稈のうるちヒエは県内雑穀栽培面積全体の約1割を占めているが、うるちヒエやアワ、キビと比較して食味が劣るとされ、近年の消費量は減退している。育成したヒエ新品種は食味を向上させ、ヒエ単体での価値を高めて需要拡大が期待できるとともに、コンバイン等による機械収穫を可能にし、生産の省力化と安定化が可能である。現在、県北農業研究所では地域の関係機関と連携し現地4カ所で栽培試験を実施しており、平成22年度からの本格的な栽培が期待される。

(3) 特定課題調査検討チームによる検討及び連携プロジェクトによる研究推進

ア 特定課題検討チーム

(*多岐にわたる課題あるいは今後重要と見込まれる事項について、研究的観点から整理)

(ア)今年度の取組み概要

チーム名 【チーム構成】〔検討時期〕	検討項目	検討結果
花き研究ビジョン策定 【農研セ、中央普セ】 チーム長:技術部長 〔H21.5～H22.3〕	①平成20年度特定課題調査検討チーム「花き研究の方向性検討*」の検討結果を踏まえた「花き研究ビジョン」の策定。	◎花き研究の方向 園芸研究室(技術):「リンドウに特化」 園芸研究室(県北)・南部園芸研究室:「地域課題実施」 (結果を推進構想見直しに反映) ※報告書として取りまとめた。
米の食味向上 【農研セ、中央普セ】 チーム長:技術部長 〔H21.5～H22.3〕	①米の食味向上に関する研究結果や情報の整理。 ②県産米食味向上推進プロジェクトチームとの連携。	◎H9年版の「いわて純情米品質食味向上の手引き」改訂 ・県農産園芸課が印刷し、普及センター及びJA等に配布、農家指導に活用。 ※報告書として取りまとめた。

*「花き研究の方向性検討」チーム(H20.12～H21.3)では、「岩手県における花き研究の現状と課題」、「今後の花き研究のあるべき姿」について検討し、重点的花き研究課題(リンドウ品種育成の重点化、リンドウ基礎的研究分野の強化など)、研究体制のあり方(連携・分担)について取りまとめた。

(イ)具体的な検討内容

①「花き研究ビジョン策定」チーム

本年は、より具体的な研究方向を明確にすることを目的として昨年から継続して検討を行った。3回の検討会を行い、リンドウ以外の品目も含めた現地における栽培上の課題を抽出し、また、農業経営研究室が行ったリンドウの市場動向調査結果により、課題及び到達目標を明確化し、今後の研究開発の方向性について、次のとおり取りまとめた。

まず、花きに関する栽培上の重要課題として、りんどうの品種開発、開花調節技術、株養成技術、省力化技術をピックアップした。また、りんどうに次ぐ重要品目である小ギクに関しては、現地の課題解決と併せて取り組むとの方向性を提示した。施設花きについては、生産は減少傾向にあり、緊急性を要する課題は少ないと判断した。

次に、農業経営研究室において策定された「本県産リンドウの競争ポジショニングと対応方向」をもとにりんどうの課題を整理し、りんどう需要・競争構造分析結果からみた岩手県産りんどうの対応方向について協議した。7月上旬、中旬をねらった出荷量拡大、盆に合わせた出荷量の拡大、彼岸需要に合わせた9月上旬・中旬の出荷量拡大、輸出による国内市場からの隔離、他品目への転換等の対応策をまとめた。

さらに、他産業並み所得確保を前提とした経営体の育成を目標とし、それを到達するために必要な研究課題を次のとおり設定した。項目として①りんどう品種開発、②盆・彼岸需要に対応する開花調節技術の確立、③成園費低減及び安定生産のための株養成技術の開発、④種苗安定供給をめざした技術確立と体制整備、⑤大規模(1ha～2ha)省力技術体系の現地実証、⑥りんどうの需要・競争構造の分析、⑦りんどう先進経営体のビジネスモデルと経営管理方策の解明、⑧病虫害防除に分類した。

当面は、これらを今後の花き研究の方向と位置づけて取り組む予定。

②「米の食味向上」チーム

米価の低落に歯止めがかからない中、各県の各産地ではこの状況を打開すべく、特色のあるブランド開発や品種育成など、産地としての生き残りをかけた競争が激化しており、その結果、産地間の食味水準は拮抗しつつある。

岩手県では(財)日本穀物検定協会が実施する食味ランキングにおいて、ひとめぼれが15回連続で最高ランクの特Aを取得するなど、全国でも米主産県としての声価を確立しつつある。一方、最近の県産米の食味に対して、以前よりも低下傾向にあるのではないかと危惧する声もあり、食味向上に対する一層の努力が求められる。

以前、岩手県は、県産米の品質・食味を向上する取り組みとして、平成9年に8月に「いわて純情米品質・食味向上の手引き」(以下旧版)を刊行し、当時各農業改良普及センターに導入された品質・食味分析機器を活用した栽培指導に取り組んできている。その結果、各地域で機器による分析は進み、産地のレベルを把握する効果はあったものと思われるが、栽培指導面での活用は必ずしも十分とは言い難い。

そこで、岩手県は平成21年2月に「県産米食味向上推進プロジェクトチーム」を設立し、食味の実態把握と解析に基づく改善指導や向上技術の検討を実施中である。プロジェクトチームの構成員である農業研究センターでは、活動の一環として「特定課題(米の食味向上)調査検討チーム」を設置し、県プロジェクトへの情報提供を目的に、旧版を改訂することとし、「(新版)いわて純情米品質・食味向上の手引き」を刊行した。

イ 連携プロジェクト

(**多岐の研究部門にまたがる研究課題を短期間に、効率よく解決するために編成するプロジェクト)

(ア)プロジェクト名及び構成

分野	プロジェクト名	研究内容	チーム員	協力
地域振興	県北振興連携プロジェクト〔H20～〕	◎ほうれんそう振興に係る試験研究 ◎雑穀振興に係る試験研究	県北農業研究所 企画管理部 環境部	・農産園芸課 ・中央農業改良普及センター
	いちご生産振興連携プロジェクト〔H21〕	◎いちご生産振興に係る試験研究 ◎作型(促成(前進)、夏秋)に関する研究	技術部 企画管理部 環境部	・農産園芸課 ・中央農業改良普及センター
個別課題解決	リンドウこぶ症連携プロジェクト〔H21～〕	◎リンドウこぶ症対策に係る試験研究	環境部 技術部	・(財)岩手生物工学研究センター ・中央農業改良普及センター
	リンゴ農薬50%削減連携プロジェクト〔H21〕	◎農薬50%削減リンゴ栽培技術体系確立に向けた試験研究	技術部 企画管理部 環境部	

(イ)今年度の取組概要

名称	検討内容	検討結果
県北振興	<ul style="list-style-type: none"> ●成果ユーザー(生産者、JA)を含めた試験研究課題及び試験研究成果検討会を開催。 ●今年度は試行的に、ハウレンソウ・雑穀以外の県北農業研究所研究成果(リンドウ・アスパラガス)についても、県北振興連携プロでユーザーと検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ○成果ユーザーと連携したプロジェクト研究態勢を継続。 ※ハウレンソウ夏期 1t どり技術確立 ※雑穀品種開発・安定生産技術確立 ※雑穀優良種子生産
リンドウ こぶ症	<ul style="list-style-type: none"> ●「H20 までの研究成果の確認」、「H21 年度の試験設計の協議」、「現地試験圃場巡回」を実施。生工研と連携し研究を実施中。 ※当センターでサンプル提供したこぶ症株の GKaV(リンドウこぶ症関連ウイルス(仮称))陽性数は 235/249、発症圃の見かけ健全株の陽性数は 9/215(生工研)。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生工研からの要望に対応し、こぶ症越冬芽のサンプル提供を継続実施。 ○実績及び次年度の設計・連携計画の検討を実施(3月) ○H21 終了予定課題を1年延長し、物理的遮断効果、接木・種子伝染性を確認。
いちご 生産振興	<ul style="list-style-type: none"> ●今後のイチゴ研究は「促成(前進)作型」と「夏秋期作型」が柱。 ●県としてのイチゴ生産振興については農産園芸課と議論中。 	<ul style="list-style-type: none"> ○報告書を作成。 ○「イチゴ研究会(仮称)」の設置について、生産者・関係機関と協議。
リンゴ 農薬 50% 削減	<ul style="list-style-type: none"> ●研究成果・報告書の作成方針を検討。 ●岩手県版のマニュアルは作成せず、慣行技術との違いや経営上の効果等を踏まえた研究成果を提案。 	○報告書を作成。
	※成果名: <ul style="list-style-type: none"> ・リンゴすす斑病の発生が多い園地における防除対策(普及) ・リンゴわい性台樹における薬液到達性の高い樹体構成(普及) ・リンゴわい性台樹の薬液到達性評価法(指導) ・リンゴわい性台樹の側枝本数とスピードスプレーヤの薬液散布量等が薬液到達性に及ぼす影響(研究) ・農薬 50%削減リンゴ栽培の導入経緯と経営評価(指導) 	

(ウ)具体的な検討内容

①「いちご生産振興」連携プロジェクト

いちごは、夏涼しく、冬の日照時間が比較的多い本県の気象条件を活かした作物であり、土地生産性が高く、耕地が狭小な地域でも高所得が得られる野菜品目として産地化が期待されている。特に、沿岸地域では平成 18 年度に農業振興の重点品目と位置づけ、3 ヶ年間、モデル事業による作付拡大に取り組んでいる。しかし、本県のいちご生産は小規模産地が県内各地に分散している実態や県内出荷が主体であるなど、生産拡大を図るためには、解決を要する多くの課題を抱えているのも事実である。

そこで、平成 20 年度、「特定課題調査検討チーム」を編成し、本県いちご生産の現状と課題を踏まえつつ、当研究センターが取り組むべき研究方向及び所内連携・分担体制を明確にし、産地拡大を見据えた研究のあり方について報告書を取りまとめた。21 年度は、新たに行政及び普及機関の参画を得て「いちご生産振興連携プロジェクトチーム」を編成し、より全県的な視野で協議を継続し、本県のいちご生産振興と連動したいちご研究の方向性についての結論を得た。その概要は、以下のとおり。

現在、本県のいちご生産は、促成作型、半促成作型、露地作型、そして新たに夏秋作型を加えて、大きく 4 作型で構成されている。プロジェクトチームでは、まず、「促成(前進)作型(11月～5月出荷)」と「夏秋どり作型(7月～11月出荷)」を市場ニーズが高く、本県の気象特性を活かせる優位な作型として絞り、重点推進地域を設定して産地化を推進することとした。

そして、これらの作型における生産振興上の技術的課題とこれに対応した試験研究課題として、「促成(前進)作型」では【無加温・無電照に適応する促成品種の選定と低コスト栽培管理技術】を、「夏秋作型」では【長期収穫及び秋期収量の増加による単収向上、種苗コストの低減】を掲げた。さらに、「作型共通」の課題を【いちご萎黄病防除対策実証と苗感染回避技術の開発】とし、常に、現地ニーズに応じて研究課題を設定できるようにした。

本プロジェクトチームの特徴として、単なる試験研究課題の設定に終わることなく、いちごの産地拡大に向けた目標と具体的方策を同時に検討したことがあげられる。ここでは、「推進対象者と経営スタイル」「推進すべき技術・経営の姿」「推進具体策」をもとに、平成26年を目標とした地域別推進計画を提示した。特筆すべきは、生産者と関係機関がお互いに生の情報を共有する場としての『いちご研究会(仮称)』の設立である。まだ、設立の決定には至っていないが、本組織を中心に研究と行政の連携を図ることで、岩手県が新たないちご産地に仲間入りすることが期待される。

(4)その他

ア カットフルーツでりんごの消費拡大を！！

技術部園芸研究室で育成したりんご‘岩手7号’は9月下旬に成熟する優良品種で、平成21年9月10日付で品種登録(登録番号第18415号)されたばかりの新品種である。果実の形状は円形で、大きさは300g前後、色は濃紅色から暗紅色で全面に着色しやすく、さびの発生は少ない等、外観に優れている。また、果汁は多く、まれにミツが入り、糖度は13～14%(Brix.)、酸度は0.3～0.4g/100mlであり、酸味が穏和で食味が良好である。

‘岩手7号’の特徴として、同時期に収穫される他品種に比べ、剥皮後の果肉が最も褐変しにくい性質である。一般に多くのりんご品種は剥皮後の果肉が褐変するため、カットフルーツなどへの利用は難しいとされているが、‘岩手7号’はカットフルーツとしての利用や食品加工等へ用途を拡大できる可能性がある。

本年、岩手県農業研究センターと全農岩手県本部は、岩手7号’の生食用に加えて、カットフルーツへの利用を共同で検討した((財)中央果実生産出荷安定基金協会の加工・業務用果実需要対応産地育成事業で実施)。10月上旬～中旬にかけて盛岡、北上、仙台、東京、大阪の計10会場で‘岩手7号’を使用したカットフルーツを試験販売し、購入者からは好評価をいただき、今後の‘岩手7号’の用途拡大に向けた可能性検討に活かしていく予定である。

イ 全国りんご研究大会の視察会場になりました

平成21年9月3～4日、岩手県において第56回全国りんご研究大会が開催された。全国各地から約750人が参加する大きな大会で、日程は1日目が盛岡で研究発表や事例発表、2日目が農業研究センターを含めた県内4カ所の園地視察となった。

大会のテーマは「明日を拓くわい化栽培技術を目指して ～誰にもやさしく楽々栽培の追求～」で、農業研究センターの視察園地の見所は「JM7台木を利用した低樹高仕立て法のせん定試験区」、「りんご単植園と授粉専用品種の栽培試験区」である。

2日目の園地視察は大型バス4～5台で3班に分かれ県内を移動し、農業研究センターには1回約150～200人の視察者が訪れた。当日は農業研究センターの職員その他、岩手県果樹協会、振興局、IGRの職員の方々にもお手伝いをいただいた。

視察者は、肥大良好な岩手県オリジナル品種「黄香」や低樹高のせん定試験区を見ていったが、最も興味が高かったのは、たった5果しか結実していない岩手県オリジナル品種「岩手7号」のようで、「岩手7号」の小さな樹の周りには毎回大きな人だかりができ、職員は5果の果実を守ることに精一杯だった。

ウ サムサの秋でお目覚めバッチリ！～アスパラガス伏せ込み促成栽培の高収益化を目指して

冬にアスパラガスを生産する「伏せ込み促成栽培」は、冬期間の高収益品目として東北地方での生産が増加している。アスパラガスは休眠があり、早く寒さにあてて目をさますことにより単価が高い早期出荷が可能となることから、秋の寒さが早い岩手県は有利な地域であるといえる。

しかし、伏せ込み促成栽培には、最適な株養成法や伏せ込み法、また、収量に直接影響する休眠性等不明な点が多く、これらを明らかにすることで収益性の大幅な改善が期待される。

そこで、今年度から3ヶ年計画で、当センターが中心となり、農林水産省の新たな農林水産政策を推進する実用技術開

発事業「アスパラガスの周年供給を実現する高収益安定生産システムの確立」に取り組み始めた。この取り組みでは、アスパラガスの休眠性を解明し、早期に多収を得る生産技術の確立と収益性が高いアスパラガス伏せ込み促成栽培生産システムの確立を目指し、アスパラガス伏せ込み促成栽培の高収益化が図られることをねらっている。

3 研究室・課の動き

(1)プロジェクト推進室

岩手県農業試験研究推進構想の目標達成に向けた「平成 22 年度までに取り組む研究方向について」(平成 19 年 3 月策定)に基づき、県民ニーズを重視し、県政課題に即応し、重点的かつ機動的に高度な生産技術の開発を図るため、平成 20 年 4 月に専任体制のプロジェクト研究担当を設立し、農業研究センター内の基盤研究部門と連携のもとミッション達成のため、3 年間(平成 22 年度)を目処に、以下の重点的な技術開発に取り組んだ。

- 「競争力のある産地形成」に向けた水田農業の低コスト化、収益性向上を図る新技術開発
- 「環境と共生する産地づくり」に向けた特別栽培・有機栽培技術開発

水田農業

水田農業の担い手の育成に資する技術開発を進めるため、水稲の直播栽培安定多収技術の開発、乾田直播栽培技術の開発(重点目標 A-3、Q-1 の実現に対応)、及び水田麦・大豆の安定多収を実現する新技術等を開発(重点目標 B-2、H-2、L-2、N-5、Q-1 の実現に対応)に取り組んだ。これらを軸に、土地利用型作物の低コスト生産技術の確立と体系化に取り組んだ。

業務推進にあたっては、競争力・社会貢献力のある技術シーズを開発し、現地実証試験やビジネスパートナーとのコミュニケーションの強化によって、生産現場に即した技術の実用化を図った。

<水稲湛水直播栽培の安定多収技術の開発>

「水田作業機の排水溝形成装置(特願 2008-304112)」の特許実施契約・市販化を図るとともに、実用化を図るため、作溝同時直播装置を改良し、大規模圃場や県内の代表的な 7 戸の水田農業経営体(八幡平市、盛岡市、紫波町、花巻市、北上市、金ヶ崎町、一関市)の水田で実規模の現地実証を行い、県内各地での実用性を明らかにした(研究成果:指導区分 水稲湛水直播栽培における作溝同時直播装置の開発(追補)～装置の改良と現地適応性)。併せて、開発・市販化した「いわて型直播専用肥料 直播用 200」について、普及センターの現地実証に協力した。

直播栽培の安定性向上のため、県内全域のアメダス地点ごと、各品種ごとに、安全作期が確保できる割合を安全度として評価する手法を開発した(研究成果:指導区分 水稲主要品種における湛水直播栽培の安全度)。

関心が高まっている乾田直播栽培について、大区画ほ場試験や現地試験(遠野市)を実施し、出芽を安定させるための播種前後の土壌鎮圧技術、収量を向上するための播種条間を明らかにした(研究成果:指導区分 水稲乾田直播栽培を安定させる播種時鎮圧及び播種条間)。

飼料イネ(WCS)の低コスト栽培のため、省力施肥、除草の効率化、移植栽培と直播栽培の組合せ技術などについて所内試験及び現地実証試験(紫波町)を実施し、飼料イネ(WCS)の直播栽培後の移植栽培における密植や深水管理といった耕種的な防除と、限られた除草剤使用を組み合わせた総合防除技術を開発した(研究成果:指導区分 飼料イネ(WCS)栽培における効率的な雑草防除)。

このほか、軽くて持ち運びが楽な水稲育苗用培土の特徴と留意点を取りまとめるとともに(研究成果:研究区分 持ち運びが楽な水稲育苗用軽量培土)、水田農業の低コスト化、軽労化、安定化に向けた試験研究を進めた。

<水田大豆・小麦の多収、低コスト技術の開発>

水田大豆の湿害を回避し多収化を図る小畦立て播種栽培を汎用的に適用する技術の開発を進めた。麦作あと晩播大豆の密植狭畦栽培や、小麦作に適用する「密条用小畦立て播種機」を完成させるとともに、その適用性を所内試験及び現地実証試験(紫波町、花巻市)を実施し確認した。小麦の秋まき及び冬期播種のそれぞれについて現地実証試験を実施中である。

また、水稲乾田直播と大豆小畦立て播種栽培を組み合わせた輪作体系について実規模現地実証(花巻市)を行い、2 カ年間にわたりコストがほぼ半減する試験結果を得た。

ナタネの搾油と BDF にカスケード利用に向けた生産安定を図るため、ナタネなど微小種子を播種できる播種ユニットを開発し、これを小畦立て播種機に取り付けて現地実証試験(雫石町)を実施中である。

特裁・有機

重点目標である「環境と共生する産地づくり」に向けた特別栽培・有機栽培技術の開発の解決に向けて以下の課題に取り組んだ。

「農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発」では、水稲を環境保全型農業(特別栽培及び有機栽培)で栽培

することによる生物多様性向上の指標生物種の選抜を目的として、環境保全型農業実施集落と慣行栽培の集落で調査を行い、「クモ類」が指標生物種として有望であることを明らかにし、国際学会で発表した。

「特別栽培・有機栽培等高度化生産方式の開発」では、水稻に関しては、課題を大きく整理し、プレミアムブランド米生産を支援する技術(化学合成農薬を慣行の1/4以下等)の開発と有機栽培を支援する技術(機械除草)の開発の2つに集約し、現地(奥州市江刺区、一関市花泉町、一関市大東町)実証試験を中心に検討を行った。野菜、畑作物に関しては、トマトの無化学肥料栽培、トマトの物理的防除・生物農薬を中心とした減農薬栽培、スイートコーンの生物農薬を利用した減農薬栽培、大豆のボルドー剤・機械除草を中心とした減農薬栽培について検討した。

(2) 企画管理部

研究企画室

平成19年3月に策定した「岩手県農業試験研究推進構想の目標達成に向けて平成22年度までに取り組む研究方向について」に基づき、当センターにおける試験研究の企画・運営について、①顧客起点の試験研究の推進、②プロジェクト研究を活かした試験研究の推進、③競争型資金への対応強化、④「新しい長期計画」や「農業技術開発基本構想」の策定見直しに対応した「試験研究推進計画」の策定の4つの柱を主要課題として取り組んだ。

顧客起点の試験研究の推進については、顧客のニーズに対応した試験研究や成果の普及・定着化を図るため、顧客である農業者からの意見等を把握するため農業農村指導士との意見交換(6月)の開催などにより、顧客起点の試験研究を図った。

これまで、農業研究センターの成果を含めて業務内容がよくわからないなどの声が県庁関係者から寄せられていたことから、マスコミ各社に研究成果を提示し取材要請を積極的に行ったことにより、記事掲載等の件数が大幅に増加した。また、当センターのホームページへの試験研究関連情報の更新によりアクセス数が大幅に増加するとともに、センターの研究活動の「現在(いま)」を分かり易く、タイムリーに発信する「らば・れたあ」の新規掲載とダイレクトメール発信による県農業関係者への積極的な情報発信を行った(年87回)

「本部参観デー」については、見る、食べる、体験をポイントに企画の見直しを行い約7,000人(前年比1,000人増)の来場となった。現地ふれあい農業研究センター(宮古、久慈農業改良普及センター管内、3回)と一日子供農業研究員(8月)を開催し、小中学校や高校の体験学習を積極的に受け入れ対応した。

農業研究センター研究報告については、委員会による研究報告の位置づけを整理し、投稿促進に向けた環境作りを行った結果、29課題の応募があり、研究員の投稿意欲の醸成につながった。

プロジェクト研究を活かした試験研究の推進については、重点課題の早期解決のため、専任体制のプロジェクト推進室(水田農業、特栽・有機)のほか、昨年の特定課題検討チームの結果等を踏まえ、県北振興連携プロジェクトを再編(ほうれんそう部門の創設)するとともに新たに3つの連携プロジェクト(りんどうこぶ症、いちご生産振興、リンゴ農薬50%削減)を設置し、現場に密着した試験研究を推進した。また、今日の多岐にわたる行政課題あるいは今後重要と見込まれる事項について、的確に対応するため、特定課題調査検討チームを2チーム(①花き研究ビジョン、②米の食味向上)立ち上げ、行政への情報提供や試験研究課題への反映等を行った。

研究員の資質向上については、「農業研究センター研究員育成プログラム」(平成19年3月策定)に基づき、センター研究員研修計画を策定し、ゼミの開催(94回)、依頼研究員等への派遣(93人)及び学会等への参加(150人)に取り組んだ。また、北東北三県研究職員交流による研究員の資質向上支援(3人)、中国国龍江省農業科学院との研究交流に関する意見交換を行った。

競争型資金への対応強化については、センター内の研究員に対する「競争的資金事業に関する最新動向」に係る情報提供、ブラッシュアップ検討を行い、採択率が大幅に増加した。また、課題応募にかかる意志決定のルールの見直しを行った

産学官連携については、岩手農林研究協議会(AFR)の各研究会の活性化に向け、事務局(岩手大学)と、存在意義について議論し、位置づけや研究会を見直し、再スタートした。

研究シーズと生産者、企業とのマッチングについては、いわて産学連携推進協議会(リエジーン-I)との連携による生産者、企業等へのシーズ提供のほか、平成21年度研究・技術シーズ2009発表会を通じ、県内外に積極的な研究シーズの情報提供を行った。

予算管理面では、各室課長へ競争的資金確保に対応した予算管理方法を提示するとともに、競争的資金の適正運用のための「実行方針」と「不正防止計画」を策定しセンター内への周知徹底を図った。また、研究等備品の計画的な更新・整備のための「研究備品更新計画」のローリングを実施した。

新しい「試験研究推進計画」については、これまでの推進構想を大幅に見直し、当センターで取り組む20の分野と分野別の取組内容などを示した「試験研究推進計画における分野別の取組内容(工程表)」を作成し、県関係機関における長期計画や年次計画の策定や研究要望の提案などに活用できるように工夫した。

農業経営研究室

<農業経営>

生産性の高い農業経営構造の確立に向け、①本県主要農産物の競争ポジショニングの提示、②本県の農業構造の現状及び動向の提示、③主要経営類型の経営管理方策の提示、④営農計画作成支援情報の提供、⑤開発技術の経営的評価による効率的な研究推進を柱として業務に取り組んでいる。

本県主要農産物の競争ポジショニングの提示では、報告書「本県産りんどうの競争ポジショニングと振興方向」を公表し、本県りんどう産地の産地改革とりんどうの試験研究課題の設定に活用された。また、岩手県立大学と連携し、「インターネットを活用した市場動向分析支援システム」を開発し提供した。

本県の農業構造の現状及び動向の提示では、農業振興課からの要請を受け、2005年農林業センサスのクロス集計表を分析した報告書「岩手県における担い手の動向分析」を公表し、県長期計画の目指すべき担い手の姿の検討に活用された。

主要経営類型の経営管理方策では、本県の目指すべき担い手の姿を明らかにするため、県内の先進経営体のアンケート調査を行い、報告書「岩手県における先進経営体の現状と課題」を公表するとともに、野菜作の類型について県内外の先進的経営体のヒアリング調査を行った。

営農計画作成支援情報の提供では、意志決定支援システムとして「生産技術体系を活用した経営分析・試算シート」を開発し提供するとともに、集落営農組織の経営多角化のための品目として、加工用トマト、小菊、菌床しいたけの農業技術体系データを公表した。

開発技術の経営的評価では、「農薬 50%削減リンゴ栽培の導入経緯と経営評価」と「飼料用とうもろこしの自走式ハーベスタ、不耕起播種栽培、破碎処理」についての経営経済評価を公表した。

<生産工学>

生産基盤の合理的整備手法と効率的な維持管理方策の確立を柱として業務に取り組んでいる。

基盤整備直後の農地法面の除草作業を省力化するため、寒冷地に適したグラウンドカバープランツであるイブキジャコウソウの防草シートを使用した省力的な法面管理方法を検討し公表した。

また、長大法面の除草作業の労働強度の軽減と安全性の向上を図るため、法面直高別の運動強度を測定し「主観的運動強度から判定した合理的な法面直高」を公表するとともに、「既存の長大法面への小段設置効果と設置経費」を公表した。

総務課

平成 20 年度4月の組織改編に伴い、部名が「総務部」から「企画管理部」となる。主な業務は予算・経理等庶務事務、土地・建物の財産管理、施設設備の維持管理事務となっている。試験研究が円滑に推進されるよう能率的で的確な管理運営を行っている。また、岩手の農業の歴史がわかる「農業科学博物館」や自然とのふれあいが楽しめる「ふれあい公園」の管理運営も行っている。

21年10月に岩手県人事委員会事務局による「労働安全衛生立入指導」が実施されたことを契機に、職員衛生委員会による職場環境点検として「実験室5S」を実施した。今後、附属棟、ほ場へと拡充させていく。

(3)技術部

作物研究室

<水稻>

水稻の奨励品種決定調査、作況調査・作柄解析、高品質・良食味米の安定生産技術確立に関する研究及び水稻原種・原々種の生産業務に取り組んだ。

奨励品種決定調査では、本調査において粳 11 系統(うち本部(北上市)5 系統)を供試した。現地調査は粳を 12 か所、有色素米を 2 か所で検討した。本調査と予備調査結果を踏まえ、うるちの早生でふ系 221 号、岩手 94 号、岩手 91 号(低アミロース米)、岩手赤 92 号、中生で岩手 95 号、岩手 100 号(初年目:穂いもち圃場抵抗性「極強」、耐冷性「極強以上」)、岩手

101号(初年目:耐冷性、やや低アミロースで極良食味)、晩生で岩手96号、岩手97号、岩手102号(初年目:葉いもち・穂いもち圃場抵抗性、耐冷性「極強」)を22年度の本調査に供試することとした(試験研究成果書(行-03)、(行-04)、(行-05))。また酒造好適米として山田錦並みの醸造適性を有する岩手酒98号(初年目)については、次年度以降現地圃場を設置して実規模の醸造試験を実施する予定である。

作況調査・作柄解析については、所内の作況試験データ(本部および県北研究所)・現地生育データ(農業改良普及センター)・気象データ(盛岡地方気象台)・土壌栄養(生産環境研究室)・病虫害(病理昆虫研究室)・作柄(岩手農政事務所)・品質情報(同)を総合的に解析し、当年及び次年度以降の技術対策指導に供した(指-07)。また、水管理の履歴、すなわち異常低温への感受性がある生育時期より以前の水温を制御し、頑強な植物体を育成し、地球温暖化に伴う気象変動下で冷害被害を最小限に抑える新たな技術シナリオを提案するため、岩手大学が中核機関となり「履歴水温管理による水稲の冷害軽減技術の開発」(農林水産省「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」)に本年度から平成23年度まで取り組むこととなった。

水稲原々種はうるち3品種(37系統)331kg、原種はうるち6品種18,660kg、もち3品種2,220kgを生産した。

<水稲育種>

いわてオリジナル水稲品種開発、バイオエネルギー利活用促進技術の開発に取り組んだ。

オリジナル品種開発では、20年度に育成した非主食用水稲新品種つぶゆたか(旧系統名岩南29号)とつぶみのり(同岩手85号)を奨励品種として編入した(平成22年2月26日)。

生産力検定予備試験は所内で34組合せ128系統、生産力検定本試験では所内で40組合せ53系統を供試し、各種特性検定試験の結果と合わせ、岩手99号(早生の中、耐冷性「極強」、アミロース含有率がやや低く、良食味)、岩手100号(中生の早、穂いもち極強・耐冷性極強以上、あきたこまち並みの良食味)、岩手101号(中生の早、耐冷性「極強」、穂いもち圃場抵抗性「強」、アミロース含有率がやや低く、「ひとめぼれ」以上の極良食味。)、岩手102号(晩生の中、葉いもち・穂いもち抵抗性極強、ひとめぼれ並みの良食味)、の4系統を選抜した(行-05)。

育種の効率化を図るため、(財)岩手生物工学研究センターと連携し、分子マーカーを用いた選抜技術の開発に取り組んだ。重要形質と連鎖したDNAマーカーの探索では、高度いもち病抵抗性、高度耐冷性など有用な形質と連鎖したものを選抜するため、RILsの養成と特性検定、低温発芽性に連鎖するDNAマーカーを利用した選抜ともし交雑を実施した。バイオエネルギー利活用促進技術の開発では、つぶゆたかの種子生産と、DNAマーカーを活用した低コスト対応品種の選抜に取り組んだ。種子生産では、つぶゆたか160kgを生産し、試験用種子として100kgを供給した。DNAマーカーでは、多収系統へ耐病性、耐冷性、低温発芽性を付与するための交配を実施した。

<畑作>

麦類・豆類の優良品種選抜、同栽培法の確立、畑作物の生育相及び気象反応の解明、各種特性検定、原種・原々種生産に取り組んだ。

(小麦)

麦類奨励品種決定調査では、小麦11品種・系統、大麦4品種・系統を供試した。小麦では菓子用として有望視していた東北224号は外観品質と容積重が良好で、「やや有望」とした。

特性検定では、麦類耐寒雪性において110品種・系統を供試し、小麦では10系統、大麦では2系統を「強」と判定した。本特性検定に関連して昭和29年からの試験のうち直近30年のデータを解析し、耐寒雪性評価に適する根雪日数の範囲を明らかにした(研-05)。

原種はナンブコムギを5,790kg、ネバリゴシを1,800kg生産した。

(大豆)

大豆奨励品種決定調査では、6系統を供試し、4系統の有望度を「中または再検討」と評価した。このうち昨年度「大粒で品質良好」と判定した里のほほえみ(旧系統名東北160号)は収量性及び成熟期の年次変動を確認するため、再検討することとした。

立枯性病害抵抗性検定試験では、36系統を供試し、1系統を「強」、9系統・品種を「やや強」と判定した。

原種は2品種1,900kg(一部選別中)、原々種は生産しなかった。

(共通事項およびその他品目における取り組み)

畑作物の生育相及び気象反応の解明においては、「平成21年産 麦の生育経過の概要と特徴」(指-10)および「平成21年産 大豆の生育経過の概要と特徴」(指-11)として研究成果としてとりまとめ、普及員等指導者の技術指導の資とした。

あずき系統適応性検定試験では、12系統を供試し、7系統を「中または再検討」とした。ばれいしょ系統適応性検定試験では7系統を供試し、1系統の有望度を「中または再検討」とした。

園芸研究室

園芸研究室は、果樹、野菜、花きの3分野における栽培や育種の研究を主に担当しており、今年度からは作目毎にチーム制を導入して試験研究に取り組んだ。

<果樹チーム>

果樹は、リンゴを主体に、ブドウ、西洋ナシ、オウトウ、ブルーベリーなどの樹種に係る試験を実施している。

リンゴの栽培技術では、省力・低コスト・高品質安定生産技術や、安全・安心で環境に配慮した生産技術の確立に取り組み、今年度は以下の研究成果を得た。

東北農業研究センターの委託研究として実施した「東北地域における農薬50%削減リンゴ栽培技術体系の確立」において、リンゴわい性樹における薬液到達性の高い樹体構成を明らかにするとともに、樹冠評価法として繁茂指数法や樹冠視認度による方法を開発した。これと類似した内容として現場で普及しているJM7台木利用樹の低樹高仕立ての側枝構成を明らかにした。

リンゴわい性台木樹の簡便な樹相診断技術として、頂端新梢葉数および葉身長を測定する技術を開発した。

さらに、平成19年度に奨励品種としたリンゴ「岩手7号」の果肉が褐変し難い特性を活かし、財団法人中央果実生産出荷安定基金協会の公募事業を活用して、「カットフルーツ」の試作・試験販売を行い、新たな需要創出の可能性を見いだした。

リンゴ以外の樹種では、ブドウ「シャインマスカット」の花穂整形、ジベレリン処理、摘粒の方法を確立した。

他の課題として、省力化をねらったオウトウの垣根仕立て栽培法の確立に関する試験を継続して実施した。

リンゴの品種開発では、「岩手7号」が平成21年9月10日に品種登録となったほか、他の岩手系統について現地適応性試験や試食検討会を開催し、「岩手5号」の評価が高いことから次年度に奨励品種・品種登録について最終検討することとした。

これまで、不明であったオリジナル品種「きおう」と「岩手7号」の交配親については、SSRマーカーを利用した親子鑑定によって「きおう」が「王林」×「千秋」、「岩手7号」が「つがる」×「プリシラ」と判明した。

ブドウの品種開発では、「岩手3号」が食味、耐寒性に優れていることから最終選抜し、奨励品種に組み入れるとともに、品種登録手続きを進めることとした。

<野菜チーム>

野菜は、農業労働力の不足が深刻化する中で、消費地や地場のニーズに合った生産や、量販の拡大に対応する低コスト化や品質の維持が緊急の課題となっている。これらの解決をめざし、果菜類を主体に生産技術確立に取り組み、今年度は以下の研究成果を得た。

トマトの抑制作型技術については、夏期間の労力競合と秋期の収量低下を解決する方策として期待されるが、単価が安定する9月以降の収穫・出荷を確保できるメリットはあるものの、育苗期間が慣行作型と重なるため、省力的な育苗技術の開発が課題であることから、若苗直接定植を前提としたペーパーポット育苗のかん水方法を開発した。

新規品目として近年安定した需要が見込まれているパプリカについて、収量や品質に優れた品種を赤色、黄色それぞれのグループで選定した。

きゅうりではホモブシス根腐病対策技術として、トウガン等の台木が有効であることを明らかにしたが、ブルームの発現等の課題が残された。

果菜類の他の研究では、きゅうりの早熟栽培と抑制作型の組み合わせによる長期獲り栽培技術の確立をねらいとして、保温効果が期待できる空気膜2重構造ハウスを用い、早熟作型の前進化と抑制作型の出荷期延長技術の試験を継続したが、無加温では収量性の向上はわずかであり、出荷期延長は見込めないとの結論を得た。

イチゴでは、東北農業研究センターからの委託により、イチゴ四季成り性品種の苗増殖性向上技術の試験を実施、組織培養による苗を作出し、ランナーを得るための低温遭遇時間を明らかにした。

近畿中国四国農業研究センターからの研究委託により、簡易な装置でかん水可能な日射制御型拍動ポンプを利用した露地ピーマンにおける減肥試験を開始した。

果菜類以外の品目では、東北各県や大学との共同研究として、農林水産省の「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」を活用した促成アスパラガスの研究に主体的に取り組んだ。端境期となる11～12月の早期生産技術の確立を目指して、アスパラガスの休眠特性の解明と低温遭遇技術の開発に取り組み、休眠導入と打破の誘導可能な条件に関する新たな知見を得た。

<花きチーム>

花きは、国際化や消費動向の変化に対応できる寒冷地型花きの生産を実現するため、研究対象を重点品目であるりんどうに特化し、オリジナル品種の開発や生理生態的基礎研究に取り組むとともに、これまでに開発したオリジナル品種の原々種維持、原種増殖と種苗センターへの供給を行っている。

りんどうの品種開発では、昨年度選抜した2系統が品種登録出願された桃色の栄養繁殖系鉢物用品種「花研鉢2」は「ももずきんちゃん」、わい性りんどう「A4PBN₀34-25」は「いわて DPB1 号」と命名された。育成中の系統では、現在、最も品種開発が急がれている晩生種の有望系統3系統を絞り込み、これらの特性に関する研究成果を取りまとめた。

りんどう種子の安定供給による生産振興を図るため、原々種の安定採種、親株の大量増殖と供給に取り組み、ほぼ計画数量どおりの親株を種苗センターに供給するとともに、より安定した種子確保のため、種苗センターの親株管理法についてポット管理から地床植え管理への移行を指導した。

(財)岩手生物工学研究センター、岩手大学、安代リンドウ開発と共同し、農林水産省の「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」で「純系りんどうとDNAマーカーを利用した品種育成技術の開発」に取り組み、純系リンドウ由来F1品種の特性評価を進めるとともに、花色マーカーの実用性評価を実施している。

りんどうの開花予測や開花調節、品質向上技術開発などにつながる生理生態に関する基礎的研究を、クローン個体を供試して継続して実施し、本年は早生、中生、晩生系統毎に生育ステージ別生育適温度帯を特定し、研究成果として取りまとめた。

その他、りんどうこぶ症の研究では、畦畔における暴露試験、接ぎ木伝染、種子伝染のいずれにおいてもこぶ症発生の可能性が示唆された。

なお、昨年度は休止状態であった生物工学分野の研究を再開し、組織培養における高増殖条件の解明及び超低温保存法としてのビーズガラス化法の適性に関する研究に取り組んだ。

南部園芸研究室

南部園芸研究室では、県東南部および中南部沿岸地域の夏期冷涼・冬期温暖な気象条件を活かした施設野菜、花きの高度生産技術の開発に取り組んでいる。本年度は、冬季温暖で夏季冷涼な気象条件や湧水、杉樹皮などの地域資源を活用した技術の開発を行った。

野菜では、沿岸部での産地形成が期待されている四季成り性いちご「なつあかり」について、越冬苗の定植時期を前進化することで多収となることを研究成果としてとりまとめた。また、一季成り性品種「さがほのか」を用いた夏秋作型についても、四季成り性なみの収量確保が可能な技術の知見を得て、夏秋どり技術としてのバリエーションを広げ得ることを明らかにした。今後、四季成りと一季成りの両品種について夏秋どり技術の開発を進める計画である。さらに、いちごの低コストな高設栽培システムの開発においては、本年度、「閉鎖型高設栽培システム」として研究成果にとりまとめた。現在、作型毎のマニュアル作成を目指して、促成や夏秋作型の適応性について検討している。

共同研究で取り組んでいる「根域冷却処理による高糖度トマト生産」については、培養液濃度を標準の2倍に変えることで、さらなる糖度向上が可能であることを明らかにした。湧水等の冷水資源を有する中山間地で取り組める新たな技術として期待される。

新夢県土いわて戦略的研究開発推進事業を活用して開発した杉樹皮培地については、本年度から新たに「重点的地域研究開発推進プログラム(地域ニーズ即応型)」「(独)科学技術振興機構」を活用して、杉樹皮培地製造メーカーと園芸用培土メーカーと連携して、花壇苗用培養土の製品化に取り組んでいる。ピートモスの代替品として杉樹皮培地を用いた農家段階でも直ちに利用できる培養土の開発を目指している。

(4) 環境部

生産環境研究室

安全で、安心できる農産物の安定的な生産・供給や環境に配慮した農業の振興を図り、岩手ならではの産地づくりに寄与するため、①環境への負荷軽減に配慮した持続的な土壌・施肥管理技術、②消費者の多様なニーズに対応した高品質、高鮮度な農産物の安定供給技術による効率的な研究推進を柱とした業務に取り組んでいる。

今年度の成果として、①水稻施肥設計支援シート(行政)、②簡単・低コストな土壌養分分析システム(普及)、③育苗箱全量施肥による水稻のリン酸・カリ無施用栽培(指導)、④県産野菜の収穫後保管条件と食味の関係(研究)、⑤遠距離輸送に対応したりんどうの鮮度保持技術(指導)、⑥りんどうのエチレン感受性(研究)など、肥料費の低減対策や県産農産物の鮮度等品質向上に関する技術を明らかにした。

その他には、県内耕地土壌の管理実態調査(H54～)や温室効果ガス情報調査、りんどう採花期間における効率的な追肥時期とその新肥料の開発や、県内に豊富に存在する鶏ふんの利用拡大に向けた尿素を添加した高窒素鶏ふん堆肥の製造

とその利用作物の拡大等を行ってきた。水田の利用拡大に関する飼料稲の多収生産に向けて、堆肥を主体する省力・低コスト施肥法の開発、食の安心の支援技術として、畑作物・野菜のカドミウム吸収抑制技術やその濃度簡易測定法などの開発、野菜の生産現場における有害物の付着等リスク軽減に関する検出手法の開発を行ってきた。

引き続き、地球温暖化をはじめとした環境問題が大きクローズアップされてきていることや農産物価格の低迷、生産資材の高騰等により、より一層、低コスト施肥技術への期待が高まっていることから、「いわて県民計画」の実現に向け、『『農林水産技術立県いわて』技術開発基本方針（農林水産物の高付加価値化と販路の拡大）に即して、環境保全と食の安全安心を求める消費者の視点を重視しながら、従来の栽培法と同等以下のコストで、高品質・安定生産を確保できる環境に負荷の少ない土壌施肥管理技術を開発する。

病理昆虫研究室

持続性が高く安定性のある農業生産の展開を目指した病害虫制御技術の確立を進めるため、環境負荷軽減を目指した効率的な化学的病害虫防除技術、生物的防除など環境にやさしい病害虫防除技術及び病害虫総合管理技術（IPM）の開発に取り組んだ。

水稲分野では、種子伝染性病害の防除対策として、いもち病の保菌初率を低下させる防除技術開発試験に取り組むとともに、葉いもちの発病率と穂いもちの被害量との関連性について症例対照研究により解析を行い、これまで発生程度を「無」としていたごくわずかな葉いもちの発生でも、穂いもちの発生リスクが高まることを明らかにした（研究）。

畑作分野では、ウコンノメイガの越冬植物と大豆における発生消長を明らかにした（研究）。

野菜分野では、本県で主要ないちご品種の萎黄病耐病性や（指導）、スイートコーンにおけるアワノメイガ防除適期および生物農薬（BT水和剤）の防除効果（指導）を明らかにするとともに、キャベツにおいて鱗翅目害虫対象殺虫剤主体の環境保全型防除体系を取り入れた圃場で特異的に発生する生物多様性候補種を選抜した（研究）。

果樹分野では、リンゴすす斑病の防除対策として、8月上旬、下旬および9月中旬の薬剤選択により効果的に同病害を防除できる技術を確認するとともに（指導）、気門封鎖作用のある新しいタイプの殺ダニ剤（デンブン水和剤）を活用したリンゴハダニの防除技術を確認した（普及）。

花き分野では、リンドウ褐斑病・炭疽病の発生生態を明らかにするとともに効果的な防除対策を示した（指導）。

野菜・花き分野共通の害虫であるアシグロハモグリバエの防除に効果的な薬剤を用途別に示した（指導）。

また、国内外の学会等には積極的に参加し、アジア・太平洋国際昆虫学会（中国北京市）では1件、日本植物病理学会東北部会では2件、日本応用動物昆虫学会では1件、北日本病害虫研究会では4件について口頭又はポスター発表し、本県の成果をPRした。

(5) 病害虫防除部

病害虫防除課

(発生予察)

発生予察調査等により農作物発生予察情報を作成し関係機関・団体に向けて提供した（長期動向（1回）、定期情報（7回）、注意報（3回））。また、定期情報のみでは防除に万全を期せないと見込まれる場合には、随時、病害虫防除速報（14回）、発生現況情報（6回）を提供した。これらの情報については、メール印刷物により提供したほか、アグリベンチャーネットにも掲載しアクセス数は20,842件となった。

さらに、発生予察調査や植物防疫事業等で得られた成果を、病害虫防除指導に有効な情報として、岩手県病害虫防除術情報（3件）として提供した。

(病害虫防除指導)

総合防除地域への定着を図り、環境に配慮した持続的農業を推進するための病害虫防除員、関係機関・団体と連携を、「市町村病害虫防除計画」に基づいた防除の実施を推進した。

また、植物防疫事業実績検討会を開催し、主要病害虫の発生要因解析を行うとともに、各地域で問題となっている病害虫の発生状況と対策について検討した。

水稲においては、病害虫防除員との連携による地域調査活動、岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会と連携した防除指導活動を展開した。

果樹では、りんごについて地域の防除暦作成にあたって普及センター担当者等とともに、検討を行った。また、県内206の共同防除組合等から85組織分の防除実績を収集、解析して次年度の防除計画の改善に資した。

さらに、今年度から地域の課題に迅速に対応するため病害虫診断の窓口を当課に設置することを明確にし、地域で困難な診断手法を取り入れながら機能の充実を図った（件数184件）。

(農薬適正使用指導)

農薬の適正な販売や使用を徹底するために農薬の販売者や使用者に対する研修会を関係機関・団体と共同で開催した(研修会開催3回、防除実績検討会1回、講師派遣6回)。

また、農薬取締法に基づく農薬販売者への立入調査を実施した(343件)。

(6) 畜産研究所

家畜育種研究室

<家畜育種>

本県の気候・風土に適し、高品質・低コスト生産が可能となる優良種畜の作出(造成)や飼養管理向上のための技術確立に取り組んでいる。

短角種雄牛作出について、H21 直接検定 18 頭(平均 DG1.32kg)から、現場後代検定用 6 頭(選抜率 33%、平均 DG1.37kg)を選抜した。現場後代検定は、H17 交配種雄牛「福藤」、「藤錦」、「波辰」、「堀辰」、「笹良」の成績をまとめ公表した。H18 交配種雄牛「時姫」、「玉吉」、「川藤」、「松川」、「国灯」の産子の所内検定肥育を行うとともに、現地成績を調査中である。H19 交配種雄牛「松富」、「花蛇」、「萩川」、「民姫」、「慶一」の産子の検定肥育を実施中であり、H20 交配種雄牛「勝花」、「松福」、「松宝」、「良誉」、「栄光」、「良錦」の産子の検定肥育を開始した。また、県有優良種雄牛「辰郎」等の凍結精液を生産した。

日本短角種全個体認証のためのデータベースを構築し、血統・枝肉情報等を用いて遺伝的能力の推定及び近交係数を算出し、「短角牛 2009 IN IWATE」として地域に情報提供した。日本短角種の肥育全期間をトウモロコシサイレージ主体で肥育する技術については、関係機関と協力しながら、現地実証試験をし、一般出荷牛と同等の肥育成績を得ている。また、給与飼料や種雄牛によって枝肉脂肪中脂肪酸組成が変化することを明らかにするとともに、トウモロコシ WCS と大豆 WCS 組合せによる自給 100% 肥育を目指した試験を継続している。

黒毛和種肥育の飼料自給率向上のため、H18 より肥育前期粗飼料多給技術に取組み 2 期 24 頭の肥育を終了し、解析中である。

養豚では、肥育全期間に配合飼料の 20% を玄米で代替した場合の特性を明らかにした。また、黒豚等純粋豚生産農場における集団維持手法の検討を現地農場と提携しながら取組み、血統・交配方法等の情報提供を行うとともに、所内繫養種豚群(パークシャー種)の繁殖・産肉能力を調査しながら種豚を供給した。

養鶏では、「南部かしわ」の雛供給や南部かしわ研究会開催等により普及推進を図った。南部かしわ飼養マニュアル作成の一環で冷麺ぐず等を活用した肥育法を提示すると共に、栄養構成により仕上時の筋肉内脂肪含量を高めることが可能となる知見を得た。また、特定 JAS 規格認定地鶏肉「三陸地鶏」生産用止雄種鶏の種卵供給を継続するとともに、次期止雄鶏候補としての新軍鶏系統の 0 世代を作成し選抜を開始した。

<家畜工学>

本県の牛の改良と増殖を促進するために胚移植技術および遺伝子解析技術等のバイオテクノロジーに関する課題について基礎研究と応用化研究に取り組み、成果の普及、啓発に努めている。

胚移植技術では、胚移植時の受胎率の高い受胎牛の血液性状(B/G 比、血中アンモニア濃度等)・糞便 pH をもとに、飼料の NFC/DIP 比を調整給与すると指標値を満たし高い受胎率が得られることを提示した。また、公共牧場での乳用未經産牛への移植実証では受胎率 40% 程度を得たものの、栄養管理等の改善が課題となった。胚移植で生産される子牛を人工哺乳する場合の離乳時期等について栄養摂取と血液中成分(BHB 等)の関係から提示した。

遺伝子解析では、種雄牛「菊安舞鶴」産子の DNA と枝肉格付データを用いて QTL 解析を拡充実施し、BMSNo.、枝肉重量に影響する遺伝子座がそれぞれ第 1 番、第 6 番染色体に位置することを明らかにし、当該種雄牛の後継候補牛選抜に利用可能であることを提示した。また、黒毛和種の県枝肉共進会出品牛について脂肪酸組成と関連遺伝子分布状況等について調査を実施した。

家畜飼養・飼料研究室

当研究室では、乳用牛の飼養管理技術の確立と良質粗飼料の効率的な生産・調製技術開発に取り組んでいる。

<飼養 G>

「岩手県酪農・肉用牛生産近代化計画」を基本に、生産者ニーズに応えるため、家畜生理と調和した高能力牛の飼養管理技術の確立と省力管理システム、自然環境と調和したゆとりのある酪農経営を構築するための技術開発に取り組んでいる。

乳用初産牛の乳頭を分娩予定日2週間前からの毎日1回、アルコール綿による清拭後にディッピングを実施する事で分娩直後から10日目までの乳房炎発症を抑制できる。

「泌乳牛における分離給与の飼料給与順序がルーメン発酵に与える影響」では、イネ科乾草先行給与と配合飼料先行給与では乳量と乳成分に差はないが、イネ科乾草先行給与で乾物消化率が向上するとともに、給与2～3時間後の血中尿素態窒素濃度が配合飼料先行給与より低いことから、第1胃内微生物活性が向上することを明らかにした。

<飼料 G>

本県の畜産を安定的に推進するため、良質で効率的自給粗飼料の生産技術の開発に取り組んでいます。

飼料用トウモロコシの不耕起栽培試験では6年連続の栽培試験に取り組み、耕起栽培と同程度の収量が確保でき、さらに、耕起、砕土・播種床形成の作業を必要としないため播種に係る作業時間が12%に短縮される。

飼料用トウモロコシ市販品種のうち極早生2品種、早生5品種、中生2品種、晩生5品種の生育特性、対病性、収量性等について比較し、これらを総合的に判断して「DKC34-20(ニューデント95日)」（極早生）を推奨品種として提案した。

外山畜産研究室

中山間地域の草地資源を最大限に活用した肉用牛生産基盤の拡大を推進するため、黒毛和種集団繁殖・育成管理技術の開発及び未利用粗砕カキ殻の土改剤としての利用技術の確立に取り組んでいる。

黒毛和種の自然哺乳飼養における子牛の早期離乳技術(60日齢離乳)について、哺乳回数を制限することにより離乳時の人工乳採食量が900g/日、体重で80kg以上となり、その後の発育も標準以上を確保できることを明らかにした。

授乳期間が分娩後の繁殖機能回復に及ぼす影響では、授乳期間が短い(超早期母子分離)ほど初回発情が早まる。また、放牧飼養することにより更に改善される傾向がみられる。

育成期(3～9ヶ月齢)のTMR給与技術の確立では、乾物中粗飼料割合が40%のTMRを給与することにより、標準発育と同等のDGを確保できることを明らかにした。

粗砕カキ殻の利用では、炭カルの2倍量以上を施用することにより、利用5年目においても炭カル以上のpH矯正効果が期待できることを明らかにした。

種山畜産研究室

黒毛和種改良事業(いわて和牛改良増殖対策事業)の一環として、県内産黒毛和種種雄牛候補12頭を選定するとともに畜産研究所生産の受精卵雄産子等5頭計17頭の直接検定を実施し年度内に10頭が終了、残り7頭については平成22年6月までに終了する予定である。全頭終了後検定成績、血統、体型、期待育種価等総合的に検討し後代検定用種雄牛として5頭を選抜する。また、平成17年度の直接検定により選抜された「飛良美継」「美津清」「遮那王」「夏美谷」「原茂勝」「第7勝幸」の6種種雄牛について現場後代検定を実施し、うち成績が優れた「飛良美継」「原茂勝」を新たに基幹種雄牛として選抜した。

(7) 県北農業研究所

園芸研究室(県北)

県北地域における野菜、花きの地域適応性技術の確立及び開発技術の現地実証に関する研究を実施した。

1) ほうれんそう産地における夏期増収技術の確立

① ホウレンソウ萎凋病耐病性品種を簡易検定法を用いて比較し、タイムリーな成果として発表した。

② 雨よけほうれんそうの土壌水分実態を、八幡平農業改良普及センター管内3戸(ハウス)、久慈農業改良普及センター

管内3戸(ハウス)の計6戸について、水分センサーを用いて測定しデータを蓄積した。

2) 業務用ほうれんそうの栽培技術の確立

- ①業務用に適したほうれんそう品種として、初夏どり用「サイクロン」、秋どり用「パワーアップ7」を選定し、研究成果として発表した。
- ②安定出荷に対応した播種時期、栽植密度と適正施肥量、排水対策に対応した栽培床、除草対策試験に取り組んだ。

3) 国産アスパラガスの周年生産技術の確立

- ①レタス連作ほ場に促成アスパラガスの根株栽培による輪作や伏せ込み終了後の根株をレタス連作ほ場にすき込むことによるネグサレ・ネコブセンチュウの密度低減により、レタス生育の向上を図るための研究を行った。
- ②促成アスパラガスの収益性向上のため、「深耕ロータリによる土壌の膨軟化」、「大畦による根の伸長容積の確保」、「ポット育苗による大苗定植」、「フラワーネット等での倒伏防止による斑点病軽減」の4点について、研究成果に取りまとめ発表した。

4) 県北地域における小ぎくの安定生産技術の確立

- ①親株管理等の省力化のため、同一品種を用いた継続出荷体系の確立試験を行った。
- ②晩霜対策としてのトンネル被覆を省くため、定植時期を遅らせる栽培技術を研究した。

5) 県北地域におけるりんどうの安定生産技術の確立

- ①ハウスでの無加温栽培による前進開花に関し、極早生品種ごとの開花特性を明らかにし、研究成果として発表した。
- ②ハウス無加温栽培において、株仕立て本数の違いが株の寿命や開花品質に与える影響について、研究成果として発表した。

作物研究室(県北)

いわてオリジナル雑穀品種の開発と省力的な雑穀安定生産技術の確立に取り組んだ。

1) いわてオリジナル雑穀品種等の開発

- ①前年度に県奨励品種に採用されたヒエ新品種が、「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」と命名され、品種登録申請中である。
- ②「ねばりっこ2号」は、メソコチル(中胚軸)が徒長しやすい傾向にあり、メソコチル伸長には温度と加温時間が影響していることを明らかにした(研究成果・研究)。
- ③アワ、キビ、ヒエなど由来系統延べ265系統の形態・生態的特性及び画像についてデータベース作成中である。

2) 省力安定栽培技術

- ①畑地を主体としたキビ、アワ栽培における、播種～除草～収穫・乾燥・調製の機械化栽培マニュアルを作成し、関係機関・団体にCD版で配付した(研究成果・普及)。
- ②キビ子実の乾燥は直射日光の当たらない場所で行うことを明らかにした(研究成果・指導)。
- ③雑穀連作畑のアマランス直播栽培で収量を確保するためには機械除草に加え手取り除草が必要であるが、移植栽培では機械除草のみで収量が確保できることを明らかにした(研究成果・研究)。
- ④畑栽培雑穀キビ、アワに対する幼穂形成期の追肥の効果は、キビでは増収効果は期待できないが、アワでは収量がやや増加する可能性があることを明らかにした(研究成果・研究)。
- ⑤アワ初期害虫であるヒサゴトビハムシおよびアワクキハナバエに対する防虫網、防虫テープ、ハーブペレットの被害低減効果は認められないことを明らかにした(研究成果・研究)。なお、小規模な移植栽培試験によりヒサゴトビハムシ被害低減効果が示唆された。

4 平成21年度試験研究課題

(1) 細目課題分類

推進構想分野 担当部署	総課題数	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	S	V	W	Y
		水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	酪農	肉畜	草地飼料	作物バイテク	家畜バイテク	環境保全	土壌作物	病害虫	農業農村	生産システム	農村整備	水田農業	やませ利用	保鮮流通	農産物加工	食の安全安心
プロジェクト推進室	22	4	2	0	0	0	0	0	1	0	0	1	2	0	0	2	0	3	0	0	0	7
水田農業	12	4	2						1				1			1		3				
特栽・有機	10											1	1		1							7
企画管理部	9	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	4	0	2	0	0	0	0	0
農業経営研究室	9		1	1			1								4		2					
技術部	123	44	12	29	21	9	0	0	0	2	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0	0
作物研究室	59	44	12		1					1			1									
園芸研究室	54			29	12	8				1			1	3								
南部園芸研究室	10				8	1							1									
環境部	38	3	1	1	2	3	0	0	1	1	0	1	7	14	0	0	0	0	0	3	0	1
生産環境研究室	16	1	1		2	1			1				7							3		
病理昆虫研究室	22	2		1		2				1		1		14								1
畜産研究所	34	0	0	0	0	0	5	18	7	0	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
家畜育種研究室	14							10			4											
家畜飼養・飼料研究室	13						5	1	7													
外山畜産研究室	3								3													
種山畜産研究室	4								4													
県北農業研究所	34	7	4	0	7	3	0	0	0	0	0	1	1	3	0	0	0	0	6	0	0	2
園芸研究室	13				7	2							1		1				2			
作物研究室	21	7	4			1							1	2					4			2
総計	260	58	20	31	30	15	6	18	9	3	4	3	13	20	4	2	2	3	6	3	0	10

(3) 試験研究課題一覧

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
【プロジェクト推進室】								
プロ水田	終了	A-3	1	(H19-42)水稲湛水直播栽培の収量品質安定化のための技術開発	プロ水田	19	21	令達
	終了			(H19-42-1000)Ditch&Hill播種法の開発	プロ水田	19	21	令達
	終了			(H19-42-3000)直播栽培の生育指標の策定	プロ水田	19	21	令達
プロ水田	継続	H-2	2	(H18-20)水田単作地帯において堆肥を有効に活用した飼料稲多収生産と良質サイレージ生産技術の確立	プロ水田,生産環境,家畜飼養・飼料	18	22	H18-21国庫委託(独法再委託) H22-県単
	継続			(H18-20-1000)(1)堆肥を活用した飼料稲多収のための肥培管理技術の確立	生産環境,プロ水田	18	22	県単
	継続			(H18-20-2000)(2)飼料稲収穫作業適期中拡大方策の検討	家畜飼養・飼料	18	22	県単
	継続			(H18-20-3000)(3)飼料稲栽培における効率的雑草防除法の確立	プロ水田	18	22	県単
プロ水田	継続	B-2	3	(H19-29)水稲乾田直播と大豆浅耕小畦立て栽培技術による輪作体系の確立と実証	プロ水田,農業経営,生産環境	19	23	独法委託
	継続			(H19-29-2000)大豆小畦立て播種栽培技術の確立	プロ水田	19	22	独法委託
	継続			(H19-29-3000)1年1作輪作体系の現地実証	プロ水田,農業経営,生産環境	19	23	独法委託
プロ水田	新規	A-3 O-2	4	(H21-11)積雪寒冷地水稲乾田直播栽培における出芽安定化技術の確立	プロ水田	21	22	民間委託
プロ水田	新規	B-2	5	(H21-01)水田における小麦の湿害軽減播種技術の開発	プロ水田	21	23	県単研究
プロ水田	新規	Q-1	6	(H21-18)耕作放棄地等を活用したナタネ生産及びカスケード利用技術の開発(県課題名:寒冷地におけるナタネ生産現地実証試験)	プロ水田	21	23	独法委託
プロ水田	新規	Q-1	7	(H21-25)作溝型直播装置の実用化による生産性の高い直播稲作システムの確立	プロ水田	21	24	国庫委託・独法委託・令達
	新規			(H21-25-1000)イネの直播栽培の収量を高める作溝直播機の開発	プロ水田	21	22	独法委託
	新規			(H21-25-2000)作溝直播機の現地適用性実証と実用化	プロ水田	21	22	令達
プロ特裁	終了	O-1	8	(H18-05)大規模稲作経営における主要農業機械作業の評価	プロ特裁	18	21	県単研究
	終了			(H18-05-1000)県単研究分	プロ特裁	19	21	県単研究
プロ特裁	継続	Y-2	9	(H19-44)特別栽培・有機栽培等高度化生産方式の開発	プロ特裁	19	22	国庫補助,独法委託,民間委託,令達
	継続→ 組換え			(H19-44-1000)雑穀における有機農産物生産技術の開発	作物(県北),プロ特裁	19	22	令達
	継続→ 組換え			(H19-44-1100)①県北部における生産技術の開発	作物(県北)	19	22	令達
	継続→ 組換え			(H19-44-1200)②県中南部における生産技術の開発	プロ特裁	19	22	令達
	継続			(H19-44-2000)水稲における特別栽培農産物等生産技術の安定化実証	プロ特裁	19	22	国庫補助,独法委託,民間委託,令達
	継続			(H19-44-2100)①プレミアムブランド米に対応した生産技術の安定化実証	プロ特裁	19	22	令達 民間委託,令達

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
プロ特裁	継続			(H19-44-2200)②有機栽培における除草機を中心とした栽培管理技術の評価と有機栽培の実態調査	プロ特裁	19	22	国庫補助, 独法委託, 令達
	継続			(H19-44-3000)野菜・畑作物における特別栽培農産物等生産技術の開発	プロ特裁, 作物(県北)	19	22	国庫補助, 民間委託, 令達
	継続			(H19-44-3100)①化学肥料代替技術の開発	プロ特裁, 作物(県北)	19	22	民間委託, 令達
	継続			(H19-44-3110)ア トマトにおける代替技術の開発	プロ特裁	19	22	民間委託, 令達
	継続			(H19-44-3120)イ 大豆における代替技術の開発	作物(県北)	19	22	令達
	継続			(H19-44-3200)②化学合成農薬代替技術の開発	プロ特裁	19	22	国庫補助, 令達
	継続			(H19-44-3210)ア トマトにおける代替技術の開発	プロ特裁	19	22	国庫補助
	繰上終了			(H19-44-3220)イ スイートコーンにおける病害虫防除代替技術の開発	病理昆虫	19	22	令達
	継続			(H19-44-3230)ウ 大豆における病害虫防除代替技術の開発	プロ特裁	19	22	令達
	継続			(H19-44-3240)エ 大豆における雑草防除代替技術の開発	プロ特裁	19	22	国庫補助
プロ特裁	継続	K-3	10	(H20-19)農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発	プロ特裁	20	24	独法委託
	継続			(H20-19-1000)(1)東北の水田集落における指標生物の選抜と評価手法の開発	プロ特裁	20	24	独法委託
	継続			(H20-19-2000)(2)寒冷地のキャベツ圃場における環境保全型農法と関連した生物多様性の指標生物の選抜と評価手法の開発	病理昆虫, 園芸(県北)	20	24	独法委託
【企画管理部】								
農業経営	終了	F-1	11	(H19-02)既設農業用コンクリート施設の供用年数の推定手法の確立	農業経営	19	21	令達
農業経営	終了	P-1	12	(H20-01)長大法面除草作業の労働負荷を軽減できる法面形状指標の策定	農業経営	20	21	令達
農業経営	終了	P-1	13	(H20-26)イブキジャコウソウによる基盤整備直後の水田法面管理実証	農業経営	20	21	令達
農業経営	継続	N-4	14	(H20-28)GAP導入促進のための経営支援ナビゲーションシステムの開発	農業経営	20	22	独法委託
農業経営	新規	N-3	15	(H21-03)先進的経営体のビジネスモデルと経営管理方策の解明	農業経営	21	23	県単研究
農業経営	新規	N-1	16	(H21-02)本県主要農産物の需要・競争構造の分析	農業経営	21	25	県単研究
農業経営	新規	N-4	17	(H21-04)農業技術体系データベースの整備・拡充	農業経営	21	25	県単研究
【技術部】								
作物(技術)	終了	I-1	18	(H17-02)新規のいもち病圃場抵抗性遺伝子の探索	作物(技術)	17	21	県単研究
作物(技術)	継続	A-2	19	(803)水稻奨励品種決定調査	作物(技術)	14	22	県単採種
	継続			(803-1000)予備調査	作物(技術)	14	22	県単採種
	継続			(803-1100)中晩生系統	作物(技術)	14	22	県単採種
	継続			(803-1200)早生系統	作物(県北)	14	22	県単採種
	継続			(803-2000)本調査	作物(技術)	14	22	県単採種
	継続			(803-2100)中晩生系統	作物(技術)	14	22	県単採種
	継続			(803-2200)早生系統	作物(県北)	14	22	県単採種
	継続			(803-3000)現地調査	作物(技術)	14	22	県単採種

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
作物(技術)	継続	A-3	20	(805)水稲作況調査と作柄成立要因の解析	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(805-1000)水稲作況調査	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(805-1100)県央・県南地域	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(805-1200)県北地域	作物(県北)	14	22	県単研究
	継続			(805-2000)水稲優良品種の気象反応試験	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(805-2100)県央・県南地域	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(805-2200)県北地域	作物(県北)	14	22	県単研究
	継続			(805-3000)水稲作柄成立要因の解析	作物(技術)	14	22	県単研究
作物(技術)	継続	A-4	21	(61)水稲原々種生産	作物(技術)	S29	22	県単採種
作物(技術)	継続	A-4	22	(62)水稲原種生産	作物(技術)	S29	22	県単採種
作物(技術)	継続	A-3	23	(807)水田雑草の効果的防除技術の開発	作物(技術)	14	22	民間委託
	継続			(807-1000)水稲作用除草剤第2次適用性試験	プロ水田	14	22	民間委託
	継続			(807-1100)県央・県南地域	プロ水田	14	22	民間委託
	継続			(807-1200)県北地域	作物(県北)	14	22	民間委託
作物(技術)	継続	A-1	24	(5)水稲新規需要等対応品種の育成	作物(技術)	1	22	令達
	継続			(5-1000)水稲新規需要等対応品種組み合わせ親の特性調査	作物(技術)	1	22	令達
作物(技術)	継続	A-1	25	(6)水稲高度耐冷性集積系統の育成	作物(技術)	2	22	令達
作物(技術)	継続	A-1	26	(7)水稲高度耐病性集積系統の育成	作物(技術)	2	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	27	(31)水稲糯品種・系統の育成	作物(技術)	2	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	28	(32)低アミロース水稲品種・系統の育成	作物(技術)	2	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	29	(27)直播適応性水稲品種・系統の育成	作物(技術)	2	22	令達
作物(技術)	継続	A-2		(27-2000)直播生産力検定試験	作物(技術)	3	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	30	(30)醸造用水稲品種・系統の加工適性試験	作物(技術)	8	22	令達
作物(技術)	継続	A-1	31	(737)分子マーカーを用いた選抜技術の検討	作物(技術)	13	22	令達
	継続			(737-2000)水稲重要形質と連鎖したDNAマーカーの探索	作物(技術)	16	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	32	(H18-21)水稲耐冷性特性検定試験	作物(技術)	18	22	国庫委託
作物(技術)	継続	A-1	33	(H20-25)バイオエネルギー利活用技術の開発	作物(技術)	20	22	令達
	継続			(H20-25-1000)バイオエネルギー対応品種の種子増殖	作物(技術)	20	22	令達
	継続			(H20-25-2000)DNAマーカーを活用した原料用米低コスト生産品種の選抜	作物(技術)	20	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	34	(16)水稲系統適応性検定試験	作物(技術)	S39	22	国庫委託
	継続			(16-1000)水稲系統適応性検定試験(国公立育成成分)	作物(技術)	S39	22	国庫委託
	継続			(16-2000)稲民間育成品種評価試験【※年度により試験の有無変動】	作物(技術)	13	22	民間委託
作物(技術)	継続	A-2	35	(20)稲いもち病抵抗性極強品種・系統の育成	作物(技術)	S48	22	令達
	継続			(20-1000)いもち病真性抵抗性遺伝子型の推定	作物(技術)	1	22	令達
	継続			(20-2000)葉いもち圃場抵抗性検定調査	作物(技術)	S48	22	令達
	継続			(20-3000)穂いもち圃場抵抗性検定調査	作物(技術)	S62	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	36	(24)育成地間相互交換水稲系統適応性検定試験	作物(技術)	S52	22	令達
	継続			(24-1000)中・晩生水稲系統	作物(技術)	S52	22	令達
	継続			(24-2000)早生水稲系統	作物(県北)	9	22	令達

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
作物(技術)	継続	A-2	37	(15)水稲生産力検定試験	作物(技術)	S58	22	令達
	継続			(15-1000)生産力検定予備調査	作物(技術)	S58	22	令達
	継続			(15-2000)生産力検定予備試験系統群	作物(技術)	S58	22	令達
	継続			(15-3000)生産力検定本試験	作物(技術)	S58	22	令達
	継続			(15-3100)早生品種	作物(県北)	9	22	令達
	継続			(15-4000)生産力検定本試験系統群	作物(技術)	S58	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	38	(860)採種	作物(技術)	S58	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	39	(18)水稲品種特性調査	作物(技術)	S59	22	令達
	継続			(18-2000)水稲品種保存用品種・系統の展示及び交配母本の養成	作物(技術)	S59	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	40	(19)水稲品種育成交配試験	作物(技術)	S59	22	令達
	継続			(19-1000)水稲交配試験	作物(技術)	S59	22	令達
	継続			(19-2000)水稲初期世代養成試験	作物(技術)	S59	22	令達
	継続			(19-3000)水稲世代促進試験	作物(技術)	S59	22	令達
	継続			(19-4000)水稲個体選抜試験	作物(技術)	S62	22	令達
	継続			(19-5000)水稲単独系統選抜試験	作物(技術)	S58	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	41	(22)高度耐冷性水稲品種・系統の育成	作物(技術)	S59	22	令達
	継続			(22-1000)高度耐冷性を有する系統の探索	作物(技術)	2	22	令達
	継続			(22-2000)障害型耐冷性検定調査	作物(技術)	S59	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	42	(21)極良食味水稲品種・系統の育成	作物(技術)	S60	22	令達
	継続			(21-1000)食味官能調査	作物(技術)	S60	22	令達
	継続			(21-2000)食味成分調査	作物(技術)	2	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	43	(26)難穂発芽性水稲品種・系統の育成	作物(技術)	S62	22	令達
	継続			(26-1000)穂発芽性検定調査	作物(技術)	S62	22	令達
作物(技術)	継続	A-2	44	(29)醸造用水稲品種・系統の育成	作物(技術)	S63	22	令達
作物(技術)	継続	D-2	45	(174)えだまめ等オリジナル品種優良種苗の維持・増殖	作物(技術)	8	22	令達
作物(技術)	継続	B-1	46	(877)大豆立枯性病害抵抗性検定試験	作物(技術)	14	22	国庫委託
作物(技術)	継続	B-1	47	(889)麦類耐寒雪性特性検定試験	作物(技術)	14	22	国庫委託
作物(技術)	継続	B-1	48	(819)あずき系統適応性検定試験	作物(技術)	14	22	国庫委託
作物(技術)	継続	B-1	49	(835)ばれいしょ系統適応性検定試験	作物(技術)	14	22	国庫委託
作物(技術)	継続	B-2	50	(890)畑作物の生育相及び気象反応の解明	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(890-2000)大豆の生育相と気象反応の解明	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(890-2100)県央・県南地域	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(890-2200)県北地域	作物(県北)	14	22	県単研究
	継続			(890-1000)麦類の生育相と気象反応の解明	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(890-1100)県央・県南地域	作物(技術)	14	22	県単研究
	継続			(890-1200)県北地域	作物(県北)	14	22	県単研究
作物(技術)	継続	B-3	51	(891)畑作物原々種・原種生産	作物(技術)	14	22	県単採種
作物(技術)	継続	B-1	52	(H19-13)麦類奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	作物(技術)	19	22	県単採種
	継続			(H19-13-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	作物(技術)	19	22	県単採種
	継続			(H19-13-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	作物(県北)	19	22	県単採種
	継続			(H19-13-3000)(3)有望系統特性調査	作物(技術)	19	22	令達

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
作物(技術)	継続	B-1	53	(H19-12)大豆等奨励品種決定調査及び有望系統の特性調査	作物(技術)	19	22	県単採種
	継続			(H19-12-1000)(1)奨励品種決定調査(県南・県央地域)	作物(技術)	19	22	県単採種
	継続			(H19-12-2000)(2)奨励品種決定調査(県北地域)	作物(県北)	19	22	県単採種
	継続			(H19-12-3000)(3)有望系統特性調査	作物(技術)	19	22	県単採種
作物(技術)	新規	A-3	54	(H21-16)履歴水温管理による水稲の冷害軽減技術の開発	作物(技術)	21	23	独法委託
	新規			(H21-16-1000)栽培指針の策定と現地実証	作物(技術)	21	23	独法委託
作物(技術)	新規	A-1	55	(H21-20)「ひとめぼれ」突然変異集団とRILsを用いた連関解析実験系の確立と利用	作物(技術)	21	23	独法委託
	新規			(H21-20-1000)多様なイネ中間母本の迅速なDNAマーカー育種	作物(技術)	21	23	独法委託
作物(技術)	新規	A-2	56	(H21-24)東北地域中北部向け多収稲品種の共同育成	作物(技術)	21	25	県単研究
	新規			(H21-24-1000)東北地域中北部(岩手県)向け多収稲系統の選抜	作物(技術)	21	25	県単研究
園芸(技術)	終了	C-1	57	(H19-10)りんごわい性台木樹の樹相診断技術の確立	園芸(技術)	19	21	県単研究
園芸(技術)	継続	C-1	58	(851)果樹の生育と果実品質変動要因の解明	園芸(技術)	14	22	県単研究
	継続			(851-1000)りんごの生育・生態の把握	園芸(技術)	14	22	県単研究
	継続			(851-2000)ぶどうの生育・生態の把握	園芸(技術)	14	22	県単研究
	継続			(851-3000)西洋なし、その他の果樹の生育・生態の把握	園芸(技術)	14	22	県単研究
園芸(技術)	継続	B-2 C-1 D-1 H-3 S-1	59	(850)畑作物に対する植調剤等の利用法	園芸(技術), 家畜飼養・ 飼料,園芸 (県北),作物 (県北),南部 園芸	14	22	民間委託
園芸(技術)	継続	C-1	60	(894)良品質・高品質生産を目的としたウイルスフリー樹の作出	園芸(技術)	14	22	令達
園芸(技術)	継続	C-3	61	(830)ジョナゴールド、ふじ等に優るりんご中・晩生種の開発	園芸(技術)	14	22	令達
	継続			(830-1000)国育成系統適応性(盛岡58～65号)	園芸(技術)	14	22	令達
	継続			(830-2000)国内外導入品種の選抜	園芸(技術)	14	22	国庫委託
	継続			(830-3000)いわて特産中晩生種の交配育成	園芸(技術)	14	22	令達
園芸(技術)	継続	C-4	62	(829)キャンベル・紅伊豆にかわる耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	園芸(技術)	14	22	国庫委託, 令達
	継続			(829-1000)(post134-1000)寒冷地向きぶどうの系統適応性試験	園芸(技術)	14	22	国庫委託
	継続			(829-1300)第11回系統適応性検定試験	園芸(技術)	16	22→ 21	国庫委託
	継続			(829-1400)第12回系統適応性検定試験	園芸(技術)	20	22	国庫委託
	継続			(829-2000)国内外育成の寒冷地向き品種の選抜(生食用、醸造、兼用種等品種の選抜)	園芸(技術)	14	22	令達
	継続			(829-3000)耐寒性大衆嗜好品種の育成及び選抜	園芸(技術)	14	22	令達
園芸(技術)	継続	C-4	63	(837)ラ・フランスに優る西洋なし品種の開発	園芸(技術)	14	22	令達
	継続			(837-1000)国内外導入品種の選抜	園芸(技術)	14	22	令達
園芸(技術)	継続	C-4	64	(826)おうとう、もも等の優良品種の選抜	園芸(技術)	14	22	令達
	継続			(826-1000)おうとう、もも等の優良品種の選抜	園芸(技術)	14	22	令達

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
園芸(技術)	継続	C-1	65	(H15-38)新品種などの安定生産技術の確立	園芸(技術)	15	22	県単研究
	継続			(H15-38-1000)「岩手6号」の安定生産技術の確立	園芸(技術)	15	22	県単研究
	継続			(H15-38-2000)「シナノゴールド」の安定生産技術の確立	園芸(技術)	17	22	県単研究
	継続			(H15-38-3000)JM7利用樹における樹勢衰弱の原因解明	園芸(技術)	20	22	県単研究
園芸(技術)	継続	C-2	66	(H16-09)クラブアップル等リンゴ受粉専用品種の選抜と利用法の確立	園芸(技術)	16	22	国庫委託, 県単研究
	継続			(H16-09-1000)(1)受粉専用品種の選抜	園芸(技術)	16	22	県単研究
園芸(技術)	継続	C-1	67	(H17-09)りんごの樹形改善による薬剤散布低減技術の開発	園芸(技術)	17	22	独法委託, 民間委託, 県単研究
	終了			(H17-09-1000)(1)薬剤到達性の高い樹形への改善	園芸(技術)	17	21	県単研究
	終了			(H17-09-2000)(2)薬剤散布量低減技術の開発と病害虫防除効果の実証	園芸(技術)	17	21	独法委託
	終了			(H17-09-3000)(3)農薬低減技術の現地実証	園芸(技術)	17	21	独法委託
	終了			(H17-09-4000)農薬50%削減リンゴ栽培技術体系の経営評価	農業経営	18	21	独法委託
	継続			(H17-09-6000)スピードスプレーヤ用ドリフト低減ノズルのドリフト低減効果試験	園芸(技術)	18	22	独法委託
園芸(技術)	継続	C-1	68	(H19-11)JM台木利用りんごわい性台木樹の高品質生産に適した低樹高仕立て法の確立	園芸(技術)	19	22	県単研究
園芸(技術)	継続	C-4	69	(H20-02)岩手県におけるおうとう品種「佐藤錦」の垣根仕立て栽培法の確立	園芸(技術)	20	22	県単研究
園芸(技術)	新規	C-3	70	(H21-05)つがる等に優るりんご早生品種の開発	園芸(技術)	21	30	令達
園芸(技術)	新規	C-1	71	(H21-19)リンゴ「岩手7号」の新たな需要創出と安定栽培法の確立	園芸(技術)	21	21	民間委託
園芸(技術)	継続	D-1	72	(H20-04)トマト抑制作型における省力栽培技術の開発	園芸(技術)	20	22	県単研究
	継続			(H20-04-1000)省力育苗技術の開発	園芸(技術)	20	22	県単研究
	継続			(H20-04-2000)省力管理方法の確立	園芸(技術)	21	22	令達
園芸(技術)	継続	D-2	73	(H20-06)新産地形成に向けたパプリカ等カラーピーマンの栽培技術の開発	園芸(技術)	20	22	県単研究
園芸(技術)	継続	D-2	74	(H20-16)四季成り性イチゴの高増殖性母株作出技術の開発	園芸(技術)	20	22	県単研究
園芸(技術)	継続	D-2	75	(H20-03)きゅうり長期どり生産技術の確立	園芸(技術)	20	22	県単研究
	継続			(H20-03-1000)空気膜二重ハウスを活用したきゅうり長期生産技術の確立	園芸(技術)	20	22	県単研究
	継続			(H20-03-2000)空気膜二重ハウスの冬期有効活用品目の選定	園芸(技術)	20	22	県単研究
園芸(技術)	継続	D-3	76	(H20-17)ウリ科作物に発生するホモプシス根腐病の蔓延阻止技術の開発	園芸(技術)	20	22	県単研究
園芸(技術)	新規		77	(H21-10)寒冷地における冬～春野菜生産を可能にする新品種・作型の開発	園芸(技術)	21	23	県単研究
	新規			(H21-10-1000)長日要求性素材を利用した極晩抽性ハクサイの新作型の開発	園芸(技術)	21	23	独法委託
園芸(技術)	新規		78	(H21-17)寒冷地特性を活用し国産アスパラガスの周年安定供給を実現する高収益生産システムの確立	園芸(技術) 園芸(県北)	21	23	独法委託
	新規			(H21-17-1000)アスパラガス萌芽性の解明	園芸(技術)	21	23	独法委託
	新規			(H21-17-2000)冷涼な気象を活用した早期休眠打破技術の確立	園芸(技術)	21	23	独法委託

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
園芸(技術)	新規		79	(H21-15)低コスト養液土耕栽培による黒ボク土を主体とするリン酸肥料削減技術の実証	園芸(技術)	21	25	独法委託
	新規			(H21-15-1000)低コスト養液土耕草地を利用した効率的施肥法の確立	園芸(技術)	21	25	独法委託
	新規			(H21-15-2000)リン酸成分を有効活用した省資源型農業の開発	生産環境	21	25	独法委託
園芸(技術)	継続	E-3	80	(843)りんどうの生育・生態調査	園芸(技術)	14	22	県単研究
園芸(技術)	継続	E-4	81	(840)りんどうF1品種の親株維持、増殖技術の確立	園芸(技術)	14	22	県単研究
	継続			(840-1000)種子による親株維持技術の確立	園芸(技術)	14	22	県単研究
	継続			(840-2000)培養系親系統の特性検定及びF1品種の組合せ検定	園芸(技術)	14	22	県単研究
園芸(技術)	継続	E-4	82	(H19-04)りんどう組織培養における増殖率の高位安定化技術の開発	園芸(技術)	19	22	県単研究
	継続			(H19-04-1000)(1)組織培養における花芽形成抑制と高増殖条件の解明	園芸(技術)	19	22	県単研究
園芸(技術)	継続	E-3	83	(H19-09)温度・日長条件に対するりんどうの生育反応	園芸(技術)	19	23	県単研究
園芸(技術)	継続	E-4	84	(H19-05)岩手県オリジナル花き遺伝資源の超低温保存法の確立	園芸(技術)	19	23	県単研究
園芸(技術)	継続	E-1 I-1	85	(H20-18)純系りんどうとDNAマーカーを利用した品種育成技術の開発(純系りんどうの作出とマーカーを利用した系統選抜技術の開発)	園芸(技術)	20	22	独法委託
	継続			(H20-18-1000)純系りんどうの作出とマーカーを利用した系統選抜技術の開発	園芸(技術)	20	22	独法委託
	継続			(H20-18-2000)種間交雑種におけるリンドウ褐斑病抵抗性の遺伝様式の解明	病理昆虫	20	22	独法委託
園芸(技術)	継続	E-1	86	(191)りんどうの品種育成	園芸(技術)	S49	22	令達
	継続			(191-1000)りんどうの品種開発	園芸(技術)	20	22	令達
	継続			(191-2000)親株の安定生産	園芸(技術)	20	22	令達
南部園芸	終了	D-2	87	(H19-08)沿岸地域におけるいちご四季成り性品種の安定生産技術の確立	南部園芸	19	21	県単研究
	終了			(H19-08-2000)夏秋どり作型における四季成り性いちごの高品質生産技術の確立	南部園芸	19	21	県単研究
南部園芸	終了	D-2	88	(H19-30)冷水資源を利用した根域冷却による野菜の高品質化技術の開発	南部園芸	19	21	独法委託
南部園芸	継続		89	(H20-07)イチゴ高設栽培の底面給液方式による作型別栽培技術の確立	南部園芸	20	22	県単研究
	継続			(H20-07-1000)促成作型における底面給液管理技術の確立	南部園芸	20	22	県単研究
	継続			(H20-07-2000)夏秋どり作型における底面給液管理技術の確立	南部園芸	21	22	県単研究
南部園芸	新規終了	D-2	90	(H21-12)イチゴ一季成り性品種を用いた夏秋期生産技術の開発	南部園芸	21	21	民間委託
南部園芸	新規終了	D-1	91	(H21-22)トマトの生産性向上を可能とする3段階摘心新栽培技術様式の確立	南部園芸	21	21	独法委託
南部園芸	新規終了	D-2	92	(H21-21)イチゴ一季成り性品種の夏秋期に向けた連続出蕾技術の確立	南部園芸	21	21	独法委託
南部園芸	新規	E-2	93	(H21-23)杉樹皮を用いた園芸用育苗資材の開発→杉樹皮を用いた新規花壇育苗培養土の開発	南部園芸	21	21→ 22	独法委託
【環境部】								
生産環境	終了		94	(H19-20)りんどうの効率的施肥技術の確立	生産環境	19	21	県単研究
	終了			(H19-20-2000)(2)採花期間における施肥技術の確立	生産環境	19	21	県単研究
生産環境	終了		95	(H19-43)フラットベッドスキャナー利用による地力診断高度化技術の開発	生産環境	19	21	独法委託、 県単研究
	終了			(H19-43-2000)デジタル土壌養分分析システムの開発	生産環境	20	21	独法委託

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
生産環境	終了	V-1	96	(H19-34)輸出に対応した地域特産切り花の流通技術開発	生産環境	19	21	独法委託
生産環境	終了	V-2	97	(H19-15)県産野菜のおいしさ評価法の確立	生産環境	19	21	県単研究
	終了			(H19-15-1000)(1)促成グリーンアスパラの内部成分評価法の確立	生産環境	19	21	県単研究
生産環境	継続	L-2	98	(H18-08)県産農産物のカドミウムリスク管理技術の確立	生産環境	18	22	独法委託
	終了			(H18-08-1000)(1)畑作物・野菜類のカドミウム吸収抑制技術の確立	生産環境	18	21	独法委託
	終了			(H18-08-1200)農林水産高度化事業委託課題	生産環境	19	21	独法委託
	継続			(H18-08-3000)(3)畑作物・野菜類のカドミウム濃度予測手法の確立	生産環境	20	22	独法委託
生産環境	継続	A-3 D-2	99	(H15-24)環境保全型有機質資源連用効果調査	生産環境	15	22	県単(土壌対策)
	継続			(H15-24-1000)水田における有機質資源連用効果	生産環境	15	22	県単(土壌対策)
	継続			(H15-24-2000)畑地における有機質資源連用効果	生産環境	15	22	県単(土壌対策)
生産環境	継続	L-2	100	(H15-23)土壌機能実態モニタリング調査	生産環境	15	25	県単(土壌対策)
生産環境	継続	L-1	101	(H16-22)新肥料の実用化	プロ水田,プロ特裁,作物(技術),園芸(技術),南部園芸,生産環境,園芸(県北),作物(県北)	16	22	民間委託
生産環境	継続	L-2	102	(H20-20)土壌由来温室効果ガスインベントリ情報等整備調査	生産環境	20	22	独法委託
生産環境	継続		103	(H16-20)5. 野菜の品質自主管理技術の開発	生産環境	17	24	県単研究
	新規			(H16-20-4000)(4)生食用野菜生産環境からの食中毒菌の検出手法及び可食部汚染低減手法の実証と改善	生産環境	21	24	独法委託
生産環境	新規	L-2	104	(H21-14)窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	生産環境	21	25	独法委託
病理昆虫	終了→更新		105	(841)りんどうこぶ症の発生実態と原因の解明	病理昆虫	14	21→22	国庫補助
	終了→更新			(841-1000)発生実態と栽培条件による原因解明	園芸(技術)	14	21→22	国庫補助
	終了→更新			(841-3000)こぶ症発現に関連する微生物・線虫及び土壌昆虫の検索	病理昆虫	14	21→22	国庫補助
	終了			(841-4000)生物工学的手法によるりんどうこぶ症の原因解明	園芸(技術)	16	21	国庫補助
病理昆虫	終了		106	(H16-25)りんごにおける病害虫総合防除技術の開発	病理昆虫	16	21	国庫補助,独法委託
	終了			(H16-25-3000)(3)りんご生育期後半における病害防除回数の削減体系の開発	病理昆虫	17	21	国庫補助,独法委託
病理昆虫	終了	I-2	107	(H17-05)革新技術による病原検出診断手法の開発と実用化	病理昆虫	17	21	県単研究
病理昆虫	終了		108	(H18-11)りんごの薬剤抵抗性ハダニ類の発生実態と効率的防除法の確立	病理昆虫	18	21	県単研究
	終了			(H18-11-1000)りんごの薬剤抵抗性ハダニ類の発生実態と効率的防除法の確立	病理昆虫	18	21	県単研究
	終了			(H18-11-2000)天敵を利用したりんごハダニ類の効率的防除法の開発	作物(県北)	19	21	国庫補助
病理昆虫	終了	A-4	109	(H19-21)水稻種子生産における種子伝染性病害防除法の確立	病理昆虫	19	21	令達

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
病理昆虫	終了	C-1	110	(H19-22)りんごハダニ類の薬剤抵抗性発生実態の解明と防除体系の確立	病理昆虫	19	21	国庫補助
病理昆虫	継続	M-1	111	(H09-03)【植物防疫事業研究】	病理昆虫	9	22	国庫補助
病理昆虫	継続		112	(402)新農薬の効果検定と防除基準作成	病理昆虫	9	22	民間委託
	継続			(402-2000)県北地域	園芸(県北)	9	22	民間委託
	継続			(402-4000)本部	病理昆虫	9	22	民間委託
	継続			(402-5000)果樹	園芸(技術)	16	22	民間委託
	終了			(402-6000)深層土壌消毒の効果検定	病理昆虫	18	21	民間委託
病理昆虫	継続	M-2 M-3	113	(H15-28)地域特産物における新防除資材の実用化	病理昆虫	15	22	国庫補助
	終了			(H15-28-G000)雑穀類の主要害虫(ヒエのアワノメイガ)	病理昆虫	19	21	国庫補助
	終了			(H15-28-H000)りんどうの褐色根腐病	病理昆虫	19	21	国庫補助
	継続			(H15-28-J000)ホップのうどんこ病	病理昆虫	21	22	国庫補助
	繰上終了			(H15-28-K000)りんどうの炭疽病	病理昆虫	21	22→ 21	国庫補助
	継続			(H15-28-L000)りんどうのナスハモグリバエ	病理昆虫	21	22	国庫補助
	終了→ 組替え			(H15-28-I000)雑穀類の難防除害虫	作物(県北)	19	21→ 22	国庫補助
病理昆虫	継続	M-2	114	(H20-21)いちご萎黄病の耕種的防除技術の開発	病理昆虫	20	22	国庫補助
病理昆虫	新規	M-1	115	(H21-06)ダイズを加害するウコンノメイガの発生生態の解明と防除対策の確立	病理昆虫	21	23	国庫補助
病理昆虫	新規	A-3 M-2	116	(H21-09)水稻箱施用剤の減量施用技術の開発	病理昆虫	21	23	国庫補助
【畜産研究所】								
家畜育種	終了	G-3	117	(H18-14)肥育前期に粗飼料を多給した黒毛和種肥育技術の確立	家畜育種	18	21	県単研究
家畜育種	終了	G-4	118	(H18-15)「新特産肉用鶏(南部かしわK系)」飼養技術の確立	家畜育種	18	21	県単研究
家畜育種	終了	G-4	119	(H19-24)豚集団維持の交配支援システムの構築	家畜育種	19	21	県単研究
家畜育種	終了	G-4	120	(H19-25)岩手の鶏遺伝資源を活用した「特定JAS規格地鶏肉」の効率的な生産に係る種鶏開発	家畜育種	19	21	県単研究
家畜育種	終了	G-3	121	(H19-45)細断型ロールペーラーを活用したトモロシサイレージ多給短角牛の安定生産と地域ブランドの確立	家畜育種・家畜飼養・飼料	19	21	令達
家畜育種	継続	J-3	122	(304)肉用牛における経済形質とDNAマーカースとの連鎖解析	家畜育種	7	22	令達
家畜育種	継続	G-1	123	(237)日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)	家畜育種	17	22	令達
家畜育種	継続	G-1	124	(H19-23)血統・枝肉データを活用した日本短角種集団の全個体情報管理システムの拡充	家畜育種	19	22	県単研究
家畜育種	継続	G-3	125	(H20-23)有機自給飼料生産技術の確立とこれを用いた日本短角種オーガニックビーフ生産の実証	家畜育種	20	22	独法委託
家畜育種	継続	G-4	126	(H20-10)地域ブランド豚肉生産に活用する種豚性能調査と飼養管理技術の確立	家畜育種	20	22	県単研究
家畜育種	終了	J-1	127	(H20-27)超急速ガラス化保存法を応用した低ランク胚の保存方法の検討	家畜育種	20	21	令達
家畜育種	継続	J-1	128	(H20-12)受胎率向上のための受卵牛の飼養管理技術の確立	家畜育種	20	22	県単研究
家畜育種	継続	J-3	129	(H20-22)遺伝子発現調節による和牛肉の不飽和度向上技術の開発	家畜育種	20	24	独法委託
家畜育種	継続	G-1	130	(236)日本短角種産肉能力検定(直接法)	家畜育種	S45	22	令達

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
家畜飼養・飼料	終了	F-3	131	(H19-26)乾乳期並びに初妊牛における環境性乳房炎予防技術の確立	家畜飼養・飼料	19	21	県単研究
家畜飼養・飼料	終了	F-3	132	(H20-15)発酵TMR飼料の品質安定技術の確立	家畜飼養・飼料	20	21	県単研究
	終了			(H20-15-1000)添加剤を利用した発酵TMR飼料の発酵品質および飼料特性	家畜飼養・飼料	20	21	県単研究
	終了			(H20-15-2000)添加剤を利用した発酵TMR飼料が乳牛の消化率に及ぼす影響	家畜飼養・飼料	20	21	県単研究
家畜飼養・飼料	継続	F-2	133	(H20-11)自動搾乳システムにおける飼料給与技術の確立	家畜飼養・飼料	20	22	県単研究
家畜飼養・飼料	継続	H-2	134	(H16-35)不耕起栽培トウモロコシを導入した寒冷地向け飼料作物周年作付体系の確立(旧題:トウモロコシの不耕起、簡易耕起栽培法の確立)	家畜飼養・飼料	16	22→ 21	独法委託
家畜飼養・飼料	継続	F-1	135	(H18-16)破碎処理によるトウモロコシサイレージの収穫・給与技術の確立	家畜飼養・飼料	18	22→ 21	独法委託
	繰上終了			(H18-16-1000)破碎処理機によるトウモロコシの収穫適期拡大と泌乳牛への多給による飼料代低減技術の確立	家畜飼養・飼料	18	22→ 21	独法委託
家畜飼養・飼料	継続	H-2	136	(H20-14)腐熟堆肥とバイオガスプラント由来消化液を併用した飼料用トウモロコシ栽培法の確立	家畜飼養・飼料	20	22	県単研究
家畜飼養・飼料	継続	H-1	137	(253)とうもろこし市販品種の特性比較	家畜飼養・飼料	S54	22	県単研究
家畜飼養・飼料	継続	H-1	138	(254)とうもろこし系統適応性検定試験	家畜飼養・飼料	S55	22	国庫委託
家畜飼養・飼料	新規	H-3	139	(H21-07)飼料用トウモロコシの効果的な除草剤散布技術の確立	家畜飼養・飼料	21	23	県単研究
外山畜産	終了	G-2	140	(H19-27)公共牧場機能を活用した黒毛和種集団繁殖・育成技術体系の確立	外山畜産	19	21	県単研究
	終了			(H19-27-1000)自然哺乳飼養における和牛子牛早期離乳技術の確立	外山畜産	19	21	県単研究
	終了			(H19-27-2000)黒毛和種自然哺乳における繁殖雌牛群の分娩間隔短縮の検討	外山畜産	19	21	県単研究
	終了			(H19-27-3000)黒毛和種育成期におけるTMR給与技術の確立	外山畜産	19	21	県単研究
種山畜産	継続	G-1	141	(235)黒毛和種産肉能力検定(間接法・現場後代検定)	種山畜産	1	22	管理運営費
種山畜産	継続	G-1	142	(857)県有種雄牛の利用及び能力調査	種山畜産	14	22	管理運営費
種山畜産	継続	G-1	143	(859)黒毛和種における分割胚移植技術を活用した高能力種雄牛の作出	種山畜産	14	22	管理運営費
種山畜産	継続	G-1	144	(234)黒毛和種産肉能力検定(直接法)	種山畜産	S62	22	管理運営費
【県北農業研究所】								
園芸(県北)	終了	E-1 S-1	145	(H17-22)県北地域におけるりんどうの安定生産技術の確立	園芸(県北)	17	21	県単研究
	終了			(H17-22-1000)(1)りんどうの有望育成系統の現地適応性試験	園芸(県北)	17	21	県単研究
	終了			(H17-22-2000)(2)りんどうの需要期出荷のための早出し栽培技術の開発	園芸(県北)	18	21	県単研究
園芸(県北)	継続	E-3	146	(H19-53)県北地域における小ぎくの安定生産技術の確立(旧題:県北地域における小ぎく「アイマムシ	園芸(県北)	19	22	県単研究
	継続			(H19-53-2000)県北地域における小ぎく作付体系の構築	園芸(県北)	19	22	県単研究
園芸(県北)	継続	D-2	147	(H20-08)業務用需要に対応できる野菜生産技術の確立	園芸(県北)	20	22	独法委託
	終了			(H20-08-1000)業務用に適したホウレンソウの品種選定	園芸(県北)	20	21	独法委託
	継続			(H20-08-2000)業務用向け規格に対応したホウレンソウの栽培方法確立	園芸(県北)	20	22	独法委託

主査	区分	推進構想	No.	課題	担当	開始	終了	予算区分
園芸(技術)	継続→ 組換え	D-3	148	(H20-09)高原野菜安定生産のための短期輪作体系の確立→(H21-17)寒冷地特性を活用し国産アス	園芸(技術) 園芸(県北)	21	23	独法委託 県単研究
	継続→ 組換え			(H20-09-1000)促成アスパラガス栽培による線虫抑制効果→(H21-17-3000)抗線虫資材としての利用技術の開発	園芸(県北)	21	23	独法委託
	継続→ 組換え			(H20-09-2000)促成アスパラガス根株養成技術の確立→(H20-09-2000)促成アスパラガス根株養成技術の確立	園芸(県北)	21	23	県単研究
園芸(県北)	新規	D-1	149	(H21-08)ほうれんそう産地における夏期増収技術の確立	園芸(県北)	21	23	県単研究
	新規			(H21-08-1000)萎凋病耐病性品種の選抜	園芸(県北)	21	21	県単研究
	新規			(H21-08-2000)夏期高温乾燥期における実用的かん水方法	園芸(県北)	21	23	県単研究
	新規			(H21-08-4000)低濃度エタノールを用いたホウレンソウ萎凋病被害軽減技術	園芸(県北)	21	23	県単研究
作物(県北)	終了	S-2	150	(H16-40)いわてオリジナル雑穀品種の開発と生産技術の確立	作物(県北)	16	21	県単研究
	終了			(H16-40-1000)(1)岩手由来系統の特性評価と品質優良系統の選定	作物(県北)	16	21	県単研究
	終了			(H16-40-2000)(2)オリジナル雑穀品種の開発	作物(県北)	16	21	県単研究
	終了			(H16-40-3000)(3)雑穀の省力・安定栽培技術確立	作物(県北)	16	21	県単研究

(3) 平成22年度試験研究を要望された課題とその措置一覧

(平成21年11月2日付け農研企第298号で要望機関に回答)

【措置区分】 A:次年度実施予定 B:現在実施中 C:既知見あり D:次年度実施できない

要望No.	要望機関	要望課題名	担当研究室 (主査担当)	措置区分	
農 産 部 会	1	農産園芸課	食味、品質向上に向けた高度栽培管理実践モデルの確立	作物(技術)	B
	2	中央農業改良普及センター	水稻良食味品種の開発と栽培技術の確立	作物(技術)	B、C
	3	全農いわて	近年の病害虫発生動向に対応した新しい特別栽培米生産技術体系の確立	プロジェクト(特裁・有機)	A、B、C、D
	4	農産園芸課	「温湯種子消毒と生物農薬の体系処理」のイネばか苗病に対する本県での効果検証と効果的な実施方法の検討	プロジェクト(特裁・有機)	C
	5	中央農業改良普及センター	斑点米カメムシ類の被害を軽減させる総合的な防除対策の確立	病理昆虫	A、B、C、D
	6	中央農業改良普及センター	水稻乾田直播栽培における安定生産技術体系の確立	プロジェクト(水田農業)	B
	7	農業農村指導士協会	水稻の乾田直播栽培法の確立	プロジェクト(水田農業)	B
園 芸 部 会	1	中央農業改良普及センター	リンゴにおける土着天敵を利用したハダニ類防除対策の確立	病理昆虫	A
	2	中央農業改良普及センター	キュウリホモブシス根腐病の新たな防除対策の開発について	病理昆虫	A
	3	中央農業改良普及センター	県北・沿岸地帯におけるキュウリ黒星病防除体系の確立	病理昆虫	A
	4	中央農業改良普及センター	トマトかきよう病抑制対策の確立	病理昆虫	D
	5	中央農業改良普及センター	トマトへの天敵資材活用の効果確認について	病理昆虫	C
	6	農産園芸課	「なす」の省力・低コスト栽培技術の開発	園芸(技術)	B、C、D
	7	農産園芸課	四季成り性いちごの夏秋どり適品種の選定と高単収安定生産技術の確立	南部園芸	A、B、C
	8	中央農業改良普及センター	にんじんのウリハムシモドキの防除法について	園芸(県北)	D
	9	中央農業改良普及センター	りんどうの重要形質に対応したDNA部位の解明と実用化技術の確立	園芸(技術)	D
	10	中央農業改良普及センター	小ぎく大規模経営のための省力防除機械の開発	園芸(技術)	C、D
畜 産 部 会	1	畜産課	集約放牧技術を組み入れた日本短角種の粗飼料多給肥育技術の検討	家畜育種	B、C
	2	中央農業改良普及センター	和牛肥育における尿道結石症予防のための飼養技術の開発	家畜育種	A
	3	中央農業改良普及センター	地域未利用資源を活用するための小規模向け簡易リキッドフィーディングシステムの開発	家畜育種	A
	4	畜産課	市販配合飼料に依存しない「南部かしわ」の飼養方法の確立	家畜育種	A、B、C
	5	中央農業改良普及センター	泌乳牛及び和牛肥育を対象としたクズ大豆の利用	家畜飼養・飼料	A
	6	中央農業改良普及センター	ふん尿の効率的利用のための飼料用トウモロコシ栽培技術の確立	家畜飼養・飼料	A
	7	中央農業改良普及センター	養分持出し量補給型施肥基準に対応した粗飼料栽培技術の確立	家畜飼養・飼料	A、C
	8	中央農業改良普及センター	GIS・GPSを活用した公共牧場の高度精密管理技術の開発	外山畜産	A
	9	中央農業改良普及センター	公共牧場における作溝式簡易草地更新の播種時期及び作業性の検証	外山畜産	A
	10	畜産課	急傾斜草地主体の公共牧場における簡易草地更新技術の導入	外山畜産	A
	11	中央農業改良普及センター	アブ類の効果的な捕殺技術の開発	外山畜産	A
	12	全農いわて	低コスト繁殖和牛牛舎の建築・普及	外山畜産	C、D
総合 部会	1	農業農村指導士協会	畜種別の堆肥特性を生かした、作目別の堆肥ブレンド割合の検討	生産環境	C

5 共同研究等の推進

(1) 国庫委託研究事業(国庫10/10委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
特性検定試験事業 (水稲、麦類(耐寒雪性)、大豆(立枯性病害抵抗性))	農林水産省	21	国及び育種指定試験地で育成中の系統について、育成地では実施しがたい特性の検定を行い、選抜効率の向上のための資料を得る。	作物(技術部) 作物(県北研)
系統適応性検定試験事業 (水陸稲、馬鈴薯、小豆、果樹、とうもろこし)	農林水産省	21	国及び育種指定試験試験地で育成中の系統について、育成地と異なった風土での確認を行い、新品種決定のための資料を提供する。	作物(技術部) 園芸(技術部) 家畜飼養・飼料

(2) 農研機構プロジェクト(交付金プロジェクト)研究(10/10委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
東北地域における農薬50%削減リンゴ栽培技術体系の確立	東北農業研究センター(*1)	17~21	1)「リンゴ生育期後半における病害防除回数削減体系の開発」	病理昆虫
		17~21	2)「リンゴの樹形改善による効率的防除と散布量削減技術の開発」	園芸(技術部)
		17~21	3)「農薬50%削減リンゴ栽培技術体系の現地実証とマニュアル策定(2)殺菌剤の薬効拡大、樹形改善などによる農薬削減と効率的防除」	園芸(技術部)
		17~21	4)「農薬50%削減リンゴ栽培技術体系の経営評価」	農業経営
寒冷地における良食味四季成り性品種定着のための夏秋どりイチゴ栽培技術の確立	東北農業研究センター	20~21	四季成り性イチゴの高増殖性母株作出技術の開発	園芸(技術部)
有機自給飼料生産技術の確立とこれを用いた日本短角種オーガニックビーフ生産の実証	東北農業研究センター	20~21	日本短角種の粗飼料主体肥育技術の確立	家畜育種

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(3) 農林水産省委託プロジェクト研究事業(10/10委託)

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発	東北農業研究センター(*1)	18~22	水田単作地帯において堆肥を有効に活用した発酵粗飼料用稲多収生産と良質サイレージ生産技術の確立	プロ推(水田農業)、生産環境、家畜飼養・飼料
超低コスト土地利用型作物生産技術の開発	東北農業研究センター	19~23	水稲乾田直播と大豆浅耕小畦立て栽培技術による輪作体系の確立と実証	プロ推(水田農業)、農業経営
省資源型農業の生産技術体系の確立(有機農業型)	東北農業研究センター	21~	代かき同時移植と除草機を用いた水田雑草防除技術の開発	プロ推(特裁・有機)
農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発(指標の候補を選抜するための研究)	(独)農業環境技術研究所	20~24	寒冷地のキャベツほ場における環境保全型農法と関連した生物多様性の指標生物の選抜	病理昆虫、園芸(県北研)
		20~24	北日本の平地水田地帯における指標生物の選抜	プロ推(特裁・有機)
地域内資源を循環利用する省資源型農業確立のための研究開発	近畿中国四国農業研究センター(*1)	21~22	低コスト養液土耕栽培による水田転換畑におけるリン酸肥料削減技術の実証	園芸(技術部)
生産・流通・加工工程における体系的な危害要因の特性解明とリスク低減技術の開発(農産物におけるヒ素およびカドミウムのリスク低減技術の開発)	(独)農業環境技術研究所	20~22	イノクロマト法等によるカドミウム濃度簡易測定のみぎ、ダイズ、野菜への適用(イノクロマト法ののみぎ、ダイズへの適用)	生産環境

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	委託元	研究期間	研究の内容	担当研究室
省資源型農業のための有機資材とその利用技術の開発	(独)中央農業総合研究センター	21～25	窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	生産環境
生産・流通・加工工程における体系的な危害要因の特性解明とリスク低減技術の開発(生食用野菜における病原微生物汚染の防止・低減技術の開発)	(独)野菜茶業研究所	21～24	生食用野菜生産環境からの食中毒菌の検出手法および可食部汚染低減手法の実証と改善(冷涼地)	病理昆虫
粗飼料多給による日本型家畜飼養技術の開発	(独)東北農業研究センター	18～22	1)「不耕起栽培とうもろこしを導入した寒冷地向け飼料作物周年作付体系の確立」	家畜飼養・飼料
		18～22	2)「破碎処理機によるトウモロコシの収穫適期拡大と泌乳牛への多給による飼料代低減技術の確立」	家畜飼養・飼料

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(4) 新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業(10/10委託)

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
耕作放棄地を活用したナタネ生産及びカスケード利用技術の開発	中央農業総合研究センター(*1)、福島県農業総合センター、茨城県農業総合センター	21～23	4「寒冷地および温暖地におけるナタネ生産現地実証試験」のうち、(1)「寒冷地:岩手県雫石町・西和賀町」において、小畦立て播種法など湿害を回避するための播種方式の検討を行う。	プロ推(水田農業)
「課題番号2005:GAP導入促進のための経営支援ナビゲーションシステムの開発」	国立大学法人九州大学、愛媛県	20～22	1「GAP導入促進のための経営支援ナビゲーションシステムの設計・評価とサブシステム統合」のうち、(2)「岩手県におけるシステムの実証試験・現地評価」	農業経営
履歴水温管理による水稻の冷害軽減技術の開発	国立学校法人岩手大学、国立大学法人東京大学、国立大学法人山形大学、東北農業研究センター(*1)、北海道農業研究センター(*1)、青森県農林総合研究センター、宮城県古川農業試験場、秋田県農林水産技術センター、福島県農業総合センター	21～23	「栽培指針の策定と現地実証」のうち「やませ地域の現地圃場での影響評価」において、岩手県における履歴水温効果の定量化、現地実証を行う。	作物(技術部)
「純系を利用した新育種手法による国際競争力の高いリンドウの開発」(課題番号:2040)	(財)岩手生物工学研究センター、国立学校法人岩手大学、有限責任中間法人安代リンドウ開発	20～22	「交配実生の県南地域での栽培評価」において、特性評価を行う。「交配実生におけるDNAマーカーの適用性検定」において、花色識別マーカーによる実生の検定を行う。	園芸(技術部)
寒冷地においてアスパラガスの周年安定供給を可能にする栽培技術の確立	東北農業研究センター(*1)、野菜茶業研究所(*1)、宮城県農業・園芸総合研究所、秋田県農林水産技術センター、山形県農業総合研究センター、福島県農業総合センター、国立大学法人北海道大学北方生物圏フィールド科学センター、国立大学法人弘前大学 【研究総括者】 岩手県農業研究センター 技術部園芸研究室 山口貴之	21～23	1「早期休眠打破技術の開発」のうち、(1)「アスパラガスの休眠特性の解明」および(3)「冷涼な気象を活用した早期休眠打破技術の確立」において、休眠特性の解明と東北地域の冷涼な気象を活用した早期休眠打破技術の開発を、また、4「廃根の適正処理とバイオマス利用技術の開発」のうち、(2)「抗線虫資材としての利用技術の開発」において、レタス圃場でのアスパラガス廃根の抗線虫資材利用技術開発を行う。	園芸(技術部)、園芸(県北研)

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

課題名	共同研究機関 (筆頭が中核機関)	研究期間	研究の内容	担当研究室
冷水資源を利用した根域冷却による野菜の高品質化技術の開発(課題番号:1925)	東北農業研究センター(*1)、岩手大学、宮城県農業・園芸総合研究所、秋田県農林水産技術センター、全農、賢治の土	19～21	2「作型・品種・栽培システム」のうち(1)「トマトの作型・品種・栽培システム」において根域冷却技術システム化、高糖度生産条件の解明に関する研究を行う。	南部園芸
野菜等の品目別カドミウム濃度の解明と吸収抑制技術の開発(課題番号:1901)	野菜茶業研究所(*1)、北海道、宮城県、秋田県、山形県、滋賀県、兵庫県、愛媛県、熊本県、宮城大学	19～21	1.「土壌のカドミウム汚染程度と野菜のカドミウム濃度の関係解明」のうち、(1)「野菜の品目別カドミウム濃度の解明」及び(2)「高吸収性野菜品目の品種別カドミウム濃度の解明」において、多品目・多品種にわたる可食部カドミウム濃度の解明を分担して行う。 2.「カドミウム吸収抑制技術導入効果の評価と技術の最適化」のうち、(2)「アルカリ資材による効率的なカドミウム吸収抑制技術の開発」において、東北農業研究センターと連携して地域条件に適した技術を開発する。	生産環境
輸出に対応した地域特産切り花の流通技術の開発(課題番号:1919)	花き研究所(*1)、島根県農業技術センター、徳島県立農林水産総合技術支援センター、高知県農業技術センター、熊本県農業研究センター、香川大学、住友ベークライト㈱、西和賀農業協同組合、くにびき農業協同組合、高知市農業協同組合	19～21	3.「リンドウ切り花の遠距離輸送技術の開発」のうち、(1)「収穫後生理特性の解明と前処理方法の確立」において、リンドウ切り花の前処理剤使用方法の検討を、(2)「遠距離輸送技術の開発」において、品質低下が大きい条件下での輸送方法の検討を、また、(3)「遠距離輸送技術有効性の実証」において、リンドウ切り花の香港への輸送における開発した技術有効性の検討を行う。	生産環境
「遺伝子発現調節による和牛肉の不飽和度向上技術の開発(2004)」	山形県、宮城県、秋田県農林水産技術センター、東北大学、北海道大学、日本獣医生命科学大学	20～22	不飽和度を高める飼料及び給与技術の開発	家畜育種
業務用需要に対応した露地野菜の低コスト・安定生産技術の開発(2003)	野菜茶業研究所(*1)、福島県、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、愛知県、鹿児島県	20～22	1.「栽植方式の見直しによる省力化技術の開発」のうち、(3)「ホウレンソウの省力生産技術の開発」において、大型規格栽培に適した栽培技術の開発を行う。	園芸(県北研)

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

(5) 重点地域研究開発推進プログラム((独)科学技術振興機構、10/10委託)

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(育成研究)				
長日要求性素材と遺伝子解析を応用したアブラナ科極晩抽性品種の開発	【中核機関】 東北農業研究センター(*1)	21～23	選抜系統・F1組み合わせを用いた新作型の開発	園芸(技術部)

課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
(地域ニーズ即応型)				
デジタル土壌養分分析システムの開発	有限会社イグノス	20～21	① 土壌抽出キットを用いた土壌養分分析法の項目拡大 ② 養分量推定プログラムの開発 ③ デジタル土壌養分分析システムの構築	生産環境
杉樹皮を用いた新規花壇用培養土の開発	三研ソイル(株)、葛巻林業(株)	21～22	三研ソイル株式会社が持つ園芸用培養土の製造技術と、葛巻林業株式会社の杉樹皮培地製造技術に対して、岩手県農業研究センターが持つ、杉樹皮に起因する植物への生育阻害性等を解消する技術をマッチングし、杉樹皮培地を用いた花壇苗用の培養土を開発する。	南部園芸、生産環境
(シーズ発掘試験)				
トマトの生産性向上を可能とする3段摘心新栽培様式の確立	—	21	3段摘心栽培は栽培技術の平準化や生産安定性に優れるが、夏秋作型では年2回の作付が限界で土地生産性が低かったため、新栽培様式を開発し、作付回数の増加による新たな多収技術として、実用化に向けた最適な栽培条件を明らかにする。	南部園芸
イチゴ一季成り性品種の夏秋期安定生産に向けた連続出蓄技術の確立	—	21	食味に優れる一季成り性イチゴの夏秋期安定生産を可能にする簡易な処理技術を実用化するため、処理技術の改良に取り組む。	南部園芸

(6) その他独法等からの委託(10/10委託)

事業・課題名	共同研究機関	研究期間	研究の内容	担当研究室
新稲作研究会委託試験 積雪寒冷地水稲乾田直播栽培における出芽安定化技術の確立	—	21	積雪寒冷地においても比較的適応性が高い播種方法を用いて、出芽に適した土壌環境等の観点から比較検討する。	プロ推(水田農業)
生研センター・イノベーション創出基礎的研究推進事業(発展型研究一般枠)	(財)岩手生物工学研究センター、国立大学法人 総合研究大学院大学	21～23	「ひとめぼれ」突然変異集団とRILsを用いた連関解析実験系の確立と利用	作物(技術部)
果樹用農薬飛散制御型防除機の開発に関する委託研究	生物系特定産業技術研究支援センター(*1)	18～21	スピードスプレーヤ用ドリフト低減型ノズルの防除効果、ドリフト及び作業被曝低減効果試験	園芸(技術部)
財団法人園芸振興松島財団 平成20年度第35回研究助成	—	21	イチゴ一季成り性品種を用いた夏秋期生産技術の開発	南部園芸
平成21年度土壌由来温室効果ガス計測・抑制技術実証普及事業	(独)農業環境技術研究所	21	全国農地土壌炭素調査	生産環境

* (独)農業・食品産業技術総合研究機構

※競争的研究資金に基づく共同研究機関数(延べ数)

研究機関区分	延べ機関数
大学	15
独立行政法人	11
公設試験場・地方独立行政法人	37
民間(公益法人を含む)	12

(7) 民間委託試験(10/10委託)

事業名・課題名	相手方	研究の内容	担当研究室
農薬及び植物調節剤等の効果検定試験	(社)岩手県植物防疫協会	(社)日本植物防疫協会からの委託分	病理昆虫、園芸(県北研)、作物(県北研)
		(社)日本植物調節剤研究協会からの委託分	プロ推(水田農業)、園芸(技術部)、南部園芸、家畜飼養・飼料、作物(県北研)
		(株)丸尾カルシウム、(株)井上石灰工業、(株)晃栄化学工業からの委託分	園芸(技術部)
肥料の効果等に関する試験	岩手県施肥合理化協議会	(対象作物) 水稲、水稲(育苗)、小麦、りんご、トマト、きゅうり、アスパラガス、レタス、非結球レタス、ほうれんそう、りんどう	プロ推(水田農業)、プロ推(特裁・有機)、作物(技術部)、園芸(技術部)、南部園芸、生産環境、園芸(県北研)
平成21年度加工・業務用果実需要対応産地育成事業	(財)中央果実生産出荷安定基金協会	果実加工品の試作品製作等調査	園芸(技術部)
土壌病害虫防除技術基準策定事業	(社)日本くん蒸技術協会	キュウリホモプシス根腐病に対するクロルピクリンくん蒸剤による防除に関する調査試験	病理昆虫

(8) (財)岩手生物工学研究センターとの共同研究

研究課題名	生工研担当	研究期間	研究の内容	担当研究室
水稲重要形質と連鎖したDNAマーカーの探索	生命科学研究部(遺伝学ゲノム学研究分野)	H15～22	生工研と共同で遺伝子解析に基づくDNAマーカーを開発し、岩手オリジナル品種の育成を加速化する。	作物(技術部)
DNAマーカー利用によるリンドウ新育種技術の開発と品種保護への応用	細胞工学研究部(分子育種研究分野)	H20～24	リンドウのDNAマーカーの整備及びそれらを用いた優良品種の育成法の確立を行う。また、品種保護のために高精度かつ簡易なDNA鑑定技術を開発する。	園芸(技術部)、病理昆虫
体系的な植物病害診断法の確立に向けた病原検出診断技術の開発	生命科学研究部(植物病態分子研究分野)	H19～23	ウイルスによる感染の検出を長鎖二本鎖RNAの蓄積を指標とする手法を確立し、迅速かつ体系的な植物病害診断を確立する。	病理昆虫

(9) 他の公設試との共同研究

課題名等	相手方	研究期間	担当研究室
ワイン専用ぶどう新系統の醸造特性評価	工業技術センター	6～	園芸(技術部)
県産小麦品種の加工特性評価	工業技術センター	7～	作物(技術部)
醸造用水稲品種の開発	工業技術センター	8～	作物(技術部)

(10) AFR(岩手農林研究協議会)研究会

ア 研究会

名称	構成	研究期間	担当研究室
1 岩手育種研究会	◎岩手大学農学部・教育学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、生物工学研究センター	10～	作物(技術部)
2 水稻栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター	11～	作物(技術部)
3 果樹栽培研究会	◎岩手大学農学部、岩手県農業研究センター、中央普及センター	11～	園芸(技術部)
4 リンドウ研究会	◎岩手大学農学部、東北農業研究センター、岩手県農業研究センター、安代町花き開発センター	11～	園芸(技術部)
5 農業IT活用研究会	岩手県立大学、八戸工業高等専門学校、農業普及技術課、◎岩手県農業研究センター	15～	農業経営、病理昆虫、生産環境、プロジェクト(特栽・有機)、作物(県北研)

※平成21年度協議会(11/27)において継続活動実績のある研究会に整理することを承認。これを受けて当センター職員が参加している研究会のみを上記に掲載した。

イ AFR協議会等の開催

開催月日	場所	内容
21.11.27	岩手大学農学部第1会議室 同 5号館1階7番講義室	平成21年度岩手農林研究協議会(AFR)協議会 第10回岩手農林研究協議会(AFR)シンポジウム
21.5.11	岩手大学農学部会議室	平成21年度第1回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会
21.7.31		平成21年度第2回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会
21.10.15		平成21年度第3回岩手農林研究協議会(AFR)幹事会

(11) その他共同研究

課題名	相手方	研究期間	研究の内容	担当研究室
肉用牛における経済形質とDNAマーカーの連鎖解析	(社)畜産技術協会	13～	岩手県種雄牛の約300頭からなる半きょうだい家系を作成し、DNAマーカーによる連鎖解析を行い、経済形質遺伝子座を明らかにする。また、遺伝的不良形質について、500頭程度の半きょうだいサンプルを追加、原因領域に新たなマーカーの追加等を行い原因となる遺伝子座を明らかにする。	家畜育種
生物遺伝資源交換に関する研究協定	(独)農業生物資源研究所	14～24	植物、動物、微生物の生物遺伝資源及びDNAの相互交換	センター全体
岩手県日本短角種におけるGHSR遺伝子の変異解析と産肉形質に及ぼす影響	(独)農業生物資源研究所	20～21	近年、ヒトやマウスなどでグレリン受容体(GHSR)の遺伝的変異が増体や脂肪代謝に影響を及ぼすことが明らかになっている。最近、日本短角種におけるGHSR遺伝子の予備的な変異解析から、特徴ある変異遺伝子を検出した。そこで、この変異が実際に遺伝するか、遺伝する場合、日本短角種集団中におけるその頻度はどの程度か、また、産肉能力にどの程度の影響を及ぼすのかを明らかにする。さらに、本変異遺伝子の遺伝子診断法を開発する。	家畜育種

(12) 産学官連携

名称	開催年月	場所	内容	担当研究室
岩手県産学連携連絡会	年6回	盛岡市ほか	事務局:岩手大学地域連携推進センター ※(財)いわて産業振興センター、大学および研究機関における情報交換	研究企画室
いわて産学連携推進協議会(リエゾンI)	年4回	盛岡市ほか	事務局:岩手大学地域連携推進センター ※研究シーズと県内企業とのマッチング	研究企画室
東北地域農林水産・食品ハイテク研究会	年3回	仙台市	事務局:東北農政局 ※産官学の連携強化、先端技術に関する情報提供、異業種・異分野間交流の促進	研究企画室

※1 平成21年度リエゾン-Iマッチングフェアに出展した研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
低コスト化稲作には欠かせない直播栽培のための「作溝同時直播装置」	プロジェクト推進室(水田農業)
いわてオリジナル新形質米品種～機能性!色!香り!用途はあなた次第	技術部 作物研究室
玄米は家畜のエサ、茎葉はバイオエタノール原料にも利用できる水稲多収新品種「つぶみのり」と「つぶゆたか」	技術部 作物研究室
果肉が褐変しにくいカットフルーツに好適な赤リンゴ「岩手7号」	技術部 園芸研究室
半もち性でおいしく、栽培しやすいヒエ新品種で新たな商品開発をませんか～「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」～	県北農業研究所 作物研究室

※2 平成21年度東北地域農林水産・食品ハイテク研究会マッチングフェアに出展した研究シーズ

研究シーズ名	担当研究室
低コスト化稲作には欠かせない直播栽培のための「作溝同時直播装置」	プロジェクト推進室(水田農業)
イブキジャコウソウによる農地法面管理法	企画管理部 農業経営研究室
いわてオリジナル新形質米品種～機能性!色!香り!用途はあなた次第	技術部 作物研究室
玄米は家畜のエサ、茎葉はバイオエタノール原料にも利用できる水稲多収新品種「つぶみのり」と「つぶゆたか」	技術部 作物研究室
果肉が褐変しにくいカットフルーツに好適な赤リンゴ「岩手7号」	技術部 園芸研究室
各種粉体化技術による玄米粉の加工特性の評価	環境部 生産環境研究室
寒締めほうれんそうの糖含量と簡易測定法	環境部 生産環境研究室
半もち性でおいしく、栽培しやすいヒエ新品種で新たな商品開発をませんか～「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」～	県北農業研究所 作物研究室

6 現地試験の実施

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
<p>水稻湛水直播栽培の収量品質安定化のための技術開発</p> <p>(同上のうち情報交流・連携活動) (同上のうち情報交流・連携活動)</p>	<p>八幡平市 盛岡市 紫波町 花巻市 北上市 金ヶ崎町 一関市 久慈市 秋田市</p>	<p>大更 玉山 片寄 石鳥谷 横川目 六原 舞川 大川目 雄和</p>	<p>プロジェクト推進室 水田農業</p>
<p>水田単作地帯において堆肥を有効に活用した発酵粗飼料用稲多収生産と良質サイレージ生産技術の確立 (委託プロジェクト:えさプロ)</p>	<p>紫波町</p>	<p>片寄</p>	<p>(生産環境) (家畜飼養・飼)</p>
<p>積雪寒冷地水稲乾田直播栽培における出芽安定化技術の確立</p>	<p>遠野市</p>	<p>土淵</p>	
<p>水稲乾田直播と大豆浅耕小畦立て栽培技術による輪作体系の確立と実証(委託プロジェクト:担い手プロ)</p>	<p>花巻市</p>	<p>轟木</p>	<p>(農業経営) (生産環境)</p>
<p>小麦冬期播種栽培の安定多収化技術の確立と作期・適地拡大</p>	<p>花巻市</p>	<p>轟木</p>	
<p>寒冷地におけるナタネ生産現地実証試験</p>	<p>雫石町</p>	<p>鶯宿</p>	
<p>水稻における特別栽培農産物等生産技術の安定化実証</p>	<p>奥州市 奥州市 一関市 一関市</p>	<p>江刺区田原 江刺区岩谷堂 花泉町花泉 大東町大原</p>	<p>特裁・有機</p>
<p>農業に有用な生物多様性の指標及び評価手法の開発</p>	<p>奥州市</p>	<p>江刺区稲瀬</p>	
<p>イブキジャコウソウ現地実証圃</p>	<p>金ヶ崎町他3</p>	<p>4地区</p>	<p>企画管理部 農業経営</p>
<p>県産米の品質・食味トップブランド現地栽培実証 (施肥合:いわて純情米総合実証展示圃)</p>	<p>奥州市 奥州市 金ヶ崎町 奥州市 北上市 花巻市 花巻市 盛岡市 盛岡市 雫石町 八幡平市 九戸村</p>	<p>水沢区佐倉河 胆沢区北大畑 永栄 江刺区稲瀬 飯豊 西宮野目 東和町前田 中太田 土淵 西安庭 平笠 荒谷</p>	<p>技術部 作物</p>

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
水稲奨励品種決定現地調査 (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (粳) (有色素米) (有色素米)	雫石町 紫波町 八幡平市 花巻市 西和賀町 奥州市 一関市 大船渡市 遠野市 山田町 洋野町 二戸市 一関市 軽米町	上野 星山 大更 矢沢 沢内前郷 江刺区稲瀬 萩荘 日頃市 上郷町 豊間根 宿戸 安比 花泉町 小軽米	技術部 作物
麦類耐寒雪性特性検定試験 麦類奨励品種決定調査(現地調査) 大豆奨励品種決定調査(現地調査)	一戸町 一関市 矢巾町 奥州市 滝沢村	奥中山 舞川 東徳田 前沢区 大沢	
リンゴ育種系統の現地適応性試験 JM7台木樹における低樹高仕立て法の確立 りんごわい性台木樹の樹相診断技術の確立 東北地域における農薬50%削減リンゴ栽培木樹体系の確立現地実証試験 クラブアップル等リンゴ授粉専用品種の選抜と利用法の確立	二戸市 宮古市 矢巾町 奥州市 一関市 北上市 奥州市 奥州市 紫波町 陸前高田市 藤沢町	金田一 内の沢 煙山 江刺区小倉沢 花泉町金沢 江釣子、口内 江刺区玉里、 江刺区藤里 江刺区玉里、 江刺区藤里 長岡 米崎 黄海	園芸(果樹)
りんどうこぶ症の発生要因の解明にかかる現地試験 りんどう品種育成にかかる現地調査	花巻市 盛岡市 八幡平市 西和賀町 花巻市 奥州市 一戸町 雫石町	大迫町 手代森、玉山区釘平 吠田、苗代 沢、瀬の沢 貝沢 太田 衣川区檜原 奥中山	園芸(花き) (病理昆虫)

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
水田単作地帯において堆肥を有効に活用した飼料イネ多収生産と良質イネサイレージ生産技術の確立	紫波町	片寄	環境部 生産環境 (プロ(水田)) (家畜飼養・飼)
りんどうの効率的施肥技術の確立	八幡平市 奥州市	安代 衣川区	
畑作物・野菜類のカドミウム吸収抑制技術の確立	西和賀町	槻沢	
県産野菜のおいしさ評価法の確立 レタスの内部成分評価法の確立 グリーンアスパラガスの内部成分評価法の確立	一戸町 北上市 一戸町	奥中山 煤孫 奥中山	
輸出に対応したりんどうの流通技術の開発	西和賀町 花巻市	沢内 石鳥谷、太田	
水稻のケイ酸質資材の施用効果	盛岡市 花巻市 北上市 一関市	都南 東和 和賀 萩荘	
窒素質肥料添加による高窒素鶏ふん堆肥の製造とその利用技術の開発	九戸村	伊保内	
水稻種子生産における種子伝染性病害防除法の確立	北上市	江釣子	病理昆虫
水稻大量種子消毒技術の確立	花巻市 紫波町	矢沢 日詰、志和	
ダイズを加害するウコンノメイガの発生生態の解明と防除対策の確立	花巻市 花巻市 奥州市 奥州市 平泉町	中根子 十二丁目 江刺区田原 水沢区姉体 長島	
りんごすす斑病の効果的防除技術開発試験	一関市 紫波町 盛岡市	巖美 長岡 黒川	
いちご萎黄病の防除技術実証試験	西和賀町	貝沢	
キャベツ圃場における環境保全型農法と関連した生物多様性の指標生物の選抜	花巻市	大谷地	
こぶ症発生リスクの解明と畦畔部の物理的遮断等による防除法の確立実証	八幡平市 盛岡市	切通、瀬の沢 玉山区	
地域特産農作物における新防除資材の実用化	軽米町 奥州市 盛岡市	晴山 江刺区2地点 飯岡	
新農薬の効果検定と防除基準作成	盛岡市 一関市	本宮 本寺	

内 容 (試験研究課題名)	市町村名	地 区 名	担 当 (関係研究室)
<p>日本短角種の全期粗飼料多給肥育の実証(細断型ロールベアラ等を活用したトモロコシサイレージ多給短角牛の安定生産とブランド確立)</p> <p>豚集団維持の交配支援システムの構築</p> <p>岩手の鶏遺伝資源を活用した特定JAS規格地鶏肉の効率的な生産に係る種鶏開発</p> <p>血統・枝肉データを活用した日本短角種全個体情報システムの拡充</p> <p>いわて型肉用牛パワーアップ事業(未経産乳牛への黒毛和種胚移植)</p>	<p>岩泉町</p> <p>岩泉町 田野畑村 紫波町</p> <p>大船渡市 一関市</p> <p>岩泉町 久慈市 二戸市</p> <p>滝沢村</p>		<p>畜産研究所 家畜育種</p>
<p>日本短角種の全期粗飼料多給肥育の実証(細断型ロールベアラ等を活用したトモロコシサイレージ多給短角牛の安定生産とブランド確立)</p> <p>不耕起栽培とうもろこしを導入した寒冷地向け飼料作物周年作付け体系の確立</p> <p>水田単作地帯において堆厩肥を有効に活用した飼料用稲多収生産と良質サイレージ生産技術の確立</p>	<p>久慈市</p> <p>八幡平市 岩泉町 二戸市 普代村</p> <p>紫波町</p>	片寄	<p>家畜飼養・飼料</p>
<p>キャベツ圃場における生物多様性の指標候補種選定(農業に有用な生物多様性の指標および評価手法の開発)</p> <p>現地ほうれんそうハウスの土壌水分の実態調査(ほうれんそう産地における夏期増収技術の確立)</p> <p>業務用ほうれんそう栽培の現地実証(業務用需要に対応できる野菜生産技術の確立)</p> <p>小ギク9、10月出し作型の遅植え体系実証(県北地域における小ぎくの安定生産技術の確立)</p> <p>ペレットストーブ施設園芸栽培利用実証事業にかかる花き(レウイシア)栽培実証</p>	<p>八幡平市</p> <p>八幡平市 久慈市 洋野町</p> <p>洋野町</p> <p>九戸村</p> <p>一戸町</p>	<p>松尾刈屋</p> <p>平笠・大更 侍浜町 下高森・日当</p> <p>帯島</p> <p>伊保内</p> <p>奥中山</p>	<p>県北農業研究所 園芸</p>
<p>雑穀機械化栽培総合実証試験(雑穀の省力・安定栽培技術の確立)</p> <p>ヒエ新品種現地適応性試験(オリジナル雑穀品種の育成)</p> <p>ヒエ新品種種子増殖試験(オリジナル雑穀品種の育成)</p> <p>アワ初期害虫の被害を軽減する耕種的防除法の確立(雑穀の省力・安定栽培技術の確立)</p>	<p>軽米町</p> <p>軽米町 花巻市</p> <p>軽米町</p> <p>洋野町</p>	<p>長倉</p> <p>山内(2カ所) 東和</p> <p>山内</p> <p>水沢</p>	<p>作物</p>

試験研究の成果

1 試験研究成果

(1)平成21年度成果数

成果区分	水稲	畑作物	果樹	野菜	花き	畜産	総合	総計
普及(普及に移しうる成果) 農家等へ普及することによって、経済効果や経営改善等が見込まれる成果	0	1	6	1	0	2	2	12
指導(技術指導に参考となる成果) 普及指導員等の技術指導上の参考として適当と認められる成果	8	3	3	9	5	7	3	38
行政(行政施策等に反映すべき成果) 行政からのニーズに対応した研究成果等で、行政施策の企画等に参考になると認められるもの	7	0	0	0	1	9	1	18
研究(技術開発に有効な成果) 新しい技術の試みで、今後の試験研究により技術に仕上げられる可能性のあるもの及び技術の基礎的知見、研究手法等に関するもの	4	7	2	5	2	8	0	28
計	19	11	11	15	8	26	6	96

(2)外部評価結果(集計)

ア 第1回(平成21年9月、評価対象:0成果)

例年は、第1回外部評価においても多数課題の成果検討が行われていたが、平成20年度より「タイムリーな成果」が実施となったことにより、今回は第1回外部評価の対象となる成果がなかった。

イ 第2回(平成22年1月、評価対象:46成果)

評価項目	評価基準			
	A	B	C	D
総合評価	102 (58%)	72 (41%)	3 (2%)	0 (0%)
1 新規性	97 (55%)	67 (38%)	12 (7%)	1 (1%)
2 期待する活用効果	108 (61%)	57 (32%)	10 (6%)	2 (1%)
3 成果内容・表現の的確性	107 (60%)	67 (38%)	3 (2%)	0 (0%)

評価基準

1 新規性	A(高い)	B(やや高い)	C(やや低い)	D(低い)
2 期待する活用効果	A(高い)	B(やや高い)	C(やや低い)	D(低い)
3 成果内容・表現の的確性	A(適切)	B(一部見直し)	C(大幅見直し)	D(不適切)

(3)平成21年度成果名及び外部評価結果一覧

【普及(普及に移しうる成果)】 (A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可) [委員数(人)]

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
総合	H21-普-01	簡易・低コストなデジタル土壌養分分析システム	生産環境	-	-	-	-
畑作物	H21-普-02	キビ、アワの機械化栽培マニュアルの策定	作物(県北)	-	-	-	-
果樹	H21-普-03	リンゴわい性台樹における葉液到達性の高い樹体構成	園芸(技術), 農業経営	1	2	0	0
果樹	H21-普-04	りんご「ふじ」わい性台木利用樹の簡便な樹相診断手法	園芸(技術)	2	1	0	0
果樹	H21-普-05	品種 ぶどう 耐寒性が強く食味良好な赤色品種「岩手3号」	園芸(技術)	3	0	0	0
果樹	H21-普-06	ぶどう品種「シャインマスカット」の花穂整形、ジベレリン処理、摘粒の方法	園芸(技術)	2	1	0	0
果樹	H21-普-07	デンブン水和剤を用いたリンゴハダニの防除方法	病理昆虫	-	-	-	-
果樹	H21-普-08	リンゴすす斑病の発生が多い園地における防除対策	病理昆虫	1	2	0	0
野菜	H21-普-09	ペーパーポット育苗におけるトマトのかん水方法	園芸(技術)	2	2	0	0
畜産	H21-普-10	受胎率向上のための黒毛和種受胎牛の飼料給与プログラムと血液検査指標値	家畜育種	3	2	0	0
畜産	H21-普-11	乾物収量性に優れた飼料用トウモロコシ極早生品種「DKC34-20(ニューデント95日)」	家畜飼養・飼料	5	0	0	0
総合	H21-普-12	平成22年度岩手県病害虫防除指針に採用した主な殺虫剤、殺菌剤	病理昆虫	-	-	-	-

【指導(技術指導に参考となる成果)】 (A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可) [委員数(人)]

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
野菜	H21-指-01	簡易検定法によるハウレンソウ萎ちょう病の耐病性評価	園芸(県北)	-	-	-	-
水稲	H21-指-02	水稲湛水直播栽培にける作溝同時直播装置の開発(追補)～装置の改良と現地適応性	PJ(水田農業)	4	1	0	0
水稲	H21-指-03	水稲主要品種における湛水直播栽培の安全度	PJ(水田農業)	1	4	0	0
水稲	H21-指-04	水稲乾田直播栽培を安定させる播種時鎮圧及び播種条間	PJ(水田農業)	1	4	0	0
水稲	H21-指-05	県内のJAS認証を取得している水稲有機栽培事例	PJ(特裁・有機)	0	3	0	0
水稲	H21-指-06	県内で最も流通量の多い水稲特別栽培専用肥料の施用方法	PJ(特裁・有機)	0	3	0	0
水稲	H21-指-07	平成21年における水稲生育の特徴と作柄・品質に影響した要因の解析	作物(技術),作物(県北),生産環境,病理昆虫	1	3	1	0
水稲	H21-指-09	育苗箱全量施肥による水稲のリン酸・カリ無施用栽培	生産環境	4	1	0	0
水稲	H21-指-10	防草シートを使用したイブキジャコウソウによる省力的な法面管理方法の検討	農業経営	1	2	0	0
畑作物	H21-指-11	平成21年産 麦の生育経過の概要と特徴	作物(技術),作物(県北),病理昆虫	0	4	1	0
畑作物	H21-指-12	平成21年産 大豆の生育経過の概要と特徴	作物(技術),作物(県北),病理昆虫	1	3	1	0
畑作物	H21-指-13	キビ子実の黄色味は直射日光により低下する	作物(県北)	-	-	-	-
果樹	H21-指-14	リンゴわい性化樹における低樹高樹形の最終的な側枝の配置	園芸(技術)	1	2	0	0
果樹	H21-指-15	リンゴわい性台樹の葉液到達性評価法	園芸(技術)	1	2	0	0
果樹	H21-指-16	農薬50%削減リンゴ栽培の導入経緯と経営評価	農業経営,園芸(技術),病理昆虫	2	1	0	0
野菜	H21-指-17	イチゴの低コスト、閉鎖型高設栽培システムの開発	南部園芸	3	1	0	0
野菜	H21-指-18	四季成り性イチゴ「なつあかり」の春植え栽培における定植時期の前進化と増収効果	南部園芸	3	1	0	0

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
野菜	H21-指-19	雨よけ無加温栽培におけるパプリカの有望品種の特性	園芸(技術)	4	0	0	0
野菜	H21-指-20	いちご主要品種における萎黄病耐病性の品種間差異	病理昆虫	3	1	0	0
野菜	H21-指-21	スイートコーンにおけるアワノメイガ防除適期および生物農薬(BT水和剤)の防除効果	病理昆虫	4	0	0	0
野菜	H21-指-22	業務用向けほうれんそうの露地栽培に適する品種(初夏どり)	園芸(県北)	-	-	-	-
野菜	H21-指-23	業務用向けほうれんそうの露地栽培に適する品種(秋どり)	園芸(県北)	-	-	-	-
野菜	H21-指-24	促成アスパラガスの高収量確保のための根株養成法	園芸(県北)	-	-	-	-
花き	H21-指-25	リンドウ褐斑病の発生生態と防除対策(追補)	病理昆虫	2	0	0	0
花き	H21-指-26	リンドウ炭疽病の薬剤防除適期	病理昆虫	2	0	0	0
花き	H21-指-27	りんどう極早生種 キュースト の半促成栽培における栽培特性	園芸(県北)	-	-	-	-
花き	H21-指-28	りんどう半促成栽培における生産力維持に及ぼす残茎数の影響	園芸(県北)	-	-	-	-
花き	H21-指-29	遠距離輸送に対応したりんどうの鮮度保持技術	生産環境	2	0	0	0
畜産	H21-指-30	初妊牛における環境性乳房炎予防技術	家畜飼養・飼料	5	0	0	0
畜産	H21-指-31	豚の肥育全期間(体重30~110kg)における玄米混合給与が産肉性に及ぼす影響	家畜育種	2	3	0	0
畜産	H21-指-32	盛岡冷めん+さな粉は南部かしわの肥育飼料として活用できる。	家畜育種	2	3	0	0
畜産	H21-指-08	飼料用イネ(WCS)栽培における効率的な雑草防除	PJ(水田農業)	1	4	0	0
畜産	H21-指-33	粗砕カキ殻施用草地における土壌改良効果の持続性について(利用5年目)	外山畜産	2	2	0	0
畜産	H21-指-34	飼料用トウモロコシ不耕起栽培の収量性(追補)	家畜飼養・飼料	3	2	0	0
畜産	H21-指-35	飼料用トウモロコシ栽培における一次発酵オガクズ鶏ふん堆肥の窒素の肥効性	家畜飼養・飼料	2	3	0	0
総合	H21-指-36	アシグロハモグリバエに対する各種殺虫剤の効果	病理昆虫	-	-	-	-
総合	H21-指-37	生産技術体系を活用した経営分析・試算シート	農業経営	3	0	0	0
総合	H21-指-38	集落営農の経営多角化に向けた加工用トマト、小ぎく、菌床しいたけの技術体系データ	農業経営	1	2	0	0

【行政(行政施策等に反映すべき成果)】 (A:提出可、B:一部修正、C:大幅修正、D:提出不可) [委員数(人)]

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
水稲	H21-行-01	水稲施肥設計支援シート	生産環境	-	-	-	-
水稲	H21-行-02	総合的病害虫・雑草管理(IPM)実践指標 ~水稲~	PJ(特裁・有機)	-	-	-	-
水稲	H21-行-03	平成21年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査結果	作物(技術),作物(県北)	4	1	0	0
水稲	H21-行-04	平成22年度水稲奨励品種決定本調査・現地調査新規供試系統	作物(技術),作物(県北)	4	1	0	0
水稲	H21-行-05	平成22年度水稲新配布系統(候補系統)	作物(技術),作物(県北)	4	1	0	0
水稲	H21-行-06	主観的労働強度から判定した合理的な法面直高	農業経営	1	2	0	0
水稲	H21-行-07	既存長大法面への作業道設置効果と設置経費	農業経営	3	0	0	0
花き	H21-行-08	9月咲き切り花青リンドウ有望系統の特性	園芸(技術)	2	0	0	0

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
畜産	H21-行-09	種雄牛「菊安舞鶴」のQTL解析結果と後継牛のQTL保有状況(第2報)	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-行-10	日本短角種産肉能力検定(直接法)成績	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-行-11	日本短角種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-行-12	日本短角種枝肉脂肪中の脂肪組成に影響を与える要因の解析	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-行-13	黒毛和種産肉能力検定(直接法)成績	種山畜産	-	-	-	-
畜産	H21-行-14	黒毛和種産肉能力検定(現場後代検定法)成績	種山畜産	-	-	-	-
畜産	H21-行-15	黒毛和種子牛市場における県有種雄牛の評価	種山畜産	-	-	-	-
畜産	H21-行-16	黒毛和種種雄牛別枝肉成績	種山畜産	-	-	-	-
畜産	H21-行-17	黒毛和種供用中雌牛推定育種価の推移	種山畜産	-	-	-	-
総合	H21-行-18	インターネットを活用した市場動向分析支援システム	農業経営	2	1	0	0

【研究(研究開発に有効な成果)】

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
水稲	H21-研-01	苗の持ち運びが楽な水稲育苗用軽量培土	PJ(水田農業)	-	-	-	-
水稲	H21-研-02	8月上旬の葉いもち発生量と収穫期の穂いもち被害の関連性について	病理昆虫	-	-	-	-
水稲	H21-研-03	圃場作業量シミュレーションのための水稲主要4作業の実態	PJ(特裁・有機)	-	-	-	-
水稲	H21-研-04	農業用鉄筋コンクリート水路(二次製品)の経年変化	農業経営	-	-	-	-
畑作物	H21-研-05	小麦の耐寒雪性評価と冬季の気象要素との関係	作物(技術)	-	-	-	-
畑作物	H21-研-06	ダイズ害虫ウコンノメイガの発生消長	病理昆虫	-	-	-	-
畑作物	H21-研-07	ヒエオリジナル品種「ねばりっこ2号」のメソコチル伸長特性とその要因	作物(県北)	-	-	-	-
畑作物	H21-研-08	キビ穂型の遺伝様式および穂型遺伝子と穎色遺伝子の独立遺伝	作物(県北)	-	-	-	-
畑作物	H21-研-09	雑穀連作畑におけるアマランサスの栽培特性	作物(県北)	-	-	-	-
畑作物	H21-研-10	アワ初期害虫に対する防除網等資材による被害低減効果はない	作物(県北)	-	-	-	-
畑作物	H21-研-11	畑栽培雑穀キビ、アワへの追肥の効果	作物(県北)	-	-	-	-
果樹	H21-研-12	リンゴわい性台樹の側枝本数とスピードスプレーヤの薬液散布量等が薬液到達性に及ぼす影響	園芸(技術)	-	-	-	-
果樹	H21-研-13	リンゴ岩手系統の親子鑑定と交雑和合性	園芸(技術)	2	1	0	0
野菜	H21-研-14	根域冷却処理による高糖度トマト生産における培養液濃度の影響	南部園芸	-	-	-	-
野菜	H21-研-15	一季成り性イチゴ「さがほのか」の夏秋期生産における送風処理を併用した短日処理、芽管理の効果	南部園芸	-	-	-	-
野菜	H21-研-16	ウリ科植物のキュウリホモプシス根腐病に対する台木適性	園芸(技術), 病理昆虫	-	-	-	-
野菜	H21-研-17	環境保全型防除を実施したキャベツ圃場で観察される土着天敵	病理昆虫, 園芸(県北)	-	-	-	-
野菜	H21-研-18	県産野菜の収穫後保管条件と食味の関係	生産環境	-	-	-	-
花き	H21-研-19	温度が大きく影響を及ぼすリンドウの生育ステージと生育促進温度域	園芸(技術)	-	-	-	-

分野	成果番号	成果名	担当研究室	総合評価			
				A	B	C	D
花き	H21-研-20	切り花りんどうのエチレン感受性	生産環境	-	-	-	-
畜産	H21-研-21	搾乳ロボットにおけるフィードステーションの配合飼料給与量が牛の自発的訪問へ与える影響	家畜飼養・飼料	-	-	-	-
畜産	H21-研-22	県産黒毛和種牛肉中の脂肪酸組成に性、出荷月齢、FASN遺伝子、SCD遺伝子が及ぼす影響	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-研-23	日本短角種のグレリンレセプター遺伝子変異の検出	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-研-24	黒毛和種子牛の人工哺育方法の違いが発育及びβ-ヒトキシ酪酸(BHB;ルーメン発達の指標)に及ぼす影響	家畜育種	-	-	-	-
畜産	H21-研-25	黒毛和種去勢子牛育成期へのTMR給与技術	外山畜産	-	-	-	-
畜産	H21-研-26	黒毛和種子牛における自然哺乳回数制限が子牛の発育に及ぼす影響	外山畜産	-	-	-	-
畜産	H21-研-27	飼料用とうもろこしにおける自走式ハーベスタの収穫作業コスト	農業経営	-	-	-	-
畜産	H21-研-28	飼料用とうもろこし不耕起播種栽培の栽培管理作業コスト	農業経営	-	-	-	-

2 追跡評価

今年度は、追跡評価を実施せず。次年度に、平成18年度に公表した普及区分の成果について評価を実施する。

(1) 評価視点

岩手県農業研究センター試験研究課題評価実施要領別表5の規程により、「成果の活用状況」について、「現在も有効な成果であるか」「成果が経済活動等で活用されているか」の評価視点で追跡評価を実施。

(2) 追跡評価の調査方法

ア 農業研究センターによる自己評価

(ア) 評価視点「現在も有効な成果であるか」

- a 評価対象 おおむね成果公表3年後の普及区分の全研究成果を対象。
- b 評価区分
 - A:(現在でも)有効
 - B:目的達成(既に、成果の目的を達成し、現在では有効性がない)
 - C:後年度の成果に反映(更新)
 - D:無効(Bの概念にふくまないもの)

(イ) 評価視点「成果が経済活動等で活用されているか」

- a 評価対象 公表した普及区分の研究成果のうち、本庁各室課が定める要綱・要領等に基づき検討されている成果。
 - (a) 農作物奨励品種等の決定及び改廃に関する要綱(奨励品種等)
農産園芸課が所管する稲、麦類、豆類、果樹、野菜、花き等が対象
 - (b) 岩手県農作物病害虫・雑草防除指針作成要領(農薬の採用・使用上の留意点等)
 - (c) いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)
 - (d) 日本短角種集団育種推進事業推進協議会設置要領(種雄牛の作出)

b 評価区分

- (a) 生産者への「普及状況」と「その効果」について、A～Dの4段階で評価。
 - A:目標の75%
 - B:75%未満～50%
 - C:50%未満～25%
 - D:25%未満
- (b) 評価の基準となる目標数値は、成果を主査する研究室において設定。

イ 中央農業改良普及センター(県域)による評価

(ア) 評価視点「成果が経済活動等で活用されているか」

- a 評価対象 公表した普及区分の研究成果のうち、上記ア(イ)以外の成果。
- b 評価区分 上記ア(イ)bと同じ

3 東北農業試験研究成果

<研究成果情報>

(1) 研究成果数

推進部会名	作物	基盤技術	畜産	果樹	野菜花き	流通・加工	計
研究成果数	2	4	4	3	5	1	19

(2) 研究成果名

推進部会名	部会 No.	成 果 名	分 類	主査研究室
作物 (稲栽培)	16	飼料用イネ(WCS)栽培における効率的な雑草防除	技術・参考	プロジェクト推進室(水田農業)
	17	水稲湛水直播栽培における作期面の安全度評価	技術・参考	プロジェクト推進室(水田農業)
基盤技術 (土壌肥料)	6	スキャナを利用した簡単・迅速な土壌養分分析システム	技術・普及	生産環境
	7	育苗箱全量施肥による水稲のリン酸・カリ無施用栽培	技術・普及	生産環境
(経営)	30	飼料用とうもろこしの破碎処理と不耕起播種栽培導入の経営経済評価	技術・参考	農業経営
	31	農薬50%削減リンゴの導入経緯と経済性評価	技術・参考	農業経営
畜産	1	受胎率向上のための黒毛和種受胎牛の飼料給与プログラムと血液検査指標	技術・普及	家畜育種
	2	日本短角種枝肉脂肪中の脂肪酸組成に影響を与える要因の解析	技術・参考	家畜育種
	3	豚の肥育全期間(体重30~110kg)における玄米混合給与が産肉性に及ぼす影響	技術及び行政・参考	家畜育種
	4	草地における粗砕カキ殻施用の土壌改良効果の持続性	技術・参考	外山畜産
果樹	2	リンゴ「ふじ」わい性台木利用樹の簡便な樹相診断手法	技術・普及	技術部・園芸
	3	りんごわい性台樹における薬液到達性の高い樹体構成	技術・普及	技術部・園芸
	16	8~9月の薬剤選択に基づくリンゴすす斑病の効果的な防除対策	技術・参考	病理昆虫
野菜花き (野菜)	1	「なつあかり」の春植え栽培では定植時期の前進化により増収する	技術・参考	南部園芸
	2	根域冷却処理と培養液の高濃度管理による夏秋トマトの糖度向上技術	技術・参考	南部園芸
	3	業務用の露地初夏どり作型に適するハウレンソウ品種	技術・参考	県北・園芸
(花き)	10	遠距離輸送に対応したリンドウの鮮度保持技術	技術・参考	生産環境
	11	切り花リンドウのエチレン感受性	研究・参考	生産環境
流通・加工	1	岩手県産野菜の収穫後保管条件と食味の関係	研究・参考	生産環境

試験研究成果の発表

1 試験成績書等刊行物

資料番号等	表題名	発行年月	総頁数
プロジェクト推進室			
プロ推 20 No.1	平成20年度プロジェクト推進室(水田農業)試験成績書	22.03	124
プロ推 21 No.1	平成21年度プロジェクト推進室(水田農業)試験成績書	22.03	80
企画管理部			
経営 21 No.1	岩手県における先進経営体の現状と課題	21.06	30
経営 21 No.2	岩手県産りんどうの競争ポジショニングと対応方向	21.11	71
経営 21 No.3	岩手県における担い手の動向分析	21.12	89
経営 21 No.4	生産技術体系を活用した経営分析・試算シートユーザーマニュアル2010.02	22.02	28
経営 21 No.5	イブキジャコウソウによる法面管理について	22.02	129
経営 21 No.6	平成21年度試験研究成績書(農業経営チーム)	22.02	205
経営 21 No.7	平成21年度試験研究成績書(生産工チーム)	22.02	143
技術部			
技術 21 No.1	平成19年度水稲新品種育成試験成績書(作物研究室)	21.5	153
園芸 20 No.1	平成20年度 試験成績書 技術部園芸研究室(果樹)	21.12	170
(財)中央果実生産出荷安定基金協会平成21年度加工・業務用果実需要対応産地育成事業	「果実各品の試作品製作等調査」事業報告書	21.12	27
園畑 19 No.2	平成17年度・平成18年度・平成19年度試験成績書(野菜関係)	22.02	133
技術 20 No.4	平成20年度 花き試験成績書 技術部園芸研究室	22.03	44
技術 20 No.5	平成20年度 試験成績書(南部園芸研究室)	22.03	45
環境部			
環境 21 No.1	平成21年度 試験研究成績書(病理昆虫研究室)	22.03	260
病虫害防除部			
	平成20年度 植物防疫事業年報	21.04	165
病虫害防除技術情報No.21-1	斑点米被害の要因解析	22.01	2
病虫害防除技術情報No.21-2	きくに発生する半身萎ちょう病の診断	22.01	2
病虫害防除技術情報No.21-3	県内におけるハモグリバエ類の発生状況について	22.01	2
畜産研究所			
畜産 21 No.1	平成21年度試験成績書(畜産研究所)	22.03	90
県北農業研究所	なし		

2 研究レポート(平成21年度発行分)

No	タイトル	担当研究室
457	県中南部向け非主食用水稲新品種「つぶゆたか」(岩南29号)	技術部 作物研究室
458	県中北部向け非主食用水稲新品種「つぶみのり」(岩手85号)	技術部 作物研究室
459	肥効調節型肥料を活用して湛水直播の収量向上!	プロジェクト推進室(水田農業)
460	直播に使える一成分の水稲用中期剤「ワイドアタックSC」	プロジェクト推進室(水田農業)
461	納豆用大豆「すずほのか」の播種適期と栽植密度	技術部 作物研究室
462	大豆小畦立て播種機のバージョンアップをしてみませんか?	プロジェクト推進室(水田農業)
463	りんご「黄香」の樹上裂果軽減対策	技術部 園芸研究室
464	ぶどう品種「サニールージュ」の花穂整形と摘粒	技術部 園芸研究室
465	親株無加温で8月下旬から出荷できる鉢物リンドウ「花研鉢2」	技術部 園芸研究室
466	肥料費30%減! りんどうの株養成期間一発施肥	環境部 生産環境研究室
467	県北地域における9~10月出荷用小ぎくの栽培体系	県北農業研究所 園芸研究室
468	リンドウの育苗中に発生する苗腐敗症の発生生態と薬剤防除対策	環境部 病理昆虫研究室
469	産肉性に優れた日本短角種種雄牛「辰郎」の作出	畜産研究所 家畜育種研究室
470	平成21年度に指定した飼料用トウモロコシ優良品種	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
471	飼料用米として利用できる「つぶゆたか」および「つぶみのり」の施肥法	技術部 作物研究室
472	高精度湛水直播機に装着する作溝装置を開発しました!	プロジェクト推進室(水田農業)
473	直播で多収! 移植並の所得を確保!	プロジェクト推進室(水田農業)
474	大規模処理施設での温湯浸漬処理後種子の長期保存条件	プロジェクト推進室(特裁・有機)
475	アカスジカスミカメに対する一斉防除が有効となる防除時期	環境部 病理昆虫研究室
476	水稲の肥料費をシグモイド型の肥料で安くします	環境部 生産環境研究室
477	水稲における固定式タイン型除草機の除草効果	プロジェクト推進室(特裁・有機)
478	ダイズ紫斑病の効率的な薬剤防除体系	環境部 病理昆虫研究室
479	発酵鶏ふんで大豆の無化学肥料栽培ができます	県北農業研究所 作物研究室
480	キビ、アワの登熟特性からみた成熟期の推定	県北農業研究所 作物研究室
481	キビ、アワの機械収穫技術	県北農業研究所 作物研究室
482	生物農薬を用いればアワの収量がアップします	県北農業研究所 作物研究室
483	りんご「ふじ」の樹上凍結が果実品質に及ぼす影響	技術部 園芸研究室
484	リンゴ「シナノゴールド」の台木は「JM7」で!	技術部 園芸研究室
485	ナミハダニの薬剤抵抗性の実体を踏まえたりんごハダニ類の合理的殺ダニ剤使用体系	環境部 病理昆虫研究室
486	リンゴの授粉専用品種「ドルゴ」と「スノードリフト」	技術部 園芸研究室
487	リンゴ授粉専用品種のポット大苗移植による結実安定効果	技術部 園芸研究室
488	ブルーベリー栽培における有機質資材の利用法	技術部 園芸研究室
489	四季成り性イチゴの主要品種の特性	技術部 南部園芸研究室
490	四季成り性イチゴの摘果と摘花房処理の効果	技術部 南部園芸研究室
491	アスパラガス数品種の年内どり伏せ込み促成栽培適性	技術部 園芸研究室
492	トマトすずかび病とCf-9品種を侵す葉かび病(新レース)の新奇発生と診断のポイント	環境部 病理昆虫研究室
493	ホウレンソウ萎凋病の低コスト防除法	県北農業研究所 作物研究室
494	レタス体内成分(硝酸イオン、糖)の簡易推定法	環境部 生産環境研究室

No	タイトル	担当研究室
495	育種素材 わい性リンドウ「A4PB No.34-25」	技術部 園芸研究室
496	杉樹皮培地をパンジーの鉢上げ用土として利用する方法	技術部 南部園芸研究室
497	リンドウ種子の調製・貯蔵技術	技術部 園芸研究室
498	等温遺伝子増幅法(ICAN法)によるキクわい化病の簡便な診断法	環境部 病理昆虫研究室
499	分離給与における泌乳牛への給与順番とL-メン発酵	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
500	低カリウム飼料や低CP飼料による泌乳牛の尿量低減技術	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
501	黒毛和種在胎日数の現状	畜産研究所 種山畜産研究室
502	ライコムギを活用した日本短角種の自給飼料主体肥育技術	畜産研究所 家畜育種研究室
503	パークシャー種育成豚及び肥育豚の能力調査成績・I	畜産研究所 家畜育種研究室
504	豚の肥育後期(70～110kg)における玄米添加給与の影響	畜産研究所 家畜育種研究室
505	産肉性から見た南部かしわ(K系)の適正な肥育終了週齢	畜産研究所 家畜育種研究室
506	飼料用トウモロコシ栽培における牽引式不耕機播種機の作業性	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室
507	黒毛和種における過剰排卵処理後の卵巢反応の推定	畜産研究所 家畜育種研究室
508	受胎牛の血液検査適正值と糞便pH	畜産研究所 家畜育種研究室
509	養分の過剰蓄積を防ぐ堆肥の使い方をしましょう	環境部 生産環境研究室
510	水田の施肥量と土壌養分は25年間でこう変化している	環境部 生産環境研究室
511	畑の土壌養分は25年間でこう変化している	環境部 生産環境研究室
512	基盤整備直後における法面管理向け「イブキジャコウソウ」の経営評価	企画管理部 農業経営研究室
513	りんご「岩手7号」の果肉は褐変し難い	技術部 園芸研究室
514	黒毛和種県有種雄牛「平北勝1」「北真鶴」「岩輝57」の作出	畜産研究所 種山畜産研究室
515	県有種雄牛「菊安舞鶴」のQTLの検出と後継牛の保有状況	畜産研究所 家畜育種研究室
516	アワノメイガ越冬世代の発育と温度の関係	環境部 病理昆虫研究室

3 岩手県農業研究センター研究報告

第10号(平成22年3月発行)

※ゴシックは筆頭著者

区分	論文題名	著者氏名	所 属
報文	岩手県の里地里山におけるスマレ属植物の分布及び管理の違いが個体群密度に及ぼす影響	武 田 眞 一	前 岩手県農業研究センター所長 (現 全国農業協同組合連合会 岩手県本部)
	リンゴ授粉専用品種の園地導入技術	高 橋 司 田 村 博 明 佐々木 仁 浅 川 知 則	技術部 園芸研究室 技術部 園芸研究室 旧 園芸畑作部 果樹研究室 (現 中央農業改良普及センター) 旧 園芸畑作部 果樹研究室 (現 県農林水産部農業普及技術課)
	水稲新品種「つぶゆたか」の育成	阿 部 陽 菅 原 浩 視 佐々木 力 高草木 雅人 中 野 央 子 木 内 豊 田 村 和 彦 仲 條 眞 介 高 橋 眞 博 小 田 中 浩 哉 扇 良 明 尾 形 茂 照 井 儀 明 佐 藤 喬 神 山 芳 典	技術部 作物研究室 技術部 作物研究室 技術部 作物研究室 前 技術部 作物研究室 (現 二戸農業改良普及センター) 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 中央農業改良普及センター) 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 岩手県農林水産部) 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 中央農業改良普及センター) 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 県北農業研究所 作物研究室) 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 岩手県農林水産部) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 岩手県県南広域振興局) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 一関農業改良普及センター) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 大船渡農業改良普及センター) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 岩手県商工労働観光部) 旧 農業試験場県南分場 (現 中央農業改良普及センター) 旧 農産部 水稲育種研究室(退職)
	水稲新品種「つぶみのり」の育成	菅 原 浩 視 阿 部 陽 高草木 雅人 佐々木 力 仲 條 眞 介 木 内 豊	技術部 作物研究室 技術部 作物研究室 前 技術部 作物研究室 (現 二戸農業改良普及センター) 技術部 作物研究室 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 県北農業研究所 作物研究室) 旧 農産部 水稲育種研究室 (現 岩手県農林水産部)

区分	論文題名	著者氏名	所属
		中野 央子 田村 和彦 扇 良明 尾形 茂 小田中 浩哉 神山 芳典	旧 農産部 水稻育種研究室 (現 中央農業改良普及センター) 旧 農産部 水稻育種研究室 (現 中央農業改良普及センター) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 一関農業改良普及センター) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 大船渡農業改良普及センター) 旧 農産部 銘柄米開発研究室 (現 岩手県東南広域振興局) 旧 農産部 水稻育種研究室(退職)
要報	北上市在来サトイモ‘二子いも’組織培養苗を遅植えした場合の生育特性	阿 部 弘 阿 部 潤	旧 農産部 応用生物工学研究室 (現 企画管理部 研究企画室) 旧 農産部 応用生物工学研究室 (現 岩手県立農業大学校)
	北上市在来サトイモ‘二子いも’組織培養苗に由来する種芋の貯蔵性	阿 部 弘 山 田 修 阿 部 潤 作 山 一 夫	旧 農産部 応用生物工学研究室 (現 企画管理部 研究企画室) 旧 園芸畑作部 野菜畑作研究室 (現 県農産園芸課) 旧 農産部 応用生物工学研究室 (現 岩手県立農業大学校) 旧 園芸畑作部 野菜畑作研究室 (現 中央農業改良普及センター)
資料	岩手県における雑穀研究のあゆみとその考察	仲 條 眞 介	県北農業研究所 作物研究室
	リンゴを加害するハダニ類の発生動向と殺ダニ剤の変遷	鈴 木 敏 男	前 環境部 病理昆虫研究室 (現 県北農業研究所)

4 学会等研究報告

(1) 学術論文(専門家の査読を受け、掲載された論文)

日本菌学会

○Syuuichi Nekoduka, Kazuaki Tanaka^{*1}, Yukio Harada^{*1}, Teruo Sano^{*1}(2010).

*1 Faculty of Agriculture & Life Science, Hirosaki University

Phylogenetic affinity of *Mycochaetophora gentianae*, the causal fungus of brown leaf spot on gentian (*Gentiana triflora*), to *Pseudocercospora*-like hyphomycetes in Helotiales.

Mycoscience. 51: 2010.(2):123-133.

園芸学会

○阿部 弘・阿部 潤^{*1}(2009).

北上市在来サトイモ‘二子いも’組織培養苗の栽培特性とその経年推移.

園芸学研究.8: 281-290.

*1 県立農大

日本植物病理学会

○猫塚 修一・羽田 厚・岩館 康哉・石黒 潔^{*1}(2009).

流行盛期のリンゴ斑点落葉病の発病程度に関するコホート内症例対照研究.

日本植物病理学会報.75: 314-322

*1 農研機構中央農総研

北日本病害虫研究会

○猫塚 修一(2009)

リンゴすす斑病に対する8月下旬に散布した各種薬剤の残効性.

北日本病害虫研究会報 60:130-134.

○高橋直子^{*1}・猫塚 修一(2009).

籾殻を伝染源としたMBI-D剤耐性菌いもち病菌の育苗期感染.

北日本病害虫研究会報 60: 8-11.

*1 現在一関農業改良普及センター

○横田啓・寺田道一^{*1}・千葉克彦^{*2}・鈴木敏男(2009).

アカスジカスミカメに対する地域一斉防除が有効となる防除時期.

北日本病害虫研究会報 60:155-158.

*1 現在農林水産部農産園芸課、 *2 奥州農業改良普及センター

○岩館康哉・吉田樹史^{*1}・江口武志^{*2}・庄司新一郎^{*3}・高橋達治^{*3}・秋山博志^{*4}・猫塚修一(2009).

ハウレンソウ萎凋病防除におけるガス難透過性フィルム利用によるクロルピクリン錠剤の使用削減.

北日本病害虫研究会報 60:67-72.

*1 現在:仙台市役所、 *2 熊本県農業研究センター生産環境研究所

*3 南海化学工業株式会社、 *4 社団法人日本くん蒸技術協会

○山口貴之・岩館康哉(2009).

ウリ科植物のキュウリホモプシス根腐病に対する台木適正.

北日本病害虫研究会報 60:96-101.

日本農業機械学会東北支部

○伊藤勝浩・及川一也・日影勝幸・鶴田正明^{*1}(2009).

水稻湛水直播機のフロートに装着できる作溝装置の開発.

日本農業機械学会東北支部報. 56: p5-8

*1 元岩手農研セ

東北農業研究センター研究報告(2010.2発行)

- 野中章久*、阿部直行
農薬削減リンゴの価格優位性と普及の可能性－農薬50%削減リンゴ栽培技術の経済評価－
東北農業研究センター研究報告 111: 89-100.
*東北農業研究センター

(2)学会発表(発表要旨)

First ASIAHORCs Joint Symposium (2009.7.18～20開催・名古屋市)

- Hiroshi Hada(2009).
Selection of indicator species on the functional biodiversity at the farm level, related to the different types of pest control.
First ASIAHORCs Joint Symposium Poster Arrangement Abstract:7.

THE 6TH ASIA-PACIFIC CONGRESS OF THE ENTOMOLOGY(APCE 2009)(2009.10.18～22開催・中国北京市)

- Chihoko Sato, Takeshi Hosokawa , Katsuro Tada(2009).
Selection of indicator organisms for functional agrobiodiversity at a landscape level in Japan. 7. Paddy fields in the Tohoku district, northern Japan.
PROCEEDINGS OF THE 6TH ASIA-PACIFIC CONGRESS OF ENTOMOLOGY (APCE 2009):342.
○Hiroshi Hada, Toshio Suzuki(2009).
Selection of indicator species on the functional biodiversity at the cabbage fields in cold district of Japan, related to the different types of pest control.
PROCEEDINGS OF THE 6TH ASIA-PACIFIC CONGRESS OF THE ENTOMOLOGY(APCE 2009):344.

XIIth International Asparagus Symposium (2009.10.29～11.1開催・ペルー国リマ市)

- Takayuki Yamaguchi(2009).
Effects of short-day photoperiod on the growth of Asparagus in autumn.
XII International Asparagus Symposium Abstracts. 60.

園芸学会(平成21年度秋季大会:2009.9.26～28開催・秋田大学 園芸学研究. 8(別2): 2009.9発行)

- 大野 浩・田村 博明(2009).
リンゴわい性台木樹の簡便な樹相診断手法.
園芸学研究 8(別2): 125.
○山口 貴之・高橋 拓也・漆原 昌二(2009).
秋期の低温処理が伏せ込み促成栽培のアスパラガス萌芽に及ぼす影響.
園芸学研究 8(別2): 249.
○高橋 拓也・鈴木 克己*1・安場 健一郎*1・高市 益行*1・星 岳彦*2(2009).
トマト低段密植栽培2次育苗期において補光が生育に与える影響.
園芸学研究 8(別2): 268.
*1 農研機構野菜茶研 *2 東海大
○阿部 弘・阿部 潤*1 (2009).
北上市在来サトイモ'二子いも'における葉齢推移と親芋形状との関係.
園芸学研究 8(別2):501.
*1 県立農大

園芸学会(平成22年度春季大会:2010.3.21~22開催・日本大学 園芸学研究. 9(別1):2010.3発行)

- 山口 貴之・高橋 拓也・漆原 昌二(2010).
低温及び茎葉部の黄化がアスパラガスの休眠性に及ぼす影響
園芸学研究 9(別1):
- 高橋 拓也・鈴木 克己*1・安場 健一郎*1・高市 益行*1 (2010).
トマト低段密植栽培2次育苗期における補光、光質、送風、夜間断水処理が生育に与える影響.
園芸学研究 9(別1):
*1 農研機構野菜茶研
- 藤尾 拓也・佐藤 弘.(2010).
トマトの根域冷却における培養液濃度が果実糖度に及ぼす影響.
園芸学研究 9(別1): 130.
- 佐藤 弘・藤尾 拓也・小田島 雅(2010).
短日処理時の送風処理がイチゴ'さがほのか'夏秋期収量に及ぼす影響.
園芸学研究 9(別1): 348.
- 佐藤 弘・○小田島 雅・稲本 勝彦*1・高橋 龍三*2 (2010).
杉樹皮培地におけるパンジー生育障害の軽減技術に関する研究.
園芸学研究 9(別1): 412.
*1農研機構東北農研 *2葛巻林業(株)

北日本病害虫研究会報(講演要旨)

- 羽田厚・藤澤 巧・藤澤由美子・藤田章宏・熊谷拓哉*1 (2009).
岩手県の近年のナミハダニ発生動向と薬剤抵抗性の発達.
北日本病害虫研究会報 60:297. (講要)
*1 現在農林水産部農業普及技術課
- 阿部信治・横田啓(2009).
岩手県における大豆加害害虫ウコンノメイガの発生地域と防除要否の判断時期.
北日本病害虫研究会報 60:297. (講要)
- 阿部亜希子・齋藤智子*1・赤坂安盛・猫塚修一(2009).
岩手県におけるネギ小菌核病の子のう盤の展開時期と防除時期の検討.
北日本病害虫研究会報 60:287. (講要)
*1 現在:県八幡平農業改良普及センター

北日本病害虫研究発表会(2010.2.17~18開催・仙台市. 北日本病害虫研究会報 61: 印刷中)

- 細川 健・臼井 智彦・多田 勝郎(2010).
斑点米カメムシ類の水田畦畔雑草管理による本田内無防除の一事例.
- 猫塚修一・岩館康哉・千葉賢一*1 (2010).
リンドウの栽培環境要因とこぶ症の発生に関する症例対照研究.
*1 現在大船渡農業改良普及センター
- 加藤清吾・猫塚修一・赤坂安盛(2009).
キクに発生する半身萎ちよう病の病徴と診断法.
- 大友 令史・岩館 康哉・齋藤 真理子(2010).
アカスジカスミカメによる斑点米被害の要因解析.
- 齋藤 真理子・大友 令史・藤澤 由美子(2010).
斑点米カメムシ類の総合防除体系の現地実証.
- 佐藤 千穂子・細川 健・多田 勝郎 (2010).
岩手県の農法が異なる平地水田におけるクモ相.
- 羽田 厚・佐藤美和子(2009).
岩手県におけるハモグリバエ類の発生状況と薬剤効果について.

- 横田 啓・鈴木敏男(2009).
スイートコーンにおけるアワノメイガ防除適期および生物農薬(BT水和剤)の防除効果.
- 岩館康哉(2009).
キュウリホモブシス根腐病に対するクロルピクリンくん蒸剤を用いた深層土壌くん蒸の効果.
- 羽田 厚・○佐藤 美和子(2010).
岩手県におけるハモグリバエ類の発生状況と薬剤効果について.
- 阿部 亜希子・鈴木 敏男・吉田 樹史*1(2010).
アワ初期害虫に対する防虫網等資材による被害低減効果はない.
*1 仙台市経済局農林部

東北雑草研究会(第11回東北雑草研究会:2009.6.26開催. 岩手県農業研究センター)

- 畠山 均.
岩手県における水田除草剤使用の現状と課題
- 臼井 智彦・伊藤 勝浩・大里 達朗*1・多田 勝郎・佐藤 広昭(2009).
水稲栽培における固定式タイン型除草機の除草効果.
東北の雑草. 9: 38-41.
*1 久慈農改善セ

(独)理化学研究所 仁科加速器研究センターセミナー(RIKEN Accelerator Progress Report 2008.42:2009.9発行)

- Shinsuke Nakajo, Satoshi Hasegawa*1, Hiroshi Yoshida, Shoji Urushibara, Akira Abe, Tomoko Abe*2, Nobuhisa Fukunishi*2, Hiromitsu Ryutou*2,3, Yasumi Oshimizu.
Breeding of a new Japanese barnyard millet variety with low amylase content and short-cul, by heavy-ion beam irradiation.
Riken Accelerator Progress Report. 42:288.
*1 Iwate Central Agric. Extent, Cent. *2 RIKEN Nishina Center *3 Kyoto Univ.

日本育種学会(第116回講演会—2009秋季:2009.9.25~26開催・北海道大学 育種学研究. 11(別2): 2009.9発行)

- 神崎 洋之*1・奥山 雄大*2・吉田 健太郎*1・阿部 陽・松村 英生*1・斉藤宏昌*1・曾根 輝雄*3・寺内 良平*1 (2009).
プロトプラスト一過的発現解析によるイネいもち病抵抗性遺伝子Piaの同定.
育種学研究. 11(別2): 45.
*1 (財)岩手生工研セ *2 国立科学博物館・植物 *3 北大院農
- 松村 英生*1・阿部 陽・木内 豊*2・寺内 良平*1 (2009).
イネ品種「C8005」および「蒙古稲」の全ゲノム配列再解析.
育種学研究. 11(別2): 65.
*1 (財)岩手生工研セ *2 農業振興課
- 野々上 慈徳*1・堀 清純*2・小野 望*1・松原 一樹*2・山内 歌子*2・阿部 陽・竹内 善信*3・矢野 昌裕*2 (2009).
水稲品種コシヒカリと日本晴の染色体断片置換系統群の作出.
育種学研究. 11(別2): 73.
*1 農林水産先端技術研究所 *2 生資研 *3 農研機構作物研
- 堀 清純*1・杉本 和彦*1・野々上 慈徳*2・小野 望*2・松原 一樹*1・山内 歌子*1・阿部 陽・竹内 善信*3・矢野 昌裕*1 (2009).
コシヒカリと日本晴の染色体断片置換系統群から見出された穂発芽耐性QTL.
育種学研究. 11(別2): 74.
*1 生資研 *2 農林水産先端技術研究所 *3 農研機構作物研
- 小原 実広*1・阿部 陽・神崎 洋之*1・松村 英生*1・寺内 良平*1 (2009).
根長を指標とした根系が発達したイネ突然変異体の単離.
育種学研究. 11(別2): 286.
*1 (財)岩手生工研セ

日本応用動物昆虫学会(2010.3.26～28開催・千葉大学 講演要旨)

○羽田 厚(2010).

岩手県内数地点のリンゴ園地で採取したナミハダニ個体群の新規殺ダニ剤に対する感受性モニタリング.
第54回日本応用動物昆虫学会大会 平成22年度日本農学会大会分会講演要旨集:27.

日本作物学会(第228回講演会－2009秋季:2009.9.29～30開催・静岡市 日本作物学会紀事. 77)

○及川 あや・尾張 利行・平久保 友美.

雑草ヒエが混入した発酵粗飼料用稲の発酵品質と刈取時期.
日本作物学会紀事. 77(別2):216-217

日本作物学会(第229回講演会－2010春季:2010.3.30～31開催・宇都宮市 日本作物学会紀事. 79)

○荻内 謙吾.

雑穀の湛水処理に対する生育反応の作物間差異.
日本作物学会紀事. 79(別1):印刷中

日本作物学会東北支部(第52回講演会:2009.8.20～21開催・盛岡市 日本作物学会東北支部報.52)

○渡邊麻由子・及川一也(2009).

2007・2008年産ナンブコムギの胚部外皮に発生したピンホール様の裂孔について.
日本作物学会東北支部報第52号:p37-38

○菅原 浩視・及川 あや・阿部 陽・吉田 宏(2009).

水稻品種「つぶゆたか」・「つぶみのり」の栽培特性.
日本作物学会東北支部報. 52: 27-28.

○荻内 謙吾(2009).

キビ(*Panicum miliaceum* L.)の保存条件による外観品質の変化.
日本作物学会東北支部報. 52:45-46.

○仲條 眞介(2009).

ヒエ新品種「ねばりっこ2号」の中胚軸伸長特性とその要因.
日本作物学会東北支部報. 52:55-58.

日本植物病理学会東北部会(2009.9.29～30開催・仙台市 日本植物病理学会報. 76(1))

○猫塚 修一・川村 浩美・千葉 賢一*1・岩館 康哉.

リンドウ苗に発生する斑点症状と苗立枯れとの関連性.
日本植物病理学会報. 76(1):

*1 県大船渡農改普セ

○岩館 康哉・猫塚 修一(2010).

収穫期の穂いもち被害に関するコホート内症例対照研究.
日本植物病理学会報. 76(1): 44.

日本農業機械学会東北支部(研究発表会:2009.8.20～21開催・秋田県大館市 講演要旨:2009.8発行)

○伊藤 勝浩(2009).

水稻湛水直播機のフロートに装着できる作溝装置の開発.
平成21年度農業機械学会東北支部大会研究発表会要旨集:3-6

○高橋 昭喜(2009).

大豆小畦立て播種機の改良点と負担面積.
平成21年度農業機械学会東北支部大会研究発表会要旨集:47-50

日本畜産学会(第111回大会:2009.9.28~29開催 講演要旨:2009.9発行)

○小松 正憲*1・藤森 祐紀*2・佐々木 整輝*3・伊藤 智仁*3・森田 光夫*3・中村 亮一*4・小江 敏明*5・古田 雅子*6・佐藤 洋一・安田 潤平・小島 孝敏*7・高橋 秀彰*7(2009).

ウシ・グレリン受容体遺伝子(GHSR1a)の塩基多型.

第111回日本畜産学会大会講演要旨:41

*1 畜草研 *2 茨城肉用牛研 *3 家畜改良技術研 *4 島根畜技セ *5 鳥取畜試
*6 熊本畜研 *7 農研機構近中四農研

○佐藤 洋一・小松 正憲*1・安田 潤平・佐藤 正寛*1・吉田 力・高橋 秀彰*1(2009).

日本短角種に検出したグレリン受容体遺伝子(GHSR1a)の3塩基欠失変異(DelR242).

第111回日本畜産学会大会講演要旨:41

*1 畜草研

○長谷部 浩行*1・阿部 剛*1・上本 吉伸*1・安田 潤平・渡部 彰*2・万年 英之*3・小林 栄治*1(2009).

日本短角種牛肉における脂肪酸組成関連遺伝子多型の形質への関与.

第111回日本畜産学会大会講演要旨:39

*1 (独)家畜改良セ *2 農研機構東北農研 *3 神戸大

日本畜産学会(第112回大会:2010.3.28~30開催 講演要旨:2010.3発行)

○安田 潤平、佐藤 洋一、阿部 剛*1、長谷部 浩之*1、吉田 力(2010).

日本短角種枝肉脂肪中の脂肪酸組成に影響を与える要因解析.

第112回日本畜産学会大会講演要旨

*1 家畜改良セ

日本土壌肥料学会(2009年京都大会 2009.9.15~17開催・京都市 講演要旨2009.9発行)

○中野 亜弓・小菅 裕明(2009).

野菜類の土壌pH調整による可食部カドミウム濃度低減効果

日本土壌肥料学会講演要旨集第55集:168

○葉上 恒寿*1・高橋 好範*2・佐々木 洋一*2・小菅 裕明(2009).

りんどうの効率的施肥技術の確立

日本土壌肥料学会講演要旨集第55集:141

*1 宮古農改善セ *2 中央農改善セ

○大友 英嗣・高橋 良学*1・大和田 功*2・柳井政史*3(2009).

デジタル土壌養分分析システムの開発

日本土壌肥料学会講演要旨集第55集:30

*1 農林水産省 *2 有限会社イグノス *3 富士平工業株式会社

日本農芸化学会東北支部(第144回大会:2009.10.31開催・盛岡市)

○清水 恒*1・老田 茂*1・仲條 眞介(2009).

ヒエ新品種「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」と在来種「もじゃっぺ」「達磨」の食物繊維・ミネラルの含有量と抗酸化性の比較.

日本農芸化学会東北支部第144回大会講演要旨集. 26

*1 農研機構東北農研

日本養豚学会(第93回大会:2010.3.23~24開催 講演要旨:2010.3発行)

○佐々木 直・吉田 力(2010).

豚の肥育全期間(30~110kg)における玄米添加給与が発育、産肉性に及ぼす影響.

第93回日本養豚学会講演要旨

日本農業情報学会(2009年度年次大会:2009.5.21開催・東京大学弥生講堂)

農業情報学会2009年度年次大会講演要旨集:2009.5発行)

(オーガナイズドセッション講演:セッションA「農場リスク管理と情報通信技術ICT」)

- 前山 薫・松浦 貞彦・南石 晃明*1(2009).
経営主体別にみた生産工程管理の現状と支援システムの有効性.
農業情報学会2009年度年次大会講演要旨集:3-4.
*1 九州大院農

東日本家畜受精卵移植技術研究会(第25回大会,2009.12.9~10開催 研究会報2009.12発行)

- 細川 泰子(2009).
血液検査値を指標とした正常胚率向上のための黒毛和種供胚牛の飼料給与プログラム.
東日本家畜受精卵移植技術研究会報第26号:18-19
- 細川 泰子・川匂 文男*1・米澤 智恵美・吉田 力(2009).
血液検査値を指標とした受胎率向上のための黒毛和種受胚牛の飼料給与プログラム.
東日本家畜受精卵移植技術研究会報第26号:64-65
*1 カワワアニマルクリニック

東北農業試験研究発表会(第52回 2009.8.4開催・山形市)・東北農業研究(第62号.印刷中)

- 昆野 善孝・小川 勝弘・前山 薫・松浦 貞彦・阿部 直行・小田 朋佳*1(2009).
新たなとうもろこしサイレージ生産・供給・給与体系の経営的評価.
*1 大船渡地方振興局
- 阿部 陽・菅原 浩視・高草木 雅人*1・佐々木 力(2009).
飼料用米など非主食用向け水稻多収新品種「つぶゆたか」の育成.
*1 二戸農改善セ
- 菅原 浩視・阿部 陽・高草木 雅人*1・佐々木 力(2009).
飼料用米など非主食用向け水稻多収新品種「つぶみのり」の育成.
*1 二戸農改善セ
- 高橋 司・田村 博明(2009).
岩手県におけるブルーベリーの特性評価と優良品種の選定.
- 大野 浩・田村 博明(2009).
リンゴ花芽の耐凍性と樹勢との関係.
- 小野 浩司・田村 博明(2009).
リンゴわい化栽培における側枝本数がスピードスプレーヤーの薬液散布量等に及ぼす影響.
- 宍戸 貴洋(2009).
野菜の収穫後保管条件と食味の関係.
- 堀間 久己・濱戸 もえぎ*1(2009).
バイオガスプラント由来消化液の飼料作物への利用効果.
*1 八幡平農改善セ
- 佐藤 直人・吉田 力(2009).
週齢に伴う南部かしわ(K)の産肉性と肉質の変化.
- 佐藤 正昭(2009).
促成伏せ込みアスパラガス2年半株養成の定植時期と秋・春の窒素施肥割合.

5 雑誌等掲載

(1) 専門雑誌等

機械化農業

高橋 昭喜(2009).
小畦立て栽培で水田大豆を増収する ～水田ハローを活かし湿害回避
機械化農業. 2009.3月号

伊藤勝浩(2009).
水稲湛水直播機のフロートに装着する作溝装置の開発
機械化農業. 2010.2月号. 12-15

日本植物調節剤研究協会東北支部会報

日影 勝幸(2009).
岩手県における水稲直播栽培雑草防除対策
日本植物調節剤研究協会東北支部会報第44号(2009年3月)

及川一也(2010).
平成21年度東北地域水稲関係除草剤試験中間検討会報告
日本植物調節剤研究協会東北支部会報第45号(2010年3月)

伊藤 信二(2010).
平成21年度雑草防除担当者研修会に参加して
日本植物調節剤研究協会東北支部会報第45号(2010年3月)

佐藤 弘(2010).
試験地紹介 いわて県農業研究センター技術部・南部園芸研究室
日本植物調節剤研究協会東北支部会報第45号(2010年3月)

農業技術大系

《作物編》

伊藤勝浩(2009).
水稲湛水直播機のフロートに装着する作溝装置で苗立ち向上
農業技術体系作物編追録31. 2009年版 技

臼井智彦(2009).
固定タイン型除草機による除草方法－有機栽培への適用事例
農業技術体系作物編追録31. 2009年版 技 522の28の2-6

《果樹編》

畠山 隆幸(2009).
各県育成品種 (8) 黄香
果樹編追録24号:基104の6-104の7

果実日本

高橋 司(2010).
果樹園管理のポイント リンゴ (連載)
果実日本2010Vol.65(1):126-127
果実日本2010Vol.65(2):106-107
果実日本2010Vol.65(3):110-112

小野 浩司(2009).
わい化リンゴの薬液到達性の高い樹形への改善.
実日本2009Vol.64(12):32-36

植物防疫

小野 浩司(2010).
リンゴわい化栽培におけるドリフト低減ノズルを用いたスピードスプレーヤの薬液到達性と病害虫防除効果.
植物防疫(2010) Vol.64(2):41-45

フレッシュフードシステム

宍戸貴洋(2009).
(新しい技術)リンゴの輸出に対応する鮮度保持技術の効果
季刊フレッシュフードシステム. 2009.春:15-17(農流技研会報)

農業と科学

葉上 恒寿(現:宮古農普岩泉サブセ).
肥効調節型肥料を利用したリンドウ株養成期間の低コスト施肥法.
農薬と科学 2009. 11

(2) 月刊農業普及(平成21年4月号～平成22年3月号)

4月号	高橋 司.	季節の農作業 西洋なし
5月号	高橋 昭喜.	農業研究センター試験研究レポート「最大で30%の増収！所得向上に貢献できる大豆の小畦立て播種栽培」
	高橋 司.	季節の農作業 西洋なし
	小野 浩司.	ぶどう品種「サニールージュ」の花穂整形と摘粒
6月号	猫塚 修一.	環境に配慮した農業技術「環境に配慮したリンゴ病害防除技術」
7月号	高橋 司.	季節の農作業 西洋なし
	佐藤 洋一	「育種価+DNA情報」でスーパー種雄牛を！！
8月号	畠山 隆幸.	りんご「黄香」の香りに誘われて
	大友 英嗣.	環境に配慮した農業技術「土壌中養分は“メタボ”になっている！！」
	仲條眞介	特集 雑穀王国・岩手「美味しくて栽培しやすいヒエ新品種 ～新ヒエ3品種の特徴と展望～」
9月号	高橋 司.	季節の農作業 西洋なし
	川戸善徳.	試験研究レポート「県北地域における9～10月出荷用小ギクの栽培体系」
11月号	高橋 司.	季節の農作業 西洋なし
	中里 崇.	親株無加温で8月下旬から出荷できる鉢物用リンドウ「花研鉢2」
	藤尾 拓也.	夏でもイチゴが栽培できます！！
	仲條 眞介.	試験研究レポート「美味しく育てやすい、半もち性短かんヒエ新品種「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」
12月号	菅原 浩視.	農業研究センター試験研究レポート「いわてオリジナル水稲品種の育成」
1月号	斎藤 真理子.	シリーズ「話題の病害虫講座」 アカスジカスミカメ1
2月号	斎藤 真理子.	シリーズ「話題の病害虫講座」 アカスジカスミカメ2
3月号	岩館 康哉.	話題の病害虫講座「キュウリホモプシス根腐病」

(3) 岩手の畜産(平成21年4月号～平成22年3月号)

5月号	堀間久己.	飼料用トウモロコシにおける除草剤(土壌処理)の効果的な処理方法の検討
7月号	佐々木 直.	バークシャー種豚の能力調査成績
9月号	越川志津.	栄養管理のよる泌乳牛の尿量低減効果
11月号	小梨 茂.	今こそ肉用牛の増頭を 一県有種雄牛の活用で良質子牛の生産を一
	藤村 和哉.	黒毛和種在胎日数の現状
1月号	佐藤 洋一.	DNA情報を利用した種雄牛造成
3月号	菊池恭則.	黒毛和種における自然哺乳回数制限が子牛の発育に及ぼす影響

(4) 岩手りんごタイムス(平成21年4月号～平成22年3月号)

4月号	大野 浩.	凍霜害対策について
	畠山 隆幸.	マメコバチの利用について
5月号	猫塚 修一.	斑点落葉病と褐斑病の防除対策
6月号	大野 浩.	樹相診断について
	猫塚 修一.	輪紋病と炭そ病の発生生体と防除対策
7月号	大野 浩.	夏期管理について
	大友 英嗣.	園内の土壌管理について
	大友 英嗣.	欠乏症などによる樹体について
8月号	小野 浩司.	早生品種の管理について
	羽田 厚.	枝幹害虫の防除について
9月号	高橋 司.	黄香の収穫の予測と収穫前管理について
12月号	小野 浩司.	湿害対策について
	高橋 司.	改植の進め方について
1月号	畠山 均.	年頭に当たり
	高橋 司.	せん定について
	羽田 厚.	平成21年度病害虫防除指針の主な改正点

(5) その他の雑誌等

現代農業

藤沢 巧. 農家が教える農薬に頼らない病害虫防除ハンドブック 10月号

グリーンレポート

及川一也(2009). 水田大豆の増収を図る小畦立て播種 グリーンレポート第479号(平成21年5月)
荻内謙吾. 「ナンブコムギ」の冬期播種栽培における窒素施肥法. グリーンレポート第484号(平成21年10月)
葉上 恒寿(2009)(現:宮古農普岩泉サブセ). 肥効調節型肥料を利用したリンドウ株養成期間の低コスト施肥法. グリーンレポート第489号(平成22年3月)

温暖化ネット(全国農業改良普及支援協会によるWEB情報)

佐藤 弘. 主枝更新処理による夏秋トマトの秋期増収 温暖化ネットHP. 平成22年3月より公開

養牛の友

藤村 和哉. 岩手県における黒毛和種の妊娠期間 養牛の友 11月号

特産種苗

仲條真介

岩手県における雑穀品種選定試験の歩みと品種育成.

特産種苗 平成21年4月. p4-8.

J-Millet通信

作物研究室(県北農業研究所)

低アミロース短稈ヒエ新品種を育成

J-Millet通信 平成21年4月

6 新聞等掲載

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
プロジェクト推進室			
水田農業			
	低コスト稲作に期待 北上で直播技術講習会	毎日新聞	H21.5.2
	水稲直播装置、知事が体験 県農研センターで講習会 生産者と意見交換	岩手日報	H21.5.2
	作溝同時直播装置 知事が田植え実演 北上で技術講習会	岩手日日	H21.5.2
	水稲直播の普及支援を 生産者と達増知事が意見交換	岩手日日	H21.5.4
	播種と作溝同時に 盛岡普及センターが装置実演 入排水均一で速く低コスト稲作 移植並み収量めざす	日本農業新聞	H21.5.17
	飼料用米 生産拡大へ栽培視察 北上・農研センター 低コスト事例紹介も	岩手日日	H21.9.16
	大豆栽培時の雑草除去学ぶ 北上で検討会	岩手日報	H22.2.6
	水稲直播 収量安定技術に理解 北上でセミナー	岩手日日	H22.2.7
特裁・有機			
	有機稲作推進の一助に 一関 大東で機械除草実演会	岩手日日	H21.6.12
	有機栽培田の機械除草開発 3～5回で90%まで	日本農業新聞	H21.6.12
	95%の収量を確保 タイン型の水田除草機 今年からほ場で実証試験開始	農機新聞	H21.6.23
	水稲有機栽培の除草法開発	河北新報	H21.7.1
企画管理部			
農業経営研究室			
	3年目で省力効果 雑草抑えるイブキジャコウソウ 2年目から経費も減 栽培マニュアルを公表	岩手日日	H21.4.16
	のり面を整備 憩いの空間に	岩手日報	21.06.17
	環境美化、保全に期待 市道のり面へ植栽	岩手日日	21.06.17
	奮闘 集落営農組織の現状	農村ニュース	H21.8.24
	草刈り楽なのり面高さ 負担軽い1.1～1.6メートル 岩手	日本農業新聞	H22.3.12
	水田のり面に地被植物 防草シート使い省力化 数年の雑草刈り不要に 岩手県農研センター	日本農業新聞	H23.3.21
	雑草抑制のイブキジャコウソウ 生分解性シート活用で省力管理 のり面に有効 県農業研究センター・北上	岩手日日	H23.3.29
研究企画室			
	告知板 一日子供農業研究員夏休み蚕の飼育体験	岩手日報	H21.7.7
	蚕は柔らかく かわいい 北上・県農研センターで体験	岩手日報	H21.8.5
	蚕観察、じっくり 北上の県農業研セ 児童が一日研究員	岩手日日	H21.8.5
	参観日に成果公開 県農業研究センター3施設 北上は来月4、5日 染色体験や展示も	岩手日日	H21.8.22
	農研センター カイコってなあに？	NOSAI岩手中部	H21.9.1
	参観日セミナー「土づくり」主題 4日に県農研センター・北上	岩手日日	H21.9.1
	岩手県農業研究センター参観デー	マシェリ	H21.9.3
	インフォメーション 楽しいイベントが盛りだくさん！「岩手県農業研究センター参観デー2009」開催	岩手日日	H21.9.5
	野菜・果物栽培 最新技術に関心 北上・県農研センター参観 食・体験に幅広く	岩手日日	H21.9.5
	楽しめる食のイベントも 北上の県農業研究センター きょうまで参観デー	岩手日報	H21.9.5
	農の生け花が人気 岩手県農研センター参観デー	日本農業新聞	H21.9.6
総務課			
	交通安全の意識誓約書で高める 北上・県農研センター	岩手日報	H21.8.15
	安全運転職場から 県農業研究センター職員ら 85人分誓約書 北上署に提出	岩手日日	H21.8.15
○農業科学博物館			
	農村文化映像で 科学週間の企画展	岩手日日	H21.4.15
	ふれあい公園だよりを発行	岩手日日	H21.4.17
	運搬方法いろいろ「昭和」の用具を紹介 農業科学博物館 6月まで企画展	岩手日日	H21.4.22
	告知板「親子で体験!棚田で田植え」参加者募集	岩手日報	H21.5.23
	棚田で田植え体験 参加親子募る	岩手日日	H21.5.27
	7月に「赤富士」見ごろ 北上・県農研センター職員 棚田でお絵かき田植え	岩手日日	H21.5.30
	農業の喜び体感 北上市内 児童ら田植え	岩手日日	H21.6.1

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
	秋が楽しみ 親子で田植え 北上	岩手日報	H21.6.1
	「雑穀」歴史・文化多角的に 9月まで企画展 本県開発3品種も紹介 県農業科学博物館・北上	岩手日日	H21.7.9
	純鬼くんくつきり 田んぼアート見ごろ 北上・県農研	岩手日報	H21.7.22
	鬼さん笑った 田んぼアート鮮やか 北上・飯豊の公園	岩手日日	H21.8.13
	企画展「岩手の雑穀栽培」 来月30日まで農業科学博物館 北上	岩手日日	H21.8.14
	ぶらり公共交通機関の旅 岩手県交通路線バスで行く 農業ふれあい公園	広報きたかみ	H21.8.23
	4色の稲で田んぼアート 北上の農業ふれあい公園 観賞用品種で浮かび上がり	毎日新聞	H21.8.31
	出来秋に笑顔 稲刈りと脱穀を体験	岩手日日	H21.10.19
	松飾りを手作り 北上 親子ら仲良く体験	岩手日日	H21.12.28
技術部			
	作物研究室		
	未来の仕事人 県農業研究センター専門研究員及川あやさん ひどめぼれ超す米作りを	毎日新聞	H21.5.14
	ニュースの核心 稲わらからバイオエタノール 農家生き残り活路 休耕田対策に光もコスト削減課題	毎日新聞	H21.5.17
	多収水稻2品種 飼料用やバイオエタノール利用拡大に期待 県開発のオリジナル 栽培が本格化	岩手日日	H21.5.23
	飼料用米作付け急増 県内本年度100ヘクタール拡大 高い需要追い風に 価格、コストが課題	岩手日報	H21.6.4
	北上・稲作技術会議 品質向上へ対策確認 いもち病防除呼び掛け	岩手日日	H21.7.7
	雑穀(5) 在来種を引き継ぐ 歴史に本物のブランド価値 在来調査は貴重な財産	盛岡タイムス	21.08.01
	遺伝子解析で水稻開発 本県2研究センター 県内初の手法活用 期間短縮、応用も期待	岩手日報	H21.8.12
	飼料用米 生産拡大へ栽培視察 北上・農研センター 低コスト事例紹介も	岩手日日	21.09.16
	ササニシキにもち米 県販売の原種に混入 損害賠償の方針	岩手日報	H21.9.16
	県、新ブランド米開発へ DNA解析活用 最高の食味目指す 3年めどに栽培技術確立	岩手日報	H21.10.4
	県産技センター 共同で稲新品種育成 農研機構(岩手)と研究契約	陸奥新報	H21.11.25
	非主食用米を共同研究 県農業研究センターなど 多収量、耐寒性向上目指す	岩手日報	H21.11.25
	目標は反収900 ^{キログラム} 。岩手と青森が共同研究 飼料米の多収量品種開発へ	盛岡タイムス	H21.11.25
	飼料用多収稲を共同研究 県産業技術センター-東北農研センター(盛岡)-岩手県 単収900 ^{キログラム} 以上目指す	東奥日報	H21.11.25
	多収米を共同研究 東北農研、岩手・青森両県が契約 13年までに新品種開発	河北新報	H21.11.25
	多収稲共同開発へ 青森・岩手・農研機構 10アール目標900 ^{キログラム} 。5年をめどに	日本農業新聞	H21.11.25
	農研機構と青森、岩手両県の研究機関 非主食用米共同開発へ 5年で耐寒、多収の新品種	デーリー東北	H21.11.25
	岩手、青森両県農研センター 多収稲米を共同開発 飼料、米粉用北東北向け 既存種の2割増目標	毎日新聞	H21.11.30
	多収稲品種開発へ 県と東北農研センター共同研究で契約結ぶ	岩手日日	H21.11.30
	ゆきおとめ召し上げられ 冷めてもうんめ〜県オリジナル米 山田町の水産加工業・木村商店 すしやおにぎり販売きょうから	岩手日報	H21.12.10
	園芸研究室		
	リンゴ剪定枝を活用 北上・県農業研究センターが成果 ブルーベリー収量増 廃棄物利用で一石二鳥 チップで根元覆う	岩手日報	H21.4.25
	廃物利用、在来種活用…、農業に工夫 ブルーベリー収穫が5割増 農業研究センター実験 土壌にリンゴ剪定枝チップ	毎日新聞	H21.4.25
	ブルーベリー栽培 初期生育に効果 リンゴ剪定枝活用で	岩手日日	H21.4.25
	ブルーベリー栽培のマルチ リンゴせん定枝が有効 初期収量2倍に	日本農業新聞	H21.4.29
	リンゴ受粉樹2品種有望 岩手県農研センターが試験 単植化で作業しやすく 結実率15%向上	日本農業新聞	H21.5.6
	受粉専用品種導入で リンゴ結実向上 単植化可能に 栽培法普及へ	岩手日日	H21.5.12
	リンゴ受粉専用品種を樹間移植し結実安定 単植化で効率作業にも期待	農業共済	H21.6.10
	むらなく散布 リンゴ 1.7メートル以下主枝4本に	日本農業新聞	H21.8.6
	コンテナ培地に杉皮 リンドウ省力化 岩手県農研センター	日本農業新聞	H21.9.5
	規格統一へ新技術 ブドウ品種サニールージュ 房整形、摘粒効果的に 県農研センター・北上	岩手日日	H21.9.11
	ピンク色のリンドウ開発 県農業研究センター	毎日新聞	H21.9.19
	桃色リンドウ 早咲きに 県農業研究センター(北上)が鉢物開発 生産コスト減に期待 来年から苗の供給開始	岩手日報	H21.9.19
	鉢物用ピンク色リンドウ 低コストの新品種 北上・県農研センターが育成 野外でも管理可能 11年以降市場に	岩手日日	H21.9.20

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日	
	無加温でも早咲き 鉢物リンドウ 岩手県が新品種	河北新報	H21.9.23	
	スイカの蔓にユウガオの実	毎日新聞	H21.9.25	
	ブドウ新品種「サニールージュ」Lサイズを安定生産 房の整形技術を確立 需要動向に対応 栽培拡大へ弾み 北上の県農業研究センター	岩手日報	H21.9.28	
	収量増へ技術開発を アスパラ研究小集会 早期出荷の作型研究	日本農業新聞	H21.9.30	
	異常気象?小粋な演出?一関“美白”のニンジン 花泉・高橋さん方/ミョウガに真っ赤な実 真柴・齋藤さん方	岩手日日	H21.10.9	
	(人)早咲きの鉢物ピンクリンドウを開発した県農業研究センターの専門研究員 中里 崇さん 北田さん(盛岡)最高賞 純情りんごコンテスト	岩手日報	H21.10.17	
	台風被害乗り越え 着色、糖度とも上々 ー北上ー いわて純情りんごコンテスト	岩手日日	H21.10.23	
	純情りんごコン総合の部 江刺部会が最優秀賞 北上で審査 全体的に高レベル	岩手日日	H21.11.27	
	果樹の振興へ品種検討会◇北上市◇	農業共済	H21.12.9	
	「夢」の道筋伝える 中里さん(県農研センター)、母校で授業 花巻農高	岩手日日	H22.2.9	
	リンドウ新品種の愛称募集	河北新報	H22.3.12	
	リンドウ新品種愛称募集	毎日新聞	H22.3.15	
	新品種リンドウ 県が愛称募集	岩手日日	H22.3.16	
	南部園芸研究室			
	パンジー鉢上げ 用土に杉樹皮 資材費3割減	日本農業新聞	H21.5.29	
	杉樹皮で鉢上げ用土 県南部園芸研究室 秋出しパンジーに最適	東海新報	H21.5.29	
	四季なりイチゴ「エッチェス-138」 摘果で夏秋どり増 国産少なく収益アップ	日本農業新聞	H21.6.10	
	スギ樹皮 花の培土に 黒土の配合割合工夫 農家の生産費低減図る	岩手日報	H21.6.11	
	いちご年内どり増収 夜冷短日処理+連日追肥 所得2.6倍に 中休み無く連続収穫	日本農業新聞	H21.7.27	
	「夏秋どりイチゴ」普及へ 県北・沿岸振興で増収技術実証 県南部園芸研究室	東海新報	H21.8.11	
イチゴ産地化後押し 効果的な栽培法公開 陸前高田の農研センター	岩手日報	H21.9.10		
高設イチゴ低コスト装置 10㎡300万円染々管理 岩手県農業研究センター 排液なしの底面吸水 肥効調節型を一発で	日本農業新聞	H22.1.21		
環境部				
生産環境研究室				
旬の野菜を消費者に! 農産物の傷みを防ぐ工夫 温度管理、包装資材の開発など ~野菜の鮮度等に関する研究の取り組み~	聖教新聞	H21.4.14		
独自システムを開発 土壌分析 コスト大幅削減 検査時間も短縮 県と企業が連携 今秋にも市販化	岩手日日	H21.5.4		
レタスの鮮度、品質「判定」糖と硝酸イオン含量 簡易測定可能に 北上・県農研センター	岩手日日	H21.6.3		
県内の水田、畑 北上・県農業研究センター土壌調査 リン酸、カリウムが過剰 適切施肥でコスト削減も 1979年から29年間追跡	岩手日日	H21.6.10		
土壌分析 低コストで 県と北上の企業 簡易システム開発 10月県内発売	岩手日報	H21.7.23		
シートシート作成	日本農業新聞	H21.7.23		
土壌分析 素早く 岩手県農業研究センターなど簡易装置開発 効率施肥を実現	日本農業新聞	H21.7.23		
農家自ら土壌分析が可能 簡単・早く・低コスト 1圃場当たり400円で結果まで3,4時間	農業共済	H21.10.20		
病理昆虫研究室				
リンドウこぶ症 畦畔際から距離を 明きよで防止 岩手県農研センター	日本農業新聞	H21.5.8		
大豆紫斑病 耐性菌に新防除 県農研センター(北上)が実証 薬剤9種 適期散布を促す	岩手日日	H21.8.12		
リンゴすす斑病 ストロビリン系薬剤 8月散布で感染減 岩手県農研センター 9月防除削減へ	日本農業新聞	H21.8.28		
リンドウ褐斑病 病害根絶へ大きな力 北上・県農業研究センター猫塚主任専門研究員 派生メカニズム解明 薬剤散布の適期を導く	岩手日報夕刊	H22.3.17		
リンドウ褐斑病伝染源が判明 新種の糸状菌、枯れ葉に潜み越冬 梅雨期薬剤で防除 北上・県農業研究センター 研究の猫塚さんに農学博士 国内初「成果、生産現場に」	岩手日日	H23.3.22		
岩手県農研センター リンドウ褐斑病感染解明 株元防除が鍵	日本農業新聞	H23.3.26		
(人)病害研究で博士号を取得した県農業研究センター主任専門研究員 猫塚修一さん	岩手日報人	H23.3.29		
病害虫防除部				
病害虫防除課				
なし				

部所名	記事見出し(内容)	掲載紙名	掲載年月日
畜産研究所			
家畜育種研究室			
	牛の受精卵移植 受胎率向上へ期待 県農業研究センター畜産研究所 血液成分の適正値 解明	岩手日報	H21.7.17
	FOOD ACTION NIPPON プロダクト部門最優秀賞 国産飼料にこだわる「いわて純情プレミ アム短角牛」の普及に尽力	週刊ダイヤモンド	H22.1.30
家畜飼養・飼料研究室			
	自動で種まき 作業を短縮 普代で県農業研究センター「不耕起」を実演	岩手日報	H21.5.22
県北農業研究所			
園芸研究室			
	ホウレンソウ、ナス、ピーマン… 土壌消毒に難透過性フィルム クロピク錠削減効果	日本農業新聞	H21.7.7
	薬剤以外の防除探せ ホウレンソウケナガコナダニ 新葉や芽加害 2、3作目まで軽減 トゲ ダニ類が有望	日本農業新聞	H22.2.23
作物研究室			
	鶏ふんで大豆の肥料費節減	河北新報	H21.4.19
	鶏ふん肥料 環境配慮の大豆栽培 化学肥料と同量、価格4割安 県北農業研究所が開発	毎日新聞	H21.4.20
	雑穀 連作障害に備える 2年3毛作の輪作見直す 雑草抑え除草負担軽く	盛岡タイムス	H21.5.29
	雑穀ブランド確立へ 軽米で公開セミナー 生産技術など紹介	岩手日報	H21.6.20
	雑穀 在来種を引き継ぐ 歴史に本物のブランド価値 在来調査は貴重な財産	盛岡タイムス	H21.8.1
	地域食支え魅力新た 長年かけ栽培技術発展 高まる注目普及さらに	岩手日報	H21.9.13
	ヒエ新品種「ねばりっこ1号」使用 軽米・観音林小 雑穀パン給食で試食	デーリー東北	H21.10.18
	雑穀振興に意欲高める 二戸市で大会 生産者ら表彰	岩手日報	H22.1.27
	生物農薬防除で アワ収量3割増 間引き労力 大幅減 岩手県農研センター県北農業研究 所	日本農業新聞	H22.1.27
	とうほく食材の泉 もじゃっぺ 粘りあり食味のよいヒエ	河北新報	H22.1.30
	キビ、アワ ロス3分の1に 改良デバイダ威力 成熟期見極めて 岩手県農研センター県北 農業研究所	日本農業新聞	H22.2.6

7 テレビ・ラジオ放送

(1) テレビ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
プロジェクト推進室		IBCニュースエコー 「いわて直播栽培米研究会による播種技術講習会」	岩手放送	21.5.1
プロジェクト推進室		作溝同時播種装置	NHK盛岡放送局	21.5.7
環境部	宍戸貴洋	NHKおぼんですいわて 「レタス体内成分簡易測定法」	NHK盛岡放送局	21.5.27
技術部 企画管理部		マイタウン北上 「親子で体験！棚田で田植え」	北上ケーブルテレビ	21.6.6～8
企画管理部		マイタウン北上 「一日子供農業研究員」	北上ケーブルテレビ	21.8.4
企画管理部	参加者	IBC「ひるなび」 「一日子供農業研究員」	岩手放送	21.8.5
企画管理部	小田原和弘	マイタウン北上 「岩手県農業研究センター本部参観デー」	北上ケーブルテレビ	21.8.24
		ニュースプラス1いわて 「岩手県農業研究センター本部参観デー」	テレビ岩手	21.9.4
技術部	宮下慶一郎	NHKおぼんですいわて 「青森、岩手、東北農研飼料イネ育種共同研究」	NHK盛岡放送局	21.11.24
技術部	宮下慶一郎	IBCニュースエコー 「青森、岩手、東北農研飼料イネ育種共同研究」	岩手放送	21.11.24
環境部	猫塚修一	花の病害部門で県人初の農学博士を取得	岩手めんこいテレビ	H22.3.24
県北農業研究所	仲條眞介	ヒエ新品種を用いた雑穀パンの試食会（「カシオペア☆ワンダーグラウンド」内）	カシオペアFM	H21.11.2
県北農業研究所	仲條眞介	ヒエ新品種について（「おぼんですいわて」内）	NHK盛岡放送局	H21.11.5
県北農業研究所	仲條眞介	ヒエ新品種について（「全国ニュース」内）	全国への再放送	H21.11.8

(注) イベント開催のニュース等は対象外

(2) ラジオ

部所名	出演者氏名	内 容	放送局名	放送年月日
		該当なし		

(注) イベント開催のニュース等は対象外

8 指導資料等掲載

部所・研究室名	執筆者 氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月	
プロジェクト推進室	高橋 昭喜	大豆の小畦立て播種栽培技術	畑作物指導指針	22.03	
	伊藤勝浩	適期収穫と乾燥調製	稲作指導指針	22.03	
	及川 一也	乾燥・調製	いわて純情米品質・食味向上の手引き	22.03	
企画管理部 農業経営	松浦貞彦	生産技術体系	野菜栽培技術指針	22.3	
	松浦貞彦	生産技術体系	花き栽培技術指針	22.3	
	豊坂光弘	水田農業における排水対策	畑作物指導指針	22.3	
技術部 作物	林尻 雄大	水田雑草防除及び水稲用成長調整剤使用指針	岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	22.3	
	小綿 寿志 伊藤 信二	畑作物雑草防除指針	岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	22.3	
	佐々木力 菅原浩規 林尻雄大 阿部陽 及川あや	品質食味向上技術 奨励品種の特徴と栽培法 効果的な除草体系 奨励品種の特徴と栽培法 健苗育成、適期移植と移植後の適正な水管理	稲作指導指針 稲作指導指針 稲作指導指針 稲作指導指針 稲作指導指針	22.3 22.3 22.3 22.3 22.3	
	小綿寿志 伊藤信二	栽培の要点(病虫害除く麦類) 栽培の要点(病虫害・小畦立て播種栽培技術マニュアル(抜粋)除く豆類)	畑作物指導指針 畑作物指導指針	22.3 22.3	
	林尻雄大	10年産米づくり準備企画シリーズ②、③	日本農業新聞	22.1.20, 22.2.19	
	(特定課題(米の食味向上)調査検討チーム編)	佐々木力		(新版)いわて純情米品質・食味向上の手引き	22.2
		及川あや		(新版)いわて純情米品質・食味向上の手引き	22.2
	園芸	大野 浩 島山 隆幸	果樹雑草防除及び果樹用成長調整剤使用指針	岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	22.3
		山口 貴之	野菜雑草防除及び野菜用成長調整剤使用指針	岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	22.3
		川村 浩美 赤坂 志保	花き雑草防除及び花き用成長調整剤使用指針	岩手県農作物病虫害・雑草防除指針	22.3
		高橋 拓也	品目別栽培技術指針 トマト	野菜栽培技術指針	22.3
		山口 貴之	品目別栽培技術指針 きゅうり	野菜栽培技術指針	22.3

部所・研究室名	執筆者氏名	タイトル	掲載資料名	発行年月
南部園芸	小野 浩司	Ⅱ. 農薬の効率摘散布のための基礎技術 (3) 薬液付着性の良い樹形を作るための樹冠評価法 2) 繁茂指数法	リンゴとモモ、リンゴとセイヨウナシ複合経営における農薬の効率摘散布技術マニュアル((独)農研機構東北農業研究センター及び果樹研究所)	22.2
	小野 浩司	Ⅲ. 農薬の効率的散布のための実用技術 (1) 薬液到達性を向上させる整枝剪定技術 1) リンゴ樹における薬液到達性の良い樹形改善		22.2
	小野 浩司	V 環境にやさしい技術導入による安全・安心の確保 優量事例14 りんご剪定枝チップによるブルーベリー園のマルチ	果樹農業の発展を支援する新技術導入・経営改善の手引き((財)中央果実生産出荷安定基金協会)	22.3
	藤尾 拓也	品目別栽培技術指針 いちご	野菜栽培技術指針	
環境部				
生産環境	鈴木 良則	野菜畑の土づくり 野菜栽培における施肥管理 転換畑等における排水対策	野菜栽培技術指針	22.3
	宍戸 貴洋	分析・診断技術 野菜の鮮度保持	野菜栽培技術指針	22.3
	高橋綾子 小菅裕明	土壌・施肥管理	稲作指導指針	22.3
	高橋綾子 小菅裕明	土壌・施肥管理	いわて純情米品質・食味向上の手引き	22.3
病理昆虫	猫塚 修一 羽田 厚 横田 啓 洞口 博昭 岩館 康哉	防除指導資料(病害虫・鳥獣害防除・資材消費、展着材の利用)	岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	22.3
	横田 啓 洞口 博昭	主要病害の防除、主要害虫の防除、生物農薬	稲作指導指針	22.3
	横田 啓 岩館 康哉	麦類病害の防除、豆類病害虫の防除	畑作指導指針	22.3
	岩館 康哉 羽田 厚	近年問題となっている病害虫、分析・診断マニュアル(トマト萎ちょう性病害)	野菜栽培技術指針	22.3
	横田 啓 洞口 博昭 岩館 康哉	水稻、小麦、大豆の採種ほ基本防除体系	主要農作物採種ほ病害虫基本防除体系	22.3
病害虫防除部				
病害虫防除課	佐藤 美和子	農薬安全使用指針	岩手県農作物病害虫・雑草防除指針	22.03
畜産研究所				
家畜飼養・飼料	多田 和幸	改訂 岩手県牧草種子播種基準	草地対策関係事業設計歩掛基準	15.07
家畜飼養・飼料	尾張 利行 多田 和幸	飼料作物生産利用指針の全部改定	資料作物生産利用指針	22.03

9 図書資料収集・提供

項目	冊数・人数
総蔵書数	67,744 冊
平成21年度収集図書数	377 冊
図書室利用者数(延べ)	318 名
同貸し出し冊数	511 冊

※数値はいずれもセンター本部のみ

10 ホームページ

項目		件数	内訳
入力件数	研究レポート	60	平成20～21年度発行分
	試験研究成果	8	平成21年度試験研究成果書
	研究報告類	123	研究報告第9・10号、旧畜産試験場・蚕業試験場研究報告、他
	らぼ・れたあ	90	No. 1～87(研究トピックス)
	行事予定	8	参観デー、現地ふれあい農研センター、他
	各種資料	48	外部評価結果、平成20年度年報
	農業科学博物館	27	企画展第41回～第43回、棚田日記、他
	その他	21	一日子供農業研究員、英語版サイト、月別アクセス状況、組織紹介、他
アクセス件数	トップページ	57,308	平成21年度分
	総ページビュー	2,878,528	平成21年度分

指導・啓発活動

1 技術伝達研修等への対応

担 当 部 所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
プロジェクト推進室	21.05.01	農業研究センター	直播栽培米研究会講習会	100名
	21.06.23	農業研究センター 奥州市等	直播栽培現地巡回 直播技術の安定化をはかるための現場課題とその対 水田輪作の確立に向けた営農技術の方向	45名
	22.02.05	農業研究センター 大会議室	平成21年度 水田営農を元気にする新技術等普及戦略検討会	250名
技術部 園芸 南部園芸 環境部 病理昆虫	22.01.18	農業研究センター 大会議室	平成21年度 新技術普及活動検討会(果樹部門)	31名
技術部 園芸 環境部 生産環境 病理昆虫 病害虫防除部 病害虫防除課	22.01.19	農業研究センター 大会議室	平成21年度 新技術普及活動検討会(野菜部門)	36名
技術部 園芸 環境部 生産環境 病理昆虫 病害虫防除部 病害虫防除課	22.01.19	農業研究センター 中会議室	平成21年度 新技術普及活動検討会(花き部門)	26名
畜産研究所 家畜育種 家畜飼養・飼料 外山畜産 種山畜産	22.01.26	畜産研究所	平成21年度 新技術普及活動検討会(畜産部門)	40名
企画管理部 農業経営	22.02.19	農業研究センター 中会議室	平成21年度 新技術・普及活動検討会(経営部門)	13名
	22.03.09	県庁5階会議室	平成21年度農業研究センター(農業土木部門)の試験 研究成果発表会	18名

担 当 部 所	開催期日	開催場所	内 容	参集人員
技術部 園芸 環境部 生産環境	21.05.18 ～20 21.06.29 ～07.01	農業研究センター内	農業普及員2年目研修	2名
県北農業研究所	21.6.19	県北農業研究所	公開技術セミナー ・いわて雑穀生産・販売戦略について ・県北農業研究所における雑穀研究の経過と今後の展 ・圃場見学(乗用管理機による早期培土の実演)	65名
	21.9.2	県北農業研究所	県北農業研究所参観デー「雑穀セミナー」 ・畑雑穀(アワ、キビ)における機械化栽培技術 ・雑穀害虫の発生生態と環境に優しい防除技術 ・圃場見学(機械除草の実例、収穫適期の見分け方)	80名
	22.3.5	二戸地方振興局	半もちヒエ新品種「ねばりっこ2号」の試食会	52名

※農業研究センターが主催した研修等および新技術普及活動検討会

2 現地指導・研修会等への講師派遣

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
プロジェクト推進室				
伊藤勝浩 日影勝幸	直播栽培米研究会講習会	H21.5.1	いわて直播栽培米研究会	農研センター
及川一也	豆腐流通協議会研修	H21.5.12	豆腐流通協議会	花巻市湯口
多田 勝郎 細川 健	いわて生協交流会	H21.6.14	いわて生協	花巻市成田
及川一也 高橋昭喜	小麦現地検討会	H21.6.17	農産園芸課	紫波町・花巻市 石鳥谷
及川一也 伊藤勝浩 日影勝幸	水稻直播栽培現地検討会	H21.6.23	農産園芸課	奥州市江刺区
及川一也	大豆300A播種実演会	H21.6.19	(株)クボタ	岩手町
多田 勝郎 佐藤千穂子	いわて生協交流会	H21.7.4	いわて生協	江刺市稲瀬
及川 一也	いわてアグリフロンティアスクール非常勤講師 「フロンティア特論 新しい生産安定技術」	H21.7.22	岩手大学	農研センター
及川一也	大豆300A技術現地検討会	H21.7.22	(株)クボタ	北上市・奥州市
及川 一也	いわてアグリフロンティアスクール非常勤講師 「フロンティア特論 水田汎用化と転換畑作」	H21.9.30	岩手大学	岩手大学
多田 勝郎	いわてアグリフロンティアスクール非常勤講師	H21.10.20	岩手大学	岩手大学
及川一也	農研機構シンポジウム「新しい東北の水田農業を切りひらく」	H21.11.24	(独)農研機構東北農業研究センター	盛岡市
及川一也 伊藤勝浩 日影勝幸	JA岩手中央直播研究会実績検討会	H21.11.27	JA岩手中央	紫波町
高橋昭喜	大豆300A技術等普及推進大会	H21.12.14	東北農政局	仙台市
及川一也 伊藤勝浩 日影勝幸	一関市遊水地協議会研修会	H21.12.16	一関市遊水地協議会	一関市
及川 一也	担い手プロ成果発表会	H21.12.18	(独)農研機構東北農業研究センター	さいたま市
及川一也	農業問題研究会	H22.1.21	佐藤政行種苗	花巻市
伊藤勝浩	久慈地方水稻直播栽培実証成績検討会	H22.1.21	久慈農業改良普及センター	久慈市
及川一也	大潟村技術研修会	H22.3.4	大潟村カントリー公社	大潟村
及川一也 高橋昭喜	農研機構シンポジウム	H22.3.15	(独)農研機構中央農業総合研究センター	東京都
及川一也	奥州農業塾	H22.3.18	奥州市認定農業者協議会	奥州市水沢
及川一也 渡邊麻由子	大豆栽培技術研修会	H22.3.24	(株)平川食品	盛岡市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
企画管理部				
農業経営研究室				
前山 薫	いわてアグリフロンティアスクール「集落型経営体の管理」	21.09.09	岩手大学	岩手大学
前山 薫	集落営農組織における経営多角化の方向	21.11.11	JAいわて中央	ホテルトロポリタン
前山 薫	GAP事例研修会	21.12.9	農業普及技術課	江刺農業活性化センター
昆野 善孝	集落営農組織の課題と今後の展開方向	22.01.21	岩手県農協中央会	つなぎ温泉
昆野 善孝 前山 薫 松浦 貞彦 阿部 直行	平成21年度新技術・普及活動検討会(経営部門)	22.02.19	中央農業改良普及センター	農業研究センター
豊坂 光弘 土澤 一博	平成21年度農業研究センター(農業土木部門)の試験研究成果発表会	22.03.09	農村計画課	県庁5階会議室
技術部				
作物研究室				
佐々木 力	農業大学校 講師(作物増殖)	21.10.08	農業大学校	農業大学校
	水稻の栽培技術について	21.07.03	いわい東農業協同組合営農部室 根営農センター	農業研究センター
	水稻の栽培技術について	21.09.10	青森県七戸町	農業研究センター
	水稻の栽培技術について	21.09.14	岩手中央農業協同組合	農業研究センター
	農業大学校校外研修	21.09.25	農業大学校	農業研究センター
菅原 浩視	農業大学校 講師(作物増殖)	21.11.05	農業大学校	農業大学校
	盛岡地方飼料用米等研修会	21.12.09	盛岡地方振興局	畜産研究所
	岩手県で作付けされている品種の特性と育種について	22.01.20	秋田県秋田地方振興局	農業研究センター
	平成21年度水稻ステップアップ研修(飼料用米稲)講師	22.02.22	北上市担い手育成総合支援協議会	農業研究センター
	「どんぴしゃり」の品種特性と栽培法	22.02.26	花巻農業協同組合笹間支所	農業研究センター
	平成22年度酒米「ぎんおとめ」栽培講習会	22.03.29	八幡平酒米研究会	JA新しいわて西部営農センター
小綿 寿志	小麦の生育状況及び品質向上技術について	21.06.09	岩手中央農業協同組合	農業研究センター
	平成21年度種子審査員研修会講師	21.07.31	農産園芸課	農業研究センター
林尻 雄大	平成21年度種子審査員研修会講師	21.07.31	農産園芸課	農業研究センター
	平成21年度水稻種子センターオペレーター研修会	21.09.08	(社)岩手県農産物改良種苗センター	農業研究センター
伊藤 信二	平成21年度水稻種子センターオペレーター研修会	21.09.08	(社)岩手県農産物改良種苗センター	農業研究センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所	
園芸研究室 田村 博明	第1回りんご病害虫防除研修会	21.5.26	全農岩手県本部	農研センター	
	第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター	
	果樹損害評価講習会	21.7.31	胆江地域農業共済組合	胆江地域農業共済組合	
	いわてフラワーコンテスト2009	21.8.21	全農岩手	産業文化センター	
	第56回全国リンゴ研究大会	21.9.3~4	第56回全国リンゴ研究大会実行委員会	繫温泉農研センター	
	パプリカ研修会	21.10.21	全農岩手県本部	JAいわい東	
	純情りんごコンテスト審査(1期)	21.10.22	全農岩手県本部	農研センター	
	純情りんごコンテスト審査(2期)	21.11.25~26	全農岩手県本部	農研センター	
	JA江刺りんご品評会審査(1部)	21.10.23	岩手江刺農業協同組合	岩手江刺農業協同組合	
	JA江刺りんご品評会審査(2部)	21.12.4	岩手江刺農業協同組合	岩手江刺農業協同組合	
	新技術普及指導検討会	22.1.18~19	中央農業改良普及センター	農研センター	
	いわて純情りんごセミナー	22.3.2	全農岩手県本部	農研センター	
	平成21年度普及指導員調査研究活動(果樹分野)実績検討会	22.3.5	中央農業改良普及センター	農研センター	
	高橋 司	第1回りんご病害虫防除研修会	21.5.26	全農岩手県本部	農研センター
		第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター
		岩手県立花巻農業高校職場体験指導	21.8.3	花巻農業高校	農研センター
第56回全国リンゴ研究大会		21.9.4	第56回全国リンゴ研究大会実行委員会	農研センター	
純情りんごコンテスト審査(1期)		21.10.22	全農岩手県本部	農研センター	
純情りんごコンテスト審査(2期)		21.11.25~26	全農岩手県本部	農研センター	
新技術普及指導検討会		22.1.18~19	中央農業改良普及センター	農研センター	
いわて純情りんごセミナー		22.3.2	全農岩手県本部	農研センター	
小野 浩司	第1回りんご病害虫防除研修会	21.5.26	全農岩手県本部	農研センター	
	ぶどう栽培流通研修会	21.06.05	全農岩手県本部	紫波町	
	第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター	
	平成21年度大迫産業まつりぶどう品評会	21.9.19	花巻市	大迫町	
	純情りんごコンテスト審査(1期)	21.10.22	全農岩手県本部	農研センター	
	純情りんごコンテスト審査(2期)	21.11.25~26	全農岩手県本部	農研センター	
	新技術普及指導検討会	22.1.18~19	中央農業改良普及センター	農研センター	

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
(小野 浩司)	大粒ぶどう剪定指導会	22.2.24	岩手中央農業協 同組合	紫波町
大野 浩	いわて純情りんごセミナー	22.3.2	全農岩手県本部	農研センター
	第1回りんご病害虫防除研修会	21.5.26	全農岩手県本部	農研センター
	ぶどう栽培流通研修会	21.06.05	全農岩手県本部	紫波町
	第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター
	純情りんごコンテスト審査(1期)	21.10.22	全農岩手県本部	農研センター
	純情りんごコンテスト審査(2期)	21.11.25~26	全農岩手県本部	農研センター
畠山 隆幸	新技術普及指導検討会	22.1.18 ~19	中央農業改良普 及センター	農研センター
	いわて純情りんごセミナー	22.3.2	全農岩手県本部	農研センター
	第1回りんご病害虫防除研修会	21.5.26	全農岩手県本部	農研センター
	第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター
	純情りんごコンテスト審査(1期)	21.10.22	全農岩手県本部	農研センター
	純情りんごコンテスト審査(2期)	21.11.25~26	全農岩手県本部	農研センター
	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	21.11.19	農業大学校	農業大学校
	新技術普及指導検討会	22.1.18 ~19	中央農業改良普 及センター	農研センター
	岩手県青果販売農業協同組合冬期講習会	22.1.23	盛岡市中央卸売 市場	岩手県青果販 売農業協同組 合
	果樹事業共済推進会議	22.1.29	陸前高田市	東南部農業共 済組合
漆原 昌二	いわて純情りんごセミナー	22.3.2	全農岩手県本部	農研センター
	野菜普及員技術向上研修	21.8.31	中央農業改良普 及センター	農研センター
	野菜普及員専門技術基本研修	21.5.18 ~20 21.6.29 ~7.3	中央農業改良普 及センター	農研センター
	岩手県立花巻農業高校職場体験指導	21.8.3	花巻農業高校	農研センター
	日射制御型拍動自動かん水装置現地実証に係る相互巡回	21.12.21	中央農業改良普 及センター	一関市、奥州 市、農研センター
	野菜収益性向上対策チームピーマン主産地連絡会議	21.9.1	農産園芸課	一関市
	野菜(果菜)関係実証調査成果検討会	21.12.21	農産園芸課	農研センター
	高橋 拓也	野菜普及員技術向上研修	21.8.31	中央農業改良普 及センター
野菜普及員専門技術基本研修		21.5.18 ~20 21.6.29 ~7.3	中央農業改良普 及センター	農研センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所	
(高橋 拓也)	パプリカ研修会	21.4.20	全農岩手県本部	農研センター 全農岩手県本部 JAいわて中央 JAいわい東	
		21.5.15			
		21.5.28			
		21.6.2			
		21.7.1			
		21.8.5			
		21.8.11			
		21.10.21			
		22.1.8			
		22.2.22			
山口 貴之	野菜収益性向上対策チームトマト主産地連絡会議	21.8.4	農産園芸課	農研センター JA岩手江刺	
	野菜(果菜)関係実証調査成果検討会	21.12.21	農産園芸課	農研センター	
	新技術普及指導検討会	22.1.19	中央農業改良普及センター	農研センター	
	野菜普及員技術向上研修	21.8.31	中央農業改良普及センター	農研センター	
	野菜普及員専門技術基本研修	21.5.18 ～20	中央農業改良普及センター	農研センター	
		21.6.29 ～7.3			
	川村 浩美	イチゴ栽培研修会	21.7.15	JAいわて中央	盛岡市
		園芸学会アスパラガス小集会	21.9.25	アスパラガスワーキンググループ	秋田市
		野菜茶業課題別研修会	21.11.30 ～12.1	野菜茶業研究所	名古屋市
		新技術普及指導検討会	22.1.19	中央農業改良普及センター	農研センター
キュウリホモプシス根腐れ病テーブルリサーチ		22.1.21	東北農業研究センター	福島市	
促成アスパラガス研修会		22.3.10	農産園芸課	一戸町	
第1回花き専門研修		21.7.7	中央農業改良普及センター	奥州市衣川区	
岩手大学農学部植物生産学講座園芸実験		21.7.16	岩手大学農学部	農研センター	
岩手県立花巻農業高校職場体験指導		21.8.3	花巻農業高校	農研センター	
いわてフラワーコンテスト2009 審査員		21.8.21	全農岩手	産業文化センター	
星 伸枝	平成21年度東北地域花き研究会	21.9.16 ～17	東北農業研究センター	青森県青森市	
	りんどう採種技術指導	21.6.18	種苗センター	種苗センター 農研センター 種苗センター 県庁	
		21.7.14			
		21.9.1			
		21.10.13			
	花き種苗供給に関する検討会	21.11.10 22.1.21	農産園芸課	農研センター	
	りんどう県オリジナル品種の種苗供給に関する説明会	21.11.24	農産園芸課	盛岡合庁	
	平成21年産りんどう種子配布説明会	22.2.19	農産園芸課	岩手教育会館	
	岩手県立花巻農業高校職場体験指導	21.8.3	花巻農業高校	農研センター	

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
赤坂 志保	花き専門技術向上研修	21.10.21	中央農業改良普及センター	農研センター
中里 崇	JA新しいわてりんどう圃場巡回指導	21.7.1	JA新しいわて	八幡平市
	農業大学校 講師(作物増殖・果樹)	21.11.19	農業大学校	農業大学校
	北上鉢りんどう生産部会実績検討会	22.1.12	JAいわて花巻	北上市
	花巻農業高校出前講義	22.2.8	花巻農業高校	花巻農業高校
	りんどうテーブルリサーチ情報提供	22.2.25	東北農業研究センター	東北農業研究センター
南部園芸研究室				
佐藤 弘 藤尾 拓也	いちごモデル農家技術指導	21.5.21 ～22	農産園芸課	岩泉町、田野畑村、釜石市
小田島 雅	花づくり講習会	21.06.08	陸前高田市	陸前高田市総合営農指導センター
佐藤 弘 藤尾 拓也	アグリランド高田への夏秋イチゴ栽培指導	21.05月～ 10月(週1回)	大船渡農業改良普及センター	アグリランド高田
佐藤 弘 藤尾 拓也	沿岸圏域夏秋いちご栽培現地研修会	21.07.22	農産園芸課	南部園芸研究室
佐藤 弘 藤尾 拓也	野菜づくり何でも相談会	21.08.24	陸前高田市	陸前高田市総合営農指導センター
小田島 雅	花いっぱいコンクール(審査)	21.09.01	陸前高田市	陸前高田市総合営農指導センター
佐藤 弘 藤尾 拓也 小田島 雅	普及員専門技術向上研修(野菜第IV期)	21.09.09 ～11	中央農業改良普及センター	南部園芸研究室、陸前高田市、住田町
佐藤 弘 藤尾 拓也 小田島 雅	沿岸圏域イチゴセミナー	22.01.21	農産園芸課	住田町
佐藤 弘 藤尾 拓也	夏秋いちごモデル農家実績検討会	22.02.10	農産園芸課	釜石合庁
佐藤 弘 藤尾 拓也	岩手いちご研修会	22.02.23	中央農業改良普及センター	農業研究センター
環境部				
生産環境研究室				
大友 英嗣	平成21年度産学官セミナー	22.01.15	東北地域農林水産・食品ハイテク研究会	仙台市
	デジタルスキャナー製品発表会	21.06.22	農業普及技術課	盛岡市
	岩手県モデル活用型耕畜連携会議	21.08.25	岩手県堆肥センター利用協議会	畜産研究所
宍戸 貴洋	アスパラガス栽培技術研修会	22.01.15	中央農業改良普及センター	農業研究センター
	平成21年度新技術普及活動検討会(花き部門) 平成21年度新技術普及活動検討会(野菜部門)	22.01.19	中央農業改良普及センター	農業研究センター
大友 英嗣 高橋綾子	普及員技術向上研修土壌診断	21.11.17	中央農業改良普及センター	農業研究センター

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所	
小菅 裕明	八幡平市農業振興センターりんどう推進事業担当者会議	21.10.27	八幡平市農業振興センター	JA新しいわて安代中央支所	
	農業大学校（事例研究等郊外研修）	21.01.14	農業大学校	農業研究センター	
大友 英嗣					
宍戸 貴洋	農業大学校（選択実験）	21.06.22	農業大学校	農業研究センター	
プロジェクト 佐藤 千穂子	農業大学校（事例研究等郊外研修）	21.01.14	農業大学校	農業研究センター	
病理昆虫研究室					
一守 貴志	平成21年度岩手県産小麦現地検討会	21.6.16	農産園芸課	JAはなまき石鳥谷営農センター	
猫塚 修一	キクわい化病検定指導	21.4.15～16	中央農業改良普及センター県域G	軽米町・千厩町	
	第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター会議室	
	いわて純情りんごセミナー	22.3.2	全農岩手県本部	農研センター会議室	
	東北地区植物防疫職員等技術研修会	21.10.20	東北農政局	ホテルトロロリタン盛岡	
	花き専門技術向上研修 花きⅢ（小ぎく・りんどう）	21.10.21	中央農業改良普及センター県域G	農研センター会議室	
	りんどう研修会	21.11.26	JAいわて花巻和賀町支店	沢内バーデン	
	岩手県植物防疫関係者研修会	21.11.26	岩手県植物防疫協会	花巻市 ホテル志戸平	
	東北地域50%削減りんご栽培技術セミナー	22.2.5	東北農業研究センター	サンセル盛岡	
	ブルーベリー研修会	22.3.20	岩手ブルーベリー研究会	岩手県立大学	
	産地づくりトレーナー機能強化研修（りんどう研修会）	22.2.12	二戸農業改良普及センター	二戸地域合同庁舎	
	第3回小ぎく栽培レベルアップ講座	22.2.22	中央農業改良普及センター地域G	JAいわて花巻和賀町支店	
	羽田 厚	平成21年度ブドウ栽培流通研修会	21.6.5	全農岩手県本部	紫波町
	第2回りんご病害虫防除研修会	21.7.10	全農岩手県本部	農研センター会議室	
いわて純情りんごセミナー	22.3.2	全農岩手県本部	農研センター会議室		
小ぎくリーダー研修会	22.1.26	一関農業改良普及センター	大東農業技術センター		
平成22年度岩手県農作物病害虫雑草防除指針説明会	22.1.29	県農薬卸商業協同組合	盛岡八幡宮「参集殿」		
東北地区植物防疫職員等技術研修会	22.10.21	東北農業研究センター	東北農業研究センター会議室		
ブルーベリー研修会	22.3.20	岩手ブルーベリー研究会	岩手県立大学		
横田 啓	平成21年度岩手県産大豆現地検討会	21.9.10	農産園芸課	江刺農業活性化センター	
	農薬管理使用アドバイザー研修	21.12.11	農業普及技術課	農研センター会議室	
	第3回小ぎく栽培レベルアップ講座	22.2.22	中央農業改良普及センター地域G	JAはなまき和賀町支店	

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
洞口 博昭	平成22年度岩手県農作物病害虫雑草防除指針説明会	22.1.29	県農薬卸商業協 同組合	盛岡八幡宮「参 集殿」
	農薬管理使用アドバイザー研修	21.12.11	農業普及技術課	農研センター会議
岩館 康哉	ほうれんそう夏期増収に係る試験研究成果並びに現地検討会	21.6.17	農業研究センター 企画管理部	洋野町大野
	きゅうり主産地連絡会議研修会	21.10.15	農産園芸課	農研センター会議 室
	花き専門技術向上研修 花きⅢ(小ぎく・りんどう)	21.10.21	中央農業改良普 及センター県域G	農研センター会議 室
	平成21年度全国ホップ技術研修会	21.7.23	全国ホップ農協連 合会	遠野市「あえりあ 遠野」
	農業大学校講義「植物病理学」	21.5.21	農業大学校	農業大学校
	岩手県植物防疫関係者研修会	21.11.26	岩手県植物防疫 協会	花巻市 ホテル 志戸平
	農薬管理使用アドバイザー研修	21.12.11	農業普及技術課	農研センター会議
	土壌消毒研修会	21.12.14	一関農業改良普 及センター	JAいわて南宮農 経済部 会議室
	ホップ栽培暦検討会	22.2.9～10	NOSAI岩手	つなぎ温泉愛真 館
	関東東山農業試験研究推進会議「病害虫研究会」	22.2.3	中央農業研究セ ンター	中央農業研究セ ンター
病害虫防除部				
病害虫防除課				
阿部 信治	農薬安全使用講習会	21.6.23	JA新しいわて	雫石町
	農薬安全使用研修会	21.7.14	中央農業改良普 及センター	農業研究セン ター
	専門技術向上研修	21.7.3	中央農業改良普 及センター	農業大学校
	農業大学校講義	22.1.22	農業大学校	農業大学校
	産直農薬適正使用研修会	22.3.4	大船渡農業改良 普及センター	陸前高田市
	産直農薬適正使用研修会	22.3.17	宮古農業改良普 及センター	宮古市
	産直農薬適正使用研修会	22.3.18	宮古農業改良普 及センター	岩泉町
大友 令史	病害虫防除員研修会	21.6.17	病害虫防除員協 議会	農業研究セン ター
	農業大学校講義	22.1.22	農業大学校	農業大学校
	無人ヘリコプターオペレーター協議会研修会	22.1.22	無人ヘリオペレ ーター協議会	花巻市
	農薬卸商組合研修会	22.1.29	農薬卸商組合	盛岡市
	花巻太田地区水稲防除検討会	22.3.2	太田地区水稲防 除協議会	花巻市
	産直農薬適正使用研修会	22.3.4	大船渡農業改良 普及センター	陸前高田市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
加藤 清吾	西和賀花き生産組合反省会	21.11.26	西和賀花き生産組合	西和賀町
藤澤 由美子	病害虫防除員研修会	21.6.17	病害虫防除員協議会	農業研究センター
	一関地域水稲病害虫防除研修会	21.7.7	NOSAI磐井	一関市
	岩手町水稲種子生産技術研修	21.11.27	JA新しいわて	岩手町
	胆沢地方病害虫防除員協議会検討会	21.12.17	胆沢地方病害虫防除員協議会	奥州市
	JAいわて花巻1西南稲作部会研修会	22.1.18	JAいわて花巻	北上市
佐藤 美和子	病害虫防除員研修会	21.6.17	病害虫防除員協議会	農業研究センター
	公共緑化樹管理講習会	21.11.27	県造園組合	花巻市
藤田 章宏	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	21.6.2	滝沢村	滝沢村
	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」指導会	21.8.3	滝沢村	滝沢村
	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	21.12.22	JAいわて中央	盛岡市
	盛岡地方りんご病害虫防除対策検討会	21.12.28	盛岡農業改良普及センター	紫波町
	一関地方りんご病害虫防除暦編成会議	21.01.08	一関地方農林業振興協議会	一関市
	花巻・北上地域りんご防除計画検討会	22.2.3	盛岡農業改良普及センター	紫波町
	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」実績検討会	22.3.3	滝沢村	滝沢村
斎藤 真理子	一関地域水稲病害虫防除研修会	21.7.7	NOSAI磐井	一関市
	植物防疫関係者研修会	21.11.26	県植物防疫協会	花巻温泉
村上 太郎	「環境にやさしいりんごづくり推進事業」実績検討会	22.3.3	滝沢村	滝沢村
	産直農薬適正使用研修会	22.3.17	宮古農業改良普及センター	宮古市
	産直農薬適正使用研修会	22.3.18	宮古農業改良普及センター	岩泉町
畜産研究所				
家畜育種研究室				
吉田 力	畜産関係職員スキルアップ研修会	21.5.19	畜産課	盛岡市
	西部地域短角牛生産部会全体研修会	21/11/30	新しいわて農協	八幡平市
佐藤 直人	家畜人工授精講習会	21/10/22	畜産課	金ヶ崎町
細川 泰子	盛岡地域農業農村振興協議会畜産振興部会研修会		盛岡地域農業農村振興協議会	滝沢村
	農業大学校講義	21/6/26	農業大学校	金ヶ崎町
	家畜人工授精講習会	21/10/30	畜産課	金ヶ崎町
	家畜受精卵移植講習会	22/2/4,8,18,19,22	畜産課	金ヶ崎町
	H21試験研究成果紹介	22.2.9	岩手県受精卵移植懇話会	滝沢村

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
佐藤 洋一	家畜人工授精講習会	21/11/9	畜産課	金ヶ崎町
	農業大学校研究科講義	21/8/17	農業大学校	金ヶ崎町
	いわて和牛改良増殖協議会「DNA育種の取組」	21/7/27	畜産課	県庁
安田 潤平	農業大学校講義	21/10/23	農業大学校	金ヶ崎町
	二戸地域短角肥育農場指導	21/7/31	二戸地方振興局	二戸市
	全国畜産関係普及指導員調査研究会(短角肥育)	21/8/21	中央普及セ	岩泉町
佐々木 直	農業経営者セミナー	22/2/4	岩手県農業会議	花巻市
米澤智恵美	家畜人工授精講習会	21/11/2	畜産課	金ヶ崎町
	家畜受精卵移植講習会	22/2/22	畜産課	金ヶ崎町
家畜飼養・飼料研究室				
多田 和幸	畜産関係職員スキルアップ研修会	21.071	畜産課	盛岡市
尾張 利行	農業経営者セミナー	22/2/4	岩手県農業会議	花巻市
越川 志津	家畜商講習会	21.07.23	流通課	盛岡市
	家畜人工授精講習会	21.10.21	畜産課	金ヶ崎町
	農業大学校講義	21.11.27	農業大学校	金ヶ崎町
齋藤 浩和	家畜人工授精講習会	21.10.26	畜産課	金ヶ崎町
	農業大学校講義	22.01.26	農業大学校	金ヶ崎町
	宮古地方畜産振興協議会	22.01.28	中央普及セ	岩泉町
外山畜産研究室				
菊池恭則	放牧伝道師講習会	21/9/2~4	日本草地畜産種子協会	福島県西郷村 中央畜産研修施設
	ふれあい農業研究センター(岩泉会場、宮古会場)	21/9/8~9	宮古農業改良普及センター	岩泉町 宮古市
	未利用農地の放牧利用について	21/12/15	庄内総合支庁農業技術普及課	山形県鶴岡市
	電気牧柵を活用した獣害対策について	22/2/3	釜石地方振興局	釜石市
	遊休農地を活用した畜産振興について	22/2/10	二戸地方振興局	二戸市
種山畜産研究室				
熊谷光洋	県畜産関係職員スキルアップ研修	21/5/19	畜産課	滝沢村
	家畜商講習会	21/7/23,24	流通課	盛岡市
	人工授精師講習会	21/10,11	畜産課	金ヶ崎町他
	家畜人工授精師スキルアップ講習会	21/11/26,27	岩手県人工授精師協会	金ヶ崎町他
	受精卵移植師講習会	22/2	畜産課	金ヶ崎町他
	中央和牛育種組合女性研修会	21/1/28	和牛登録協会岩手県支部	花巻市
小梨 茂	人工授精師講習会	21/10,11	畜産課	金ヶ崎町他
	県南和牛育種組合女性研修会	21/1/26	和牛登録協会岩手県支部	花巻市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
藤村和哉	ふれあい農業研究センター(岩泉会場、宮古会場)	21/9/8~9	宮古農業改良普及センター	岩泉町 宮古市
	人工授精師講習会	21/10,11	畜産課	金ヶ崎町他
	県南和牛育種組合女性研修会	21/1/26	和牛登録協会岩	花巻市
	匠の会講習会	21/2/12	和牛登録協会岩	紫波町
県北農業研究所 作物研究室				
荻内謙吾	二戸雑穀部会雑穀研修会	H21.4.10	二戸地方農林水産振興協議会長	県北農業研究所
仲條真介	「雑穀提供店舗提示用デザイン作成に係る産業短期大学デザイン科学生の雑穀実地体験ツアー」講師	H21.6.4	二戸振興局企画総務部	県北農業研究所
荻内謙吾 仲條真介 阿部亜希子	二戸農振協雑穀現地検討会	H21.6.30	二戸地方農林水産振興協議会長	県北農業研究所
仲條真介	雑穀視察研修(秋田県八峰町)講師	H21.9.3	JA秋田やまもと	県北農業研究所
荻内謙吾 阿部亜希子	雑穀視察研修(花巻市東和町)講師	H21.9.8	花巻市役所	県北農業研究所
仲條真介	雑穀視察研修(奥州市江刺区)講師	H21.9.12	県南広域振興局	県北農業研究所
荻内謙吾 仲條真介	全国雑穀サミットinかるまい圃場見学	H21.9.13	全国雑穀サミットinかるまい実行委員会	県北農業研究所
荻内謙吾 仲條真介	視察研修(日本雑穀協会事務局)講師	H21.9.13	日本雑穀協会	県北農業研究所
仲條真介	現場展開型農商工連携商品戦略個別セミナーバックグラウンドツアー	H21.9.30	地独法)岩手県工業技術センター	県北農業研究所
仲條真介	ヒエ新品種を使った雑穀パン試食会	H21.10.15	二戸振興局農政部	軽米町立観音林小学校
鈴木敏男 荻内謙吾 吉田 宏 仲條真介 阿部亜希子	雑穀生産・研究開発状況調査(国士舘大学)	H21.10.29	国士舘大学	県北農業研究所
仲條真介	雑穀とその栽培法について	H21.10.30	株式会社ヤマタネ	県北農業研究所
仲條真介	岩手県北・青森県南の焼畑栽培と雑穀について	H21.11.20	八戸市NPO「山の楽校」・ライター斎藤博之	県北農業研究所
荻内謙吾	有機栽培技術試験研究成果発表会(キビ、アワの機械化栽培について)講師	H22.1.14	一関地方有機農業推進協議会代	一関市
吉田宏	有機栽培技術試験研究成果発表会(雑穀の無化学肥料栽培について)講師	H22.1.14	一関地方有機農業推進協議会代	一関市
仲條真介	良食味・短稈ヒエ新品種の育成	H22.1.22~23	理化学研究所生物照射チーム	理化学研究所
仲條真介	岩手県北・青森県南の焼畑で栽培されていたアワ・カブ・赤米について	H22.1.25	八戸市NPO「山の楽校」・ライター斎藤博之	県北農業研究所
荻内謙吾	二戸雑穀推進大会(キビ、アワ機械化栽培について)講師	H22.1.26	二戸地方農林水産振興協議会長	二戸市

担当部所 研究室 担当者	内 容	年月日	依 頼 者	場 所
仲條眞介	東北地域農林水産・食品ハイテク研究会シーズ発表会	H22.1.27	東北農政局	仙台市
鈴木敏男 仲條眞介	雑穀データベースの開発について「岩手県における雑穀栽培・雑穀遺伝資源と雑穀データベースの必要性」	H22.2.22	AFR農業IT活用研究会	アイーナ
荻内謙吾	雑穀栽培セミナー(キビ、アワの機械化栽培技術とキビの乾燥方法について)講師	H22.2.26	一戸町安全安心農産物生産流通研究会	一戸町
荻内謙吾 仲條眞介	雑穀視察研修(北海道滝川市)	H22.3.2	滝川市・JA滝川・空知普及センター	県北農業研究所
仲條眞介	雑穀生産部会研修会	H22.3.24	JA花巻・JA花巻雑穀生産部会	JA花巻・石鳥谷営農センター
園芸(県北)				
佐藤 正昭	促成アスパラガス栽培技術研修会	H21.10.22	JA全農いわて	岩手町、一戸町
佐藤 正昭	促成アスパラガス研修会	H22.3.10	農産園芸課	一戸町
藤沢 巧	平成21年度第3回久慈地方園芸産地づくり推進セミナー 施設栽培ほうれんそうの土壌水分調査結果について	H22.3.10	久慈地方園芸推進センター・久慈地方農業農村活性化推進協議会	JA新岩手久慈営農経済センター
川戸 善徳	JA新しいわて西部地域りんどう圃場巡回指導会	H21.7.1	新岩手農協西部営農経済センター JA新しいわて西部地域花卉生産部会	八幡平市
川戸 善徳	芽なし菊(一輪ギク)栽培研修会	H21.9.9	JA全農いわて	一関市千厩町
川戸 善徳	久慈地方フラワーコンテスト審査	H21.9.18	久慈地方農業農村活性化推進協議会	JA新岩手久慈営農経済センター
川戸 善徳	芽なし菊(一輪ギク)実証展示圃実績検討会	H21.10.20	JA全農いわて	盛岡市
川戸 善徳	平成21年度花卉部会九戸支部キク生産販売実績検討会	H21.12.21	新岩手農協北部地域花き生産部会九戸支部	久慈市
川戸 善徳 成田 恵美	小ぎく栽培指導会	H22.3.23	新岩手農協北部地域花卉生産部会	県北農業研究所

3 視察者、見学者の受け入れ状況

区 分	公式来場者数	非公式来場者数	合計	備 考
本 部	1,313 人	5,358 人	6,671 人	平成21年4月～平成22年3月 ・非公式来所者数は、参観 デー来場者
畜産研究所	181	3,700	3,881	
県北農業研究所	687	250	937	
計	2,181 人	9,308 人	11,489 人	

4 春季一般公開及び参観デー

名 称	開催期日	開催場所	参集人員
春季一般公開	21.04.13～19	農業ふれあい公園「農業科学博物館」	121 名
参観デー(本部)	21.09.04～05	農業研究センター本部、農業ふれあい公園	6,694 名
” (畜産研究所)	21.08.28～30	岩手県産業文化センター「アピオ」他	3,647 名
” (県北農業研究所)	21.09.02	県北農業研究所	250 名

5 現地ふれあい農業研究センター

開催期日	開催場所	主 な 内 容	参集人員
21.09.07	岩泉地区合同庁舎	岩手の和牛を極める	61名
21.09.08	宮古地区合同庁舎	岩手の和牛を極める	67名
21.09.08	野田村生涯学習センター	環境保全型農業に取り組んでみよう ～環境にやさしい栽培技術～	41名

6 一日子供農業研究員

名 称	開催期日	内 容	参集人員
一日子供農業研究員 ～夏休み 蚕の研究～	21.08.04	小学5年生を対象とした蚕の研究 (蚕の観察、飼育体験) 講師：繭と糸の会 (補助：花巻農業高等学校2年生3名)	35名

7 農業科学博物館、農業ふれあい公園、加工工房(加工体験)の利用者

項目	主な内容		開催期日	参集人数
農業科学博物館	入館者数	通常入館者		3,887名
		農業研究センター春季一般公開		
		農業研究センター参観デー		
	企画展	収蔵品を「企画テーマ」に合わせて年4回展示紹介		-
		第40回「物を運ぶための用具」	21.04.01～06.30	
第41回「岩手の雑穀栽培」		21.07.01～09.30		
第42回「食料の保存」		21.10.07～12.27		
第43回「食物自給のための加工」	22.01.09～03.31			
イベント	「親子で体験！お正月の松飾りを作ろう」 講師：菅原兼男 氏(花巻市在住)	21.12.27	17名(8組)	
農業ふれあい公園	利用状況	利用期間4月～11月 ゲートボール、グラウンドゴルフなど		5,772名 (243件)
	棚田	田んぼアート「も～っと！棚田でお絵かき・IV」 担当：技術部作物研究室 絵・・・純鬼(じゅんき)くん、赤富士 字・・・「14」*、「いわて」 *(財)穀物検定協会による食味ランキングで岩手県南ひとめぼれが最高位「特A」を獲得した回数		-
	イベント	「親子で体験！棚田で田植え」 担当：技術部作物研究室、研究企画室、 農業科学博物館	21.05.30	17名(7組)
		「親子で体験！棚田で稲刈り」 担当：技術部作物研究室、研究企画室、 農業科学博物館	21.10.17	10名(4組)
加工工房	加工体験	加工実習、講習	-	126名(9件)

8 研修生の受け入れ

(1) 海外研修

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
佐藤 洋一	パラグアイ共和国	養豚飼養管理技術研修	畜産研究所(家畜育種研究室)	21.06.08 ～11.27

(2) 北東北3県連携にかかる人事交流(研修)

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
渡辺 潤	秋田県農林水産技術センター畜産研究所	発酵TMRに係る研究手法について	畜産研究所(家畜飼養・飼料研究室)	21.04.20～04.24
菊池 晴志	(地独)青森県産業技術センター農林総合研究所	農地法面を対象としたグラウンドカバープランツとしてのイブキジャコウソウの育苗方法等の取得	企画管理部(農業経営研究室)	21.05.18～05.19 21.06.24～06.25 21.07.27～07.28
山田 尚	秋田県農林総合技術センター	研究課題評価と研究員資質向上に関する取り組み	企画管理部(研究企画室)	21.09.17～09.18 22.01.05～01.06

(3) 短期研修生

氏名	所属	研修目的	受け入れ部所 (研究室)	期間
佐々木 翼	岩手県農業共済組合連合会	水稻栽培技術研修	技術部(作物研究室)プロジェクト推進室(水田農業)	21.05.19～11.12
細田 永 佐藤朝次郎	岩手県農業共済組合連合会 岩手中部農業共済組合	果樹栽培技術研修	技術部(園芸研究室)	21.06.09 ～22.01.21

(4) 体験学習の受け入れ

ア 小中学校等の「総合的な学習の時間」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
西和賀町立沢内中学校	「総合的な学習の時間」農業研究センター本部・農業ふれあい公園・農業科学博物館の見学	30	研究企画室	21.07.07
盛岡市立藪川中学校	職場体験学習	1	外山畜産研究室	21.08.04～08.07
花巻市立南城中学校2年生	職場体験学習	2	—	21.09.09～09.10
	概要説明、圃場・博物館見学		研究企画室	21.09.09
	りんご病害虫防除について		病理昆虫研究室	
	水稻品種改良について		作物研究室	21.09.10
	農業機械について		プロジェクト推進室(水田農業)	
北上市立いわさき小学校3年生	校外学習	31	研究企画室	21.09.30
北上市立江釣子中学校1年生	職場訪問	28	研究企画室	21.10.01
北上市立飯豊中学校3年生	「ちょボラ」体験学習	5	総務課	21.10.06

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
北上市立飯豊中学校1年生	農業体験学習	6	—	21.10.06
	概要説明、圃場見学 真空予冷のしくみ トマトの収穫・調査		研究企画室 生産環境研究室 プロジェクト推進室 (特栽・有機)	

イ 高等学校、大学の「職場体験研修」「視察」等に対応したもの

所属	研修内容	人数(人)	受け入れ研究室等	期日
岩手大学農学部農学生命課程生命資源科学コース3年生	試験研究見学	35	作物研究室 園芸研究室	21.7.16
岩手県立花巻農業高等学校 生物科学科2年生	現場体験実習	3	—	21.08.03～04
	概要説明、圃場・博物館見学 バイテク実習 園芸実習(花き・果樹・野菜) 体験学習イベント 「一日子供農業研究員」 総務課および図書室の業務体験		研究企画室 園芸研究室 園芸研究室 研究企画室 総務課、研究企画室	(21.08.03) (21.08.04)
岩手県立千厩高等学校1年生	視察研修	40	研究企画室	21.09.25
岩手県立花巻農業高等学校 生物科学科1年生	現場見学	41	研究企画室	21.11.18

ウ インターシップ等に対応したもの

氏名	所属	研修内容	受入研究室等	期日
武田 純子 川代 早奈恵	平成21年度 岩手県職員採用内定者	○作物研究の概要、水稻品質調査、大豆分解調査、園芸研究の概要、リンゴ品質調査、トマト生育調査 ○生産環境研究の概要と研究成果の説明、病理昆虫研究の概要、防除指針の説明 ○農業機械開発、WCS、生物多様性調査における昆虫分類	技術部 作物 園芸 環境部 生産環境 病理昆虫 プロジェクト推進室 水田農業 特栽・有機	21.11.10～11

9 協議会、委員会等委員

協議会、委員会等の名称	役 職	担 当 機 関	職 名
岩手県バイオテクノロジー研究調整会議	委員	農業普及技術課	所長
岩手県農業技術開発会議	構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員 構成員	農業普及技術課	所長 副所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長
岩手県研究開発推進連絡会議	委員	商工労働観光部科学・ものづくり振興課	所長
東北農業試験研究協議会	理事	(独)東北農業研究センター	所長
(財)岩手生物工学研究センター評議会	評議員	(財)岩手生物工学研究センター	所長
岩手農林研究協議会 (AFR)	副会長 委員 委員 委員 委員 委員	岩手大学農学部	所長 企画管理部長 技術部長 環境部長 病虫害防除部長 畜産研究所長 県北農業研究所長
岩手農林研究協議会 (AFR) 幹事会	幹事 幹事		企画管理部長 技術部長
岩手県農業人材育成連携推進委員会	委員	岩手県教育委員会事務局学校教育室	研究企画室長
国営和賀中部地区営農推進委員会	委員	東北農政局和賀中部農業水利事業所	研究企画室長
岩手県農業農村指導士選考委員会	選考委員	農業普及技術課	所長
農作物奨励品種検討会議	構成員	農産園芸課	所長
日本農業賞岩手県代表選考審査委員	委員	全農岩手県本部	所長
岩手県施肥合理化協議会	参与 参与 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	全農岩手県本部	環境部長 畜産研究所長 プロジェクト推進室長 (特裁・有機) 作物研究室長 園芸研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 県北研次長

協議会、委員会等の名称	役 職	担 当 機 関	職 名
岩手県農業共済組合連合会損害評価会	部会長 (農作物・水稲) 委員 (農作物・水稲) 委員 (農作物・水稲) 部会長 (果樹) 部会長 (果樹) 委員 (農作物・ 災害加入) 委員 (畑作物) 委員 (畑作物) 委員 (園芸施設) 委員 (畑作物・蚕繭)	NOSAI岩手	病虫害防除課長 作物研究室長 病理昆虫研究室長 園芸研究室長 主査(病虫害防除課) 主任専門研究員(技術 部作物研究室) 専門研究員(技術部 作物研究室) 主任主査(病虫害防除 課) 南部園芸研究室長 園芸(県北)研究室長
岩手県植物防疫協会	運営幹事 運営幹事 運営幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事 事業幹事	(社)岩手県植物防疫協会	病虫害防除部長 技術部長 環境部長 作物研究室長 園芸研究室長 病理昆虫研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 病虫害防除課長
日本植物調節剤研究協会東北支部	委員 幹事	日本植物調節剤研究協会東北支部	作物研究室長 プロジェクト推進室長 (水田農業)
岩手県農業気象協議会	委員 委員 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事 幹事	農業普及技術課	技術部長 病虫害防除所長 (病虫害防除部長) 作物研究室長 園芸研究室長 生産環境研究室長 家畜飼養・飼料研究室長 作物(県北)研究室長 病虫害防除所主査
土地改良事業営農推進対策委員会	副委員長 委員 委員 中央幹事 中央幹事	農村計画課	副所長 技術部長 県北農業研究所長 家畜飼養・飼料研究室長 園芸研究室長
岩手県農作業安全対策協議会	委員 委員	農産園芸課	副所長 畜産研究所長

協議会、委員会等の名称	役 職	担 当 機 関	職 名
日本農業経営学会	理事	(独)中央農業総合研究センター	農業経営研究室長
東北農業経済学会	評議員	東北大学農学部	農業経営研究室長
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員長 審査委員	農産園芸課	県北農業研究所長 農業経営研究室長
岩手県特産農産物生産振興共進会	審査委員	農産園芸課	作物(県北)研究室長
岩手県農業農村整備事業地区担い手育成協議会	委員	農村建設課	農業経営研究室長
土地改良事業営農推進対策委員会	委員	農村計画課	農業経営研究室長
いわて純情米体質強化推進協議会	幹事	全農岩手県本部	技術部長
岩手県農産物改良種苗センター種子価格設定委員会	委員	(社)岩手県農産物改良種苗センター	作物研究室長
岩手県種子事故調査委員会	委員	(社)岩手県農産物改良種苗センター	病理昆虫研究室長
岩手県農業共済保険審査委員会	委員	団体指導課	技術部長
いわて純情米需要拡大推進協議会	幹事	流通課	技術部長
岩手県農業機械士認定委員会	委員	農産園芸課	技術部長
岩手県農業機械士技能検定	技能検定員 (委嘱) 技能検定員 (委嘱) 技能検定員 (委嘱) 技能検定員 (委嘱)	農業大学校	上席専門研究員 (プロジェクト推進室 水田農業) 主任専門研究員 (農業経営) 主任専門研究員 (農業経営) 技能員
北上市みどりのまちづくり審査会	審査員	北上市	技術部長
マーケットイン産地育成会議	構成員	農産園芸課	園芸研究室長
2009いわて純情りんごコンテスト	審査委員長 審査員 審査員 審査員	全農岩手県本部	技術部長 園芸研究室長 園芸研究室果樹担当 病理昆虫研究室長
第56回全国リンゴ研究大会実行委員会	委員 事務局員	岩手県果樹協会	技術部長 園芸研究室長
いわてフラワーコンテスト2009	審査委員長 審査委員	全農岩手県本部	技術部長 園芸研究室花き担当
岩手県麦・大豆等産地体制確立推進協議会 同 事務局員	委員 事務局員	農産園芸課	技術部長 作物研究室長
いわての大豆普及推進協議会	委員	流通課	技術部長
岩手県麦民間流通地方協議会	構成員	全農岩手県本部	作物研究室長

協議会、委員会等の名称	役 職	担 当 機 関	職 名
全国豆類経営改善共励会岩手県審査委員会	審査委員長	農産園芸課	技術部長
	審査委員		作物研究室長
	審査委員		作物(県北)研究室長
全国麦作共励会岩手県審査委員会	審査委員長	農産園芸課	技術部長
	審査委員		作物研究室長
	審査委員		作物(県北)研究室長
岩手県特産農作物生産振興共進会審査委員会	審査委員長	農産園芸課	県北研究所長
	審査委員		作物研究室長
	審査委員		作物(県北)研究室長
東北土地利用型作物安定生産推進協議会	構成員	東北農政局	プロジェクト推進室長 (水田農業)
麦・大豆収益性向上対策チーム	構成員	農産園芸課	プロジェクト推進室長 (水田農業)
			作物研究室長
飼料用米生産拡大プロジェクトチーム	構成員	畜産課	プロジェクト推進室長 (水田農業)
			家畜育種研究室長
県産米食味向上プロジェクトチーム	構成員	農産園芸課	プロジェクト推進室長 (水田農業)
			プロジェクト推進室長 (特裁・有機)
			作物研究室長
			生産環境研究室長
いわてオリジナル低コスト肥料製造プロジェクトチーム	構成員	農業普及技術課	上席専門研究員 (生産環境研究室)
野菜収益性向上対策チーム	構成員	農産園芸課	園芸研究室長
岩手県園芸産地改革戦略推進会議	委員	農産園芸課	園芸研究室長
大船渡地方農業振興協議会	構成員	大船渡地方振興局農林部	南部園芸研究室長
大船渡地方農林水産振興連絡協議会	構成員	大船渡地方振興局農林部	南部園芸研究室長
大船渡地区行政連絡協議会	構成員	大船渡地方振興局企画総務部	南部園芸研究室長
陸前高田市総合農政推進協議会	委員	陸前高田市	南部園芸研究室長
住田町農業振興協議会	構成員	住田町	南部園芸研究室長
岩手県農薬管理使用アドバイザー認定委員会	委員	農業普及技術課	病虫害防除部長
	委員		環境部長
岩手県産業用無人ヘリコプター推進協議会	幹事	NOSAI岩手	病虫害防除課長
岩手県埋設農薬適正管理専門家会議	委員	農業普及技術課	環境部長
岩手県獣医師会学術広報委員会	副委員長	岩手県獣医師会	家畜飼養・飼料研究室長
岩手県農協大型酪農経営連絡協議会	委員	全農岩手県本部	畜産研究所長

協議会、委員会等の名称	役職	担当機関	職名
ミルクシステム診断事業推進委員会	委員	(社)岩手県畜産協会	家畜飼養・飼料研究室長
岩手県乳用牛群検定推進協議会	幹事	(社)岩手県畜産協会	家畜飼養・飼料研究室長
自動搾乳データ分析検討会	委員	(社)家畜改良事業団	専門研究員(家畜飼養・飼料研究室)
県南和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	全国和牛登録協会岩手県支部	専門研究員(種山畜産研究室)
中央和牛育種組合育種推進委員会	育種推進委員	全国和牛登録協会岩手県支部	専門研究員(種山畜産研究室)
全国和牛能力共進会出品対策委員会	委員	畜産課、全農岩手県本部	種山畜産研究室長
			家畜育種研究室長
全国和牛登録協会登録委員産肉能力検定委員会	委員	全国和牛登録協会	専門研究員(種山畜産研究室)
和牛改良専門委員会	委員	全国和牛登録協会岩手県支部	種山畜産研究室長
			家畜育種研究室長
日本短角種集団育種推進協議会	委員	日本短角種集団育種推進協議会畜産課	家畜育種研究室長
いわて和牛改良増殖対策事業推進協議会	委員	畜産課	種山畜産研究室長
			家畜育種研究室長
日本短角種研究会	評議員	日本短角種研究会	家畜育種研究室長
盛岡市牧野運営協議会委員	委員	盛岡市	外山畜産研究室長
日本短角種集団育種推進事業協議会	委員	畜産課	外山畜産研究室長
東北草地研究会	幹事	東北大学農学部	家畜飼養・飼料研究室長
畜産環境整備事業農機具導入委員会	委員	畜産課	家畜飼養・飼料研究室長
岩手県畜産技術連盟	世話人	畜産研究所	畜産研究所長
岩手県飼料増産推進協議会	委員	畜産研究所	家畜飼養・飼料研究室長
高性能畜産機械等普及促進協議会	委員幹事	新農業機械実用促進(株)	家畜飼養・飼料研究室長
岩手農林統計協会二戸支部	会員	東北農政局二戸統計情報センター	県北農業研究所長

職員研修

1 大学院派遣

職・氏名	所属部所・研究室	研究内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 阿部 陽	技術部 作物研究室	水稻の重要形質に関与するQTL遺伝子の単離・同定および機能解析	岩手大学大学院 連合農学研究科	H19.4～
主任専門研究員 猫塚 修一	環境部 病理昆虫研究室	リンドウ褐斑病の病原菌、発生生態および防除法に関する研究	岩手大学大学院 連合農学研究科	H19.4～ H22.3
専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	キュウリホモブシス根腐病の発生生態と防除に関する研究	岩手大学大学院 連合農学研究科	H21.10～

2 海外派遣・研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容等	派遣先	派遣期間
所長 宮下慶一郎 技術部長 島山 均 企画管理部長 古川 勉 主任専門研究員 高橋正樹	企画管理部 研究企画室	中国黒龍江省農業科学院との研究交流に関する意見交換	中国(黒龍江省)	21.08.16 ～21
専門研究員 穴戸 貴洋 主任専門研究員 川村 浩美	環境部 生産環境研究室 技術部 園芸研究室	りんどう海外輸出に係る鮮度保持調査	中国(香港)	21.10.14 ～18
専門研究員 羽田 厚 専門研究員 佐藤千穂子	環境部 プロジェクト推進室 (特裁・有機)	【学会発表】 The 6th Asia-Pacific Congress of The Entomology (APCE 2009)	中国(北京)	21.10.18 ～22
主任専門研究員 山口 貴之	技術部 園芸研究室	【学会発表】 XIIth International Asparagus Symposium	ペルー(リマ)	21.10.29 ～11.1

3 国内研修への派遣

(1) 依頼研究員

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 島山 隆幸	技術部 園芸研究室	リンゴ育種選抜における効率的育種手法の確立	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 果樹研究所 リンゴ研究拠点	21.7.13 ～9.11
専門研究員 田代 勇樹	県北農業研究所 園芸研究室	野菜セル成型苗の生育制御技術の開発	(独)農業・食品産業技術総合研究機構 野菜茶業研究所	21.11.15 ～2.15

(2) 北東北3県研究職員交流(職員派遣)

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 阿部 弘	企画管理部 研究企画室	競争的資金獲得と広域連携について	秋田県農林水産技術センター農業試験場	21.7.29～31 22.1.6
上席専門研究員 藤沢 巧	県北農業研究所 園芸研究室	クロルピクリン剤の冬期処理による病害防除方法		21.10.27～29
専門研究員 田代 勇樹	県北農業研究所 園芸研究室	促成アスパラガス安定生産・品質向上技術研究		21.10.7～9

(3) 農林水産関係研究リーダー研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
病虫害防除部長 赤坂 安盛	病虫害防除部	最新の施策・研究動向、知財、研究企画・管理、部下育成能力向上	農林水産技術会議事務局筑波事務所	H21.5.27～29

(4) 独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 短期集合研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 土澤 一博	企画管理部 農業経営研究室	農業生産における経営の評価方法	農林水産技術会議事務局筑波事務所	H21.7.6～10
主任専門研究員 吉田 宏	東北農業研究所 作物研究室	数理統計基礎編Ⅰ	農林水産技術会議事務局筑波事務所	H21.11.9～13

(5) 農林水産関係中堅研究者研修 (H21該当なし)

(6) その他

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
主任専門研究員 日影 勝幸	プロジェクト推進室(水田農業)	気象予報士技術講習	日本気象予報士会(仙台)	H21.5.23
主任専門研究員 渡邊 麻由子	プロジェクト推進室(水田農業)	研究手法修得研修「埋土雑草種子調査法の習得」	東北農業研究センター(福島研究拠点)	H21.4.7～8
主任専門研究員 渡邊 麻由子	プロジェクト推進室(水田農業)	輪作水田における土壌評価に関する研修	九州沖縄農研(筑後研究拠点)	H21.12.15
技能員 中軽米 徳典	プロジェクト推進室(水田農業)	農業機械整備技術コースⅡ	農林水産研修所つくば館	H21.1.25～29
主任専門研究員 細川 健	プロジェクト推進室(特栽・有機)	生物同定研修	農業環境技術研究所	H21.9.29～30
専門研究員 佐藤 千穂子	プロジェクト推進室(特栽・有機)	生物同定研修	農業環境技術研究所	H21.9.29～30
専門研究員 白井 智彦	プロジェクト推進室(特栽・有機)	研究手法修得研修「埋土雑草種子調査法の習得」	東北農業研究センター(福島研究拠点)	H21.4.7～8
専門研究員 伊藤 信二	技術部 作物研究室	雑草防除担当者研修(東北地域における水田雑草問題の現状等)	東北農研センター(大仙研究拠点)	21.4.21～22
専門研究員 穴戸 貴洋	環境部 生産環境研究室	りんどう輸出に関する実地調査(長期鮮度保持技術に関する現地における確認調査)	香港	H21.10.15～18
専門研究員 高橋 彩子	環境部 生産環境研究室	土壌調査法研修(土壌調査法の習得)	北海道立十勝農業試験場	H21.9.3～4
主任専門研究員 猫塚 修一	環境部 病理昆虫研究室	ウイルス防除研究会	愛媛大学	21.9.2～3
主任専門研究員 猫塚 修一	環境部 病理昆虫研究室	日本育種学会	札幌市	21.9.24～26
主任専門研究員 猫塚 修一	環境部 病理昆虫研究室	統計解析研修(JMPトレーニング)	東京都	21.10.13～14
主任専門研究員 猫塚 修一	環境部 病理昆虫研究室	文献管理ソフト講習会	岩手大学	22.1.14
専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	ハモグリバエ類研修(形態分類(交尾器))	宮城県農業・園芸総合研究所	21.5.15
専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	ヒラタアブ亜科昆虫同定研修	農研センター本部	21.6.23
専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	天敵利用研究会	千葉市	21.11.19～20
専門研究員 羽田 厚	環境部 病理昆虫研究室	難防除害虫対策技術検討会(アザミウマ類)	岡山市	22.3.8
専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	ダイズを加害するチョウ目害虫に関する研究会(大豆を加害するチョウ目害虫に関する知識習得)	北陸農業研究センター	21.4.23～24
専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	平成21年度基礎研修(財務コース)	盛岡市	21.10.26～29

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	天敵利用研究会	千葉市	21.11.19～20
専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	シンポジウム「薬剤抵抗性を考える」	東京都	22.1.19
専門研究員 横田 啓	環境部 病理昆虫研究室	環境保全型農業シンポジウム	東京都	22.3.4
専門研究員 洞口 博昭	環境部 病理昆虫研究室	日本植物病理学会、東北部会	宮城大学	21.9.29～30
専門研究員 洞口 博昭	環境部 病理昆虫研究室	植物病害診断研修会	札幌市	21.10.14
専門研究員 洞口 博昭	環境部 病理昆虫研究室	北日本病害虫研究発表会	仙台市	22.1.17～18
専門研究員 洞口 博昭	環境部 病理昆虫研究室	生物農薬による種子消毒技術	千葉県(出光興産 研究所)	22.3.17
専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	シンポジウム「土壌微生物相の解明による土壌 微生物の解析技術の開発」	東京都	22.9.10
専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	植物病害診断研修会	札幌市	21.10.14
専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	文献管理ソフト講習会	岩手大学	22.1.14
専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	初心者のための和文論文執筆講座	大阪府	22.1.16
専門研究員 岩館 康哉	環境部 病理昆虫研究室	日本植物生理学会	熊本大学	22.3.19～21
主任 加藤 清吾	病害虫防除部 病害虫防除課	ITサポーター研修	奥州市	H21.5.19
技師 村上 太郎	病害虫防除部 病害虫防除課	県南振興局新採用研修	奥州市	H21.5.13
技師 村上 太郎	病害虫防除部 病害虫防除課	農林水産部新採用職員研修会	盛岡市	H21.7.8～9
主任主査 阿部 信治	病害虫防除部 病害虫防除課	ハモグリバエ同定研修(診断技術習得)	宮城県	H21.5.22
技師 佐藤 美和子	病害虫防除部 病害虫防除課	病害虫防除所職員等中央研修	横浜	H21.12.8～28
専門研究員 佐藤 洋一	畜産研究所 家畜育種研究室	QTL解析のOJT	動物遺伝研究所 (福島)	H21.6.17
技師 米澤 智恵美	畜産研究所 家畜育種研究室	肉用牛中央研修	(独)家畜改良セン ター	21.08.17 ～08.21
技師 米澤 智恵美	畜産研究所 家畜育種研究室	中央畜産技術研修(肉用牛)	家畜改良センター-中 央畜産研修施設	21.10.05 ～10.08
主任技能員 竹田 政則	畜産研究所 家畜育種研究室	東北種豚登録講習会	山形県	21.06.29 ～06.30
専門研究員 齋藤 浩和	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究 室	中央畜産技術研修(畜産統計処理(基礎)研修)	家畜改良センター-中 央畜産研修施設	21.07.27 ～08.06
専門研究員 谷藤 直子	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修(畜産統計処理(基礎)研修)	家畜改良センター-中 央畜産研修施設	H21.7.26～ 8.6
専門研究員 菊池 恭則	畜産研究所 外山畜産研究室	中央畜産技術研修(肉用牛)	家畜改良センター-中 央畜産研修施設	H21.10.5～8
主事 伊東 ルミ	畜産研究所 総務課	会計事務担当者研修(会計事務・監査の留意事 項)	県内	H21.5.15
専門研究員 越川 志津	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	泌乳持続性の活用による酪農生産	東京都	H21.11.30
専門研究員 齋藤 浩和	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	泌乳持続性の活用による酪農生産	東京都	H21.11.30
専門研究員 齋藤 浩和	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	放牧牛乳のプレミアム化に向けた研究成果発 表会	畜産草地研究所	H21.3.17
専門研究員 齋藤 浩和	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	全酪連絡農セミナー	仙台市	H21.2.3

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
専門研究員 越川 志津	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼養管理技術セミナー	家畜改良センター-岩手牧場	H21.3.12
専門研究員 越川 志津	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	東北地区登録委員研修会	山形県	H21.8.5～6
主任技能員 右京 隆二	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼養管理技術セミナー	家畜改良センター-岩手牧場	H21.3.12
技能員 谷地 舘 透	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	飼養管理技術セミナー	家畜改良センター-岩手牧場	H21.3.12
専門研究員 尾張 利行	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	産学官セミナー	仙台市	H21.1.15
専門研究員 尾張 利行	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	全国コントラクター情報連絡会議	東京都	H21.2.24
主任専門研究員 多田 和幸	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	全国コントラクター情報連絡会議	東京都	H21.2.24
主任技能員 小笠原 幸一郎	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	危険物取扱者保安講習	矢巾町	H21.11.11
主任技能員 菅原 薫	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	東北地域飼料増産シンポジウム	宮城県	H21.12.14
技能員 水澤 博征	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	東北地域飼料増産シンポジウム	宮城県	H21.12.14
技能員 畠山 博文	畜産研究所 家畜飼養・飼料研究室	玉掛けクレーン運転・玉掛技能講習会(小型クレーンと玉掛の資格取得のための講習会)	県内	H21.1.25～27
主任専門研究員 阿部 亜希子	県北農業研究所 作物研究室	病害虫防除所職員等中央研修(知識習得)	農林水産省	H21.12.14～12.17
技能員 藤根 寛道	県北農業研究所 総務課	担い手育成支援研修農業機械整備技術コースII(知識習得)	農林水産研修所	H21.1.26～1.29
須賀 美奈子 古舘 奈奈	企画管理部 総務課	安全衛生担当者研修(安全衛生に関する研修)	盛岡市 プラザおでって	H21.11.9
小山 武彦	企画管理部 総務課	安全運転管理者研修(公安委員会による研修)	北上市 日本現代詩歌文学館	H21.10.7
伊藤 茂	企画管理部 総務課	副安全運転管理者研修(公安委員会による研修)		

4 所内研修等

(1) 岩手県総務部人事課主催研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
27名	—	能力開発研修、基礎研修の各講座	—	—

(2) 所内研修

職・氏名	所属部所・研究室	研修内容	派遣先	派遣期間
担当職員	—	会計担当者研修会(センター内職員の会計事務処理の適正及び注意事項等研修会)	センター会議室	H21.6.30
全職員	—	交通安全研修会(交通ルールの遵守と事故防止)	センター会議室	H21.7.22
全職員	—	救命救急講習会(AEDを使っでの救命・救急講習会)	センター会議室	H21.8.25
全職員	—	保健衛生教室(健康診断結果の見方)	センター会議室	H22.1.13
全職員	—	知的財産権セミナー(特許出願、品種登録を行うための先行技術調査について)	農業大学校研修館	H22.1.22

4 所内セミナー等

名 称	開催期日	内 容	参集人員
[本 部] 大学院派遣研究成果発表会	22.3.4	リンドウ褐斑病の病原菌、発生生態及び防除法に関する研究 ○猫塚修一(環境部病理昆虫研究室 主任専門研究員)	30 名
依頼研究員等成果発表会	22.3.4	<u>依頼研究員研修成果発表</u> リンゴ育種選抜における効率的育種手法の確立 ○畠山隆幸(技術部 園芸研究室 専門研究員) (派遣先: (独)農研機構 果樹研究所リンゴ研究拠点) 野菜セル成型苗の生育制御技術の開発に関する研究 ○田代勇樹(県北農業研究所 園芸研究室 専門研究員) (派遣先: (独)農研機構 野菜茶業研究所) <u>国際学会発表</u> リンゴ育種選抜における効率的育種手法の確立 ○畠山隆幸(技術部 園芸研究室 専門研究員) (派遣先: (独)農研機構 果樹研究所リンゴ研究拠点) 野菜セル成型苗の生育制御技術の開発に関する研究 ○田代勇樹(県北農業研究所 園芸研究室 専門研究員) (派遣先: (独)農研機構 野菜茶業研究所) 日本の集落単位における農業に有用な農業生物多様性の指標生物の選抜 7.北日本の東北地方の水田地帯 (Selection of indicator organisms for functional agrobiodiversity at a landscape level in Japan. 7.Paddy fields in the Tohoku district, northern Japan) ○佐藤千穂子(プロジェクト推進室(特裁・有機) 専門研究員) 羽田 厚(環境部 病理昆虫研究室 専門研究員) (派遣先: 第6回アジア・太平洋昆虫学会議(The 6th Asia-Pacific Congress of Entomology)〈中国(北京)〉) 短日処理が秋期のアスパラガスの萌芽性に与える影響 (Effects of short-day photoperiod on the growth of asparagus in autumn) ○山口貴之(技術部 園芸研究室 主任専門研究員) (派遣先: 第12回国際アスパラガスシンポジウム)〈ペルー(リマ)〉 <u>研究交流に係る意見交換報告</u> 中国黒龍江省農業科学院との研究交流に関する意見交換 所長 宮下 慶一郎、企画管理部長 古川 勉、技術部長 畠山 均、企画管理部 研究企画室 主任専門研究員 高橋正樹 (派遣先: 黒龍江省農業科学院、東北農林大学他)〈中国(黒龍江省ハルビン他)〉	30 名
[プロジェクト推進室] プロジェクト推進室ゼミ	21.5.15	水田作業機の作業能率について ○藤原 敏(主任専門研究員)	14 名
	21.6.15	水田農業の役割と研究に求められるもの ○及川一也(室長) 田んぼのトンボと生物多様性 ○佐藤千穂子(専門研究員)	16 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
(続・プロジェクト推進室ゼミ)	21.7.15	試験圃場巡回ゼミ プロジェクト推進室各担当者	22 名
	21.9.17	ワークライフバランスと男性の育児参加 伊藤勝浩(上席専門研究員)	12 名
		雑草埋土種子調査法の研修 渡邊麻由子(主任専門研究員) 臼井智彦(専門研究員)	14 名
	21.10.15	人は数字にだまされる！ 日影勝幸(主任専門研究員)	12 名
	21.11.16	公共マーケティングとは 細川 健(主任専門研究員)	12 名
	22.1.15	日本語は難しい 高橋昭喜(主任専門研究員)	12 名
	22.2.17	減圧症のしくみと治療 菅野輝彦(技能員)	12 名
[技術部] 技術部ゼミ	21.04.09	寒冷地においてアスパラガスの周年安定供給を可能とする栽培技術の確立 山口貴之(園芸研究室 主任専門研究員)	22 名
	21.5.08	作物関係試験圃場研修会 作物研究室各担当者	8 名
	21.06.15	～気象変動と農業～ その後のオーストラリア 小綿寿志(作物研究室 主任専門研究員)	18 名
		水稻除草剤、雑草防除について 林尻雄大(作物研究室 主任専門研究員)	
	21.6.26	園芸関係試験圃場研修会 園芸研究室各担当者	16 名
	21.07.06	農研本部圃場説明会への参加	10 名
	21.07.13	東北農業試験研究発表会 事前発表会(発表課題の内容紹介) 菅原浩視(作物研究室 上席専門研究員) 阿部 陽(作物研究室 専門研究員) 高橋 司(園芸研究室 果樹チーム長、主任専門研究員) 小野浩司(園芸研究室 主任専門研究員) 大野 浩(園芸研究室 専門研究員)	12 名
	21.07.23	イチゴ振興について 小田島 雅(南部園芸研究室 専門研究員)	17 名

名 称	開催期日	内 容	参集人員
(続・技術部ゼミ)	21. 10. 09	岩手県におけるリンゴわい化栽培普及の経緯と今後の課題 田村博明(園芸研究室 室長)	15 名
		トマト低段密植栽培2次育苗期における補光が生育に与える影響 高橋拓也(園芸研究室 主任専門研究員)	15 名
	21. 10. 09	国際アスパラガスシンポジウム報告(発表課題の紹介) 山口貴之(園芸研究室 主任専門研究員)	15 名
	21. 11. 06	国際アスパラガスシンポジウム報告(ペルーの様子) 山口貴之(園芸研究室 主任専門研究員)	35 名
	21. 12. 18	イネ低温発芽性遺伝子の単離と北海道におけるDNAマーカー育種の展望 藤野賢治氏(ホクレン農業総合研究所作物機能開発課)	12 名
	22. 03. 24	中国黒龍江省農業科学院との研究交流に関する意見交換の報告 畠山 均(技術部長)	40 名
		りんどう海外輸出に係る鮮度保持調査(香港)報告 川村浩美(園芸研究室 花きチーム長、主任専門研究員)	
		国際アスパラガスシンポジウム報告(総括編) 山口貴之(園芸研究室 主任専門研究員)	
	海外旅行の楽しみ方 漆原昌二(園芸研究室 野菜チーム長、主任専門研究員)		
	コーチヒアリングの体験談 畠山隆幸(園芸研究室 専門研究員)		
[環境部]			
環境部ゼミ	21. 08. 19	気象観測装置の基本操作 大友 英嗣(生産環境研究室 専門研究員)	8 名
	21. 08. 26	真空予冷装置の基本操作 宍戸 貴洋(生産環境研究室 専門研究員)	7 名
	21. 09. 02	グライ層の現地判定法 鈴木 良則(生産環境研究室 上席専門研究員)	7 名
	21. 09. 28	リンドウ苗に発生する斑点症状と苗立枯れとの関連性 猫塚 修一(病理昆虫研究室 主任専門研究員)	10 名
		収穫期の穂いもち被害に関するコホート内症例対照研究 岩館 康哉(病理昆虫研究室 専門研究員)	

名 称	開催期日	内 容	参集人員
(続・環境部ゼミ)	21. 12. 21	デジタル土壌養分分析システムについて 大友 英嗣(生産環境研究室 専門研究員)	9 名
		農作物のエチレンの働きと各種対策資材の作用機構・効果について 宍戸 貴洋(生産環境研究室 専門研究員)	
	22. 02. 12	スイートコーンにおけるアワノメイガ防除適期および生物農薬(BT水和剤)の防除効果 横田 啓(病理昆虫研究室 専門研究員)	10 名
		キュウリホモブシ根腐病に対するクロルピクリンくん蒸剤を用いた深層土壌くん蒸の効果 岩館 康哉(病理昆虫研究室 専門研究員)	
	22. 02. 22	HPLC、GCの基本操作 宍戸 貴洋(生産環境研究室 専門研究員)	5 名
	21. 03. 24	ばか苗について 洞口 博昭(病理昆虫研究室 専門研究員)	11 名
		酒米生産および地酒造りについて 高橋 彩子(生産環境研究室 専門研究員)	
[病害虫防除部] 病害虫防除所内オープンゼミ	21. 8. 25	食卓の安全学～安全で環境に優しい食料生産と消費のために～ 松永和紀(科学ジャーナリスト)	20 名
[畜産研究所] 畜研学会発表等予演会	21.07.29	東北農業試験研究成果発表会予演会	10 名
	21.11.24	海外研修員研修成果発表会	25 名
[県北農業研究所] 東北農業試験研究発表会事前発表会	21. 06. 15	促成伏せ込みアスパラガス1年半養成株における定植時期および秋・春の施肥割合 佐藤正昭(園芸研究室長)	65 名
公開技術セミナー(試験状況公開)	21. 6. 19	県北農業研究所における雑穀研究と今後の展望 (1) 品種関係 仲條真介(作物研究室 主任専門研究員) (2) 機械化栽培技術 荻内謙吾(作物研究室 主任専門研究員) (3) 無化学肥料栽培技術 吉田 宏(作物研究室 主任専門研究員) (4) 病害虫対策技術 阿部亜希子(作物研究室 主任専門研究員)	

名 称	開催期日	内 容	参集人員
所内ほ場巡回説明会	21. 07. 22	所内ほ場の巡回と研究員による試験進捗状況の相互説明会	12 名
作物学会東北支部事前 発表会	21. 8. 18	キビ (<i>Panicum miliaceum</i> L.) の保存条件による外観品質の変化 荻内謙吾 (作物研究室 主任専門研究員)	10 名
		新品種「ヒエ岩手2号」の中胚軸伸長特性と育苗法の改良 仲條真介 (作物研究室 主任専門研究員)	
県北農業研究所参観 デーシンポジウム	21. 09. 02	雑穀セミナー (1) 二戸地域雑穀栽培実証展示圃について 高家幸恵 (二戸農業改良普及センター 農業普及員) (2) 畑雑穀 (アワ、キビ) における機械化栽培技術 (雑草管理、収穫技術) 荻内謙吾 (作物研究室 主任専門研究員) (3) 雑穀害虫の発生生態と環境に優しい防除技術 鈴木敏男 (次長兼作物研究室長)	65 名
所内ゼミ (個人発表)	21. 11. 26	数理統計研修復命研修 吉田 宏 (作物研究室 主任専門研究員)	9 名
		研究者へ贈る言葉「農業関係試験場の再編整備と今後の方向」 武藤和夫 (所長)	14 名

試験研究以外の業務概要

1 作物の原々種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原々種種子の生産

種類	品種	面積 (a)	採種量 (kg)	備考 (採種場所等)
水稻(うるち)	あきたこまち	3	66	農業研究センター
	ササニシキ	3	84	"
	ひとめぼれ	10	164	"
小麦	生産無し	-	-	-
大豆	生産無し	-	-	-

(2) その他原々種種子の生産

種類	品種	面積(単位)	採種量(単位)	備考(採種場所等)
小豆	ベニダイナゴン	1.0(a)	4.5(kg)	農業研究センター
りんどう	AZ系	-	20ml	"
	北海道系	-	10ml	"
	矢巾系	-	20ml	"
	ササ系	-	25ml	"
	その他	-	20ml	"

2 作物の原種の採種

(1) 主要農作物種子法に基づく原種種子の生産

種 類	品 種	面 積 (a)	採種量 (kg)	備 考 (採種場所等)
水稲うるち	かけはし	60	1,400	農業研究センター
	いわてっこ	60	1,820	"
	あきたこまち	60	1,820	"
	どんぴしゃり	30	900	"
	ササニシキ	30	820	"
	ひとめぼれ	330	11,900	"
水稲もち	カグヤモチ	10	260	農業研究センター
	ヒメノモチ	40	1,460	"
	もち美人	25	500	"
小麦	ナンブコムギ	300	5,790	農業研究センター
	ネバリゴシ	40	1,800	"
大豆	ナンブシロメ	87	950	農業研究センター
	スズカリ	77	950	"

(2) その他原種種子の生産

種 類	品 種	面 積(単位)	採種量(単位)	備 考(採種場所等)
小豆	岩手大納言	4 (a)	25 (kg)	農業研究センター
そば	岩手早生	50 (a)	350 (kg)	岩手生工研ほ場借用
小ぎく	アイمامアーリーイエロー	-	20株	農業研究センター
	アイمامホワイト	-	20株	"
	アイمامホワイトピーチ	-	20株	"
	アイمامピンク	-	20株	"
	アイمامイエロー	-	20株	"
	アイمامレモンイエロー	-	20株	"
	アイمامオータムホワイト	-	20株	"
	アイمامパープルレッド	-	20株	"
	アイمامアーリーホワイト	-	20株	"
	アイمامオレンジ	-	20株	"
	アイمامレッド	-	20株	"
りんどう	ENG	-	10ml	農業研究センター
	AZ系	-	30ml	"
	IHO	-	20ml	"
	HO2・1・4	-	20ml	"
	えぞ早生	-	20ml	"
	Sen2	-	20ml	"
	Y5・1・4	-	20ml	"
	Y5・3・1	-	20ml	"
	OK100	-	10ml	"
	TO2S	-	10ml	"

3 種苗等の配布

(1) 主要農作物種子法に基づく種苗の配布

種 類	品 種	数 量 (kg)	配 布 先
水稲うるち原種 (22年採種圃用)	かけはし	520	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	いわてっこ	1,700	〃
	あきたこまち	3,000	〃
	どんびしゃり	640	〃
	ササニシキ	300	〃
	ひとめぼれ	11,060	〃
	ぎんおとめ	30	〃
	吟ぎんが	80	〃
	つぶみのり	120	〃
	つぶゆたか	100	〃
水稲もち原種 (22年採種圃用)	カグヤモチ	200	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ヒメノモチ	1,200	〃
	もち美人	100	〃
小麦原種 20年採種圃播種用	ナンプコムギ	3,810	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	ゆきちから	1,650	〃
	ネバリゴシ	270	〃
大豆原種 20年採種圃播種用	ナンプシロメ	840	(社) 岩手県農産物改良種苗センター
	スズカリ	633	〃
	青丸くん	31	〃
	すずほのか	9	〃
	ユキホマレ	32	〃
	コスズ	9	〃

注) 旧年産の種子も供給していること。

(2) その他種苗の配布

種 類	品 種	数 量(単位)	配 布 先
小豆原種	岩手大納言	5(kg)	(社)岩手県農産物改良種苗センター
	ベニダイナゴン	3(kg)	〃
そば原種	岩手早生	32(kg)	〃
えだまめ原種			配付実績無し
りんどう	採種用母株培養株		(社)岩手県農産物改良種苗センター
	IHO	20株	
	えぞ早生	65	
	HO2・1・4	35	
	Sen2	135	
	Y5・1・4	70	
	Y5・3・1	15	
	採種用母株実生苗		
	ENG	360株	
	IHO	150	
	えぞ早生	180	
	HO2・1・4	100	
	Y5・1・4	180	
Y5・3・1	200		
TO	80		

4 県有種雄牛の精液の供給

(畜産研究所種山畜産研究室:平成22年3月31日現在)

(1) 黒毛和種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
菊福秀	673	823	1,007	1,337	1,880	1,878	1,898	1,631	1,796	1,374	1,247	1,242	16,781
菊安舞鶴	836	775	778	529	433	544	314	427	383	299	212	185	5,715
来待招福	424	393	310	423	217	179	110	163	108	78	66	50	2,521
金菊徳	180	148	138	127	86	120	90	42	118	70	35	40	1,189
飛良美継	155	130	80	124	35	94	83	71	79	212	87	250	1,400
雪乃花	70	75	73	62	88	80	56	140	100	170	175	205	1,294
平北勝1	55	25	30	15	30	25	5	9	25	10	5	5	239
北真鶴	38	27	33	20	12						26	5	161
岩輝57	11	13	13	10	25							5	77
平福国1	30			5	5				10			5	60
糸安菊		5				5		5					15
房平茂		10				5						10	25
城乃神	5	5	5	5									20
第5八雲			10			10							20
安福菊						20							20
原茂勝		10	10										20
純康大									30	90	38	5	163
桜銀次		2	8			10	10						30
大和魂		40									5		45
糸景平				5									5
その他	5					23	30	200	10	65	28	20	381
計	2,483	2,486	2,495	2,662	2,811	2,973	2,591	2,688	2,679	2,368	1,924	2,027	30,189

(2) 日本短角種

(単位:本)

種雄牛の名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
高福	30			3									33
福藤			20	10									30
川辰								13					13
木川12		15			2			20					37
波辰	5		10					20					35
その他	8			6			2				5	5	26
計	43	15	30	19	2		2	53			5	5	174

5 種豚、種鶏等の配布

(畜産研究所家畜育種研究室:平成22年3月31日現在)

(1) 銘柄鶏の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌(羽)	雄(羽)	計	
南部かしわ雛(羽)	6,730	1,080	7,810	岩手しずくいし南部かしわ生産組合他
軍鶏×ロード種卵(個)			700	

(2) 種豚の配布

品 種	種 類			配 布 先
	雌	雄	計	
L(頭)	7	0	7	県内養豚農場
B(頭)	13	4	17	県内養豚農場
LW(頭)	18	0	18	県内養豚農場
計	38	4	42	

6 寄託放牧

(畜産研究所外山畜産研究室:平成22年3月31日現在)

(1) 牛

品 種	種 類			計(頭)
	成牛雌(頭)	成牛雄(頭)	子牛(頭)	
日本短角種	67	1	57	125

(2) 馬

品 種	種 類			計(頭)
	成馬雌(頭)	成馬雄(頭)	子馬(頭)	
ブル系等	14	1	6	21

人事、予算、財産

1 岩手県農業研究センター予算 (H21・2月補正現計)

(単位:千円)

区 分	(内 訳)	予 算 額
【農業費】		
人件費(本部・県北)		778,778
庁舎管理費(本部)		106,418
庁舎管理費(施設整備費)		108,231
ほ場管理費(本部)		52,574
ふれあい公園管理運営費		18,448
庁舎管理費(県北)		25,169
ほ場管理費(県北)		5,827
試験研究費 (国庫、委託試験 等)		121,268
(1)植物防疫研究費	12,432	
(2)土壌対策研究費	4,090	
(3)農業関係試験研究委託事業費	82,083	
(4)民間委託試験研究費	22,663	
高生産性農業新技術開発促進研究費 (県単研究費)		25,056
主要農作物採種管理費		16,252
令達事業(本部)		26,746
令達事業(県北)		4,436
合 計		1,289,203
【畜産業費】		
人件費(畜産)		428,058
庁舎管理費		68,558
飼育管理費		149,342
種山畜産研究室管理費		112,916
試験研究費 (国庫、委託試験 等)		11,885
農業関係試験研究委託事業	11,885	
高生産性畜産新技術開発促進研究費 (県単研究費)		22,302
令達事業		38,006
合 計		831,067
全 体 計		
		2,120,270

2 建物・用地の面積及び飼養家畜数 (H21.3.31現在)

(1) 建物・用地の面積

	用 地 (ha)								建物(m ²)	
	耕 地					林野等	施設用地	総面積	棟数	延面積
	水田	畑	樹園地	採草放牧地	小計					
本 部	30	28	21		80	16	23	118	79	29,676
北 上	26	18	21		65		18	84	32	19,198
【主な施設面積(内数)】										
管理棟										2,911
実験研究棟										5,057
作物調査研究棟										716
育苗ガラス温室										992
穀物乾燥原種調整調査棟										860
園芸作物調査棟										716
生産環境調査棟										608
ふれあい公園						16	2	17	13	3,431
南部園芸研究室		1			1		0	2	6	1,522
旧銘柄米開発研究室	4	1			5		2	7	25	4,684
その他		8			8		0	8	3	841
畜産研究所		136		1,535	1,671	399	38	2,108	181	36,427
滝沢(本所)		68		14	82	50	33	165	124	23,299
外山畜産研究室		6		1,471	1,477	241	5	1,722	42	6,676
種山畜産研究室		63		50	112	108	0	221	15	6,452
県北農業研究所	1	11	0		12		8	20	16	6,746
合 計	31	175	22	1,535	1,762	415	69	2,246	261	62,508

(2) 飼養家畜頭数

(単位:頭・羽)

種別性別		雄	雌	計	品種別頭羽数
乳用牛	経産牛		63	63	ホルスタイン種 110
	育成牛(子牛含む)		47	47	
肉用牛	(滝沢)	90	49	139	黒毛和種 54、日本短角種 75、交雑種 10
	(外山)	19	121	140	黒毛和種 81、日本短角種 59
	(種山)	111	46	157	黒毛和種 141、交雑種 16
牛 計		220	326	546	
豚	種豚	16	31	47	【種豚の内訳】 パークシャー種 22、ランドレース種(イワテハヤチネL2) 12、大ヨークシャー種 2、デュロック種 2、雑種 9
	子豚	150	150	300	
	計	166	181	347	
鶏	種鶏	400	1,500	1,900	岩手地鶏 300、岩手大型ロード 450、基礎鶏 300、ホワイトロックロード 500、軍鶏 300、ホワイトロック 50
	南部かしわ雛	50	500	550	
	計	450	2000	2450	

3 種苗登録、特許等

(1) 種苗登録

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
りんどう	いわて乙女	第 544号	S59. 3.19	育成者権失効
りんどう	ジョバンニ	第 1,101号	S61. 8. 8	〃
りんどう	イーハトーヴォ	第 1,100号	S61. 8. 8	〃
大豆	緑良	第 2,517号	H 2.12. 5	〃
大豆	緑翠	第 2,516号	H 2.12. 5	〃
りんどう	アルビレオ	第 2,553号	H 2.12. 5	〃
りんどう	マシリイ	第 3,073号	H 4. 2.29	〃
りんどう	ホモイ	第 3,074号	H 4. 2.29	〃
ぶどう	エーデルアアーリー	第 3,404号	H 5. 3.10	
りんご	きおう	第 3,947号	H 6. 3.14	
りんどう	アルタ	第 4,085号	H 6. 8.22	育成者権失効
稲	かけはし	第 4,410号	H 7. 3.23	
稲	ゆめさんさ	第 4,411号	H 7. 3.23	育成者権放棄
りんどう	ポラーノ ホワイト	第 4,999号	H 8. 3.18	
りんどう	あおこりん	第 7,713号	H12. 2.22	
りんどう	ももこりん	第 7,714号	H12. 2.22	
りんどう	ポラーノ ブルー	第 7,715号	H12. 2.22	
大豆	星めぐり	第 7,756号	H12. 2.22	
稲	吟ぎんが	第10,471号	H14. 9. 4	
スターチス	アイスター モーブ	第10,673号	H14. 9.30	育成者権放棄
スターチス	アイスター ラベンダー	第10,674号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラックブルー	第10,675号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ロージーピンク	第10,676号	H14. 9.30	〃
スターチス	アイスター ライラック	第10,677号	H14. 9.30	〃
稲	ぎんおとめ	第10,963号	H15. 2.20	
大豆	ちやげ丸	第11,099号	H15.3.17	
大豆	ぶっくらこ	第11,100号	H15.3.17	
稲	いわてっこ	第12,177号	H16. 8.18	
きく	アイمامアーリーイエロー	第13,034号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイト	第13,035号	H17. 3.23	
きく	アイمامピンク	第13,036号	H17. 3.23	
きく	アイمامイエロー	第13,037号	H17. 3.23	
きく	アイمامホワイトピーチ	第13,038号	H17. 3.23	
稲	もち美人	第13,295号	H17. 9.13	
りんご	黄香	第13,771号	H18. 2.27	
きく	アイمامレモンイエロー	第13,800号	H18. 2.27	
きく	アイمامオータムホワイト	第13,801号	H18. 2.27	
きく	アイمامパープルレッド	第13,802号	H18. 2.27	

種 類	登録(出願)品種の名称	登 録 番 号	登 録 年 月 日	備 考
きく	アイمامアーリーホワイト	第13,803号	H18. 2.27	
きく	アイمامオレンジ	第15,952号	H19.12.18	
きく	アイمامレッド	第15,953号	H19.12.18	
稲	どんびしゃり	第16,604号	H20. 3.17	
りんどう	マジエル	第16,725号	H20. 3.17	
りんどう	キュースト	第16,726号	H20. 3.17	
スターチス	アイスター ソフトピンク	出願番号第18,507号	出願(H17. 7. 8)	登録申請取り下げ
きく	アイمامオータムイエロー	第17,727号	H21. 3. 6	
きく	アイمامオータムレッド	第17,728号	H21. 3. 6	
きく	アイمامピュアホワイト	第17,968号	H21. 3.19	
りんご	岩手7号	第18,415号	H21. 9.10	
稲	あけのむらさき	出願番号第22,432号	出願(H20. 4. 2)	
稲	吟さやか	出願番号第22,433号	出願(H20. 4. 2)	
稲	ゆきおとめ	出願番号第22,434号	出願(H20. 4. 2)	
稲	かぐやの舞	出願番号第22,435号	出願(H20. 4. 2)	
稲	つづみ星	出願番号第22,436号	出願(H20. 4. 2)	
稲	つぶゆたか	出願番号第23,347号	出願(H21. 1. 5)	
稲	つぶみのり	出願番号第23,348号	出願(H21. 1. 5)	
りんどう	いわてVEB6号	出願番号第23,382号	出願(H21. 1.16)	
ひえ	ねばりっこ1号	出願番号第23,655号	出願(H21. 3.31)	
ひえ	ねばりっこ2号	出願番号第23,656号	出願(H21. 3.31)	
ひえ	ねばりっこ3号	出願番号第23,657号	出願(H21. 3.31)	
りんどう	いわてDPB1号	出願番号第23,964号	出願(H21. 8. 3)	
りんどう	ももずきんちゃん	出願番号第23,965号	出願(H21. 8. 3)	

(2) 特許、実用新案

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
米を原料とした飲料の製造方法	特開平03-272671 (H 3.12. 4)	1990534(H 7.11. 8)
牧草種子の播種方法及び牧草種子の散布用の複合肥料ペレット	特開平10-276514 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
マクロシードペレットの散布装置	特開平10-276516 (H10.10.20)	(公開・拒絶査定)
遺伝子導入りんご及びその作出法	特開2000-270700 (H12.10. 3)	(公開・拒絶査定)
果樹の育成状態評価方法	特開2004-147539 (H16. 5.27)	4026684(H19.10.19)
土壌用有機成分の推定装置	特開2005-017115 (H17. 1.20)	3902160(H19. 1.12)
ハトムギ食品の製造方法	特開2005-040104 (H17. 2.17)	3842253(H18. 8.18)
家畜用胚移植器	特開2006-181078 (H18. 7.13)	4111523(H20. 4.18)
降霜予測装置	特開2006-189403 (H18. 7.20)	4053544(H19.12.14)

名 称	出願・公開番号(年月日)	登録番号(年月日)
有機肥料の製造方法及び有機肥料	特開2006-265027 (H18.10. 5)	4240492(H21. 1. 9)
物質の成分推定方法及び物質の成分推定装置	特開2007-187486 (H19. 7.26)	4258780(H21. 2.20)
水田作業機の排水溝形成装置	特願2008-304112(H20.11.28)	(出願・審査請求中)
りんどうの鮮度保持用包装袋及びりんどうの保存方法	特願2009-008551(H21. 1.19)	(出願中)
高設栽培装置及びこれを用いた高設栽培方法	特願2009-078260(H21. 3.27)	(出願・審査請求中)

(3) 一般に公開しているプログラム等

名 称	公 開 (年月日)	バージョン	担当研究室(開発者)
「生産技術体系」及び「営農計画作成支援シート」	平成18年 2月22日	ver.1.2	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
集落営農組織化効果試算シート	平成18年 6月 9日	ver.0.1	農業経営研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
作業可能日数率算出支援シート	平成19年 3月30日	ver.1.0	生産工学研究室 (主任専門研究員 前山 薫)
里地里山の生き物紹介	平成20年 7月 9日	ver.1.0	プロジェクト推進室 (専門研究員 佐藤千穂子)
水稻施肥設計支援シート	平成21年 7月 6日	ver.2.0	生産環境研究室 (専門研究員 大友英嗣)

4 表彰

表彰内容（表彰団体）	表彰の対象者（組織）	表彰の対象となった研究成果等	年月日
農事功績者表彰農業技術開発名誉賞（(社)大日本農会）	岩手県農業研究センター畜産研究所 生物特定産業技術支援センター、(株)タカキタ、スター農機㈱、畜産草地研究所、家畜改良センター、宮崎県畜産試験場、熊本県農業研究センター畜産研究所、愛媛県農林水産研究所畜産研究センター、岡山県総合畜産センター、三重県畜産研究所、群馬県畜産試験場、福島県農業総合センター畜産研究所、北海道立釧路農業試験場、おかやま酪農協同組合、おかやま酪農協同組合津山地区コントラクター組合	細断型ロールペーラの研究開発	21.11.18
平成21年度第1回農林水産部長表彰	主任専門研究員 仲條 眞介 主任専門研究員 吉田 宏 作物研究室長 大清水 保見 主任専門研究員 漆原 昌二 専門研究員 阿部 陽	品種 半もち・短稈の早・中・晩ヒエ「ねばりっこ1号」「ねばりっこ2号」「ねばりっこ3号」(出願公表中)の育成	21.10.27
平成21年度第2回農林水産部長表彰	主任専門研究員 猫塚 修一	りんどう重要病害の防除技術の開発による安定生産への貢献	22.3.25
(内部表彰) 平成21年度第1回農業研究センター所長表彰	主任専門研究員 日影 勝幸 上席専門研究員 伊藤 勝浩 病理昆虫研究室長 一守 貴志 主任専門研究員 昆野 善考 主任専門研究員 伊勢 智宏 研究企画室長 小田原 和弘 専門研究員 松浦 貞彦 主任専門研究員 前山 薫 主任専門研究員 藤尾 拓也 南部園芸研究室長 佐藤 弘 主任専門研究員 高橋 司 主任専門研究員 小野 浩司 主任専門研究員 猫塚 修一 専門研究員 岩館 康哉 生産環境研究室長 小菅 裕明 専門研究員 大友 英嗣 主査 大友 令史	最新版「水稻直播栽培指針」の作成 農業研究センターの見える化 ～試験研究成果等の積極的な情報提供～ 旅行命令票及び購入票作成支援システムの開発 イチゴの低コスト、環境保全型高設栽培技術の開発 リンゴ授粉専用品種の選抜と利用法の確立 リンゴせん定枝の有効利用技術の開発 リンドウこぶ症の発生実態調査に基づく当面の発生防止対策 重要研究備品原子吸光光度計の更新無償導入 アカスジカスミカメの生態に関する調査研究	21.9.1

表彰内容（表彰団体）	表彰の対象者（組織）	表彰の対象となった研究成果等	年月日
	運転技士兼技能員 日山 千代司	担当業務に熟達し業務に精励並びに他の職員の模範	
平成21年度第2回農業研究センター所長表彰	上席専門研究員 藤澤 巧 専門研究員 岩館 康哉	簡易検定法によるハウレンソウ萎ちょう病の耐病性評価	21.11.25
平成21年度第3回農業研究センター所長表彰	主任専門研究員 渡邊 麻由子 主任専門研究員 日影 勝幸 専門研究員 及川 あや	飼料用イネ(WCS)における耕種法を組み合わせた効率的な雑草防除法の確立	22.2.19
	専門研究員 佐藤 千穂子 主任専門研究員 細川 健	日本の集落単位における農業に有用な生物多様性の指標生物の選抜	
	主任専門研究員 土澤 一博 専門研究員 松浦 貞彦 農業経営研究室長 小川 勝弘 主任専門研究員 豊坂 光弘	イブキジャコウソウを活用した省力的法面管理技術の確立と現地普及活動	
	農業経営研究室長 小川 勝弘 専門研究員 松浦 貞彦	農業経営研究室研究マネジメントシステムの開発による研究開発の生産性向上	
	専門研究員 及川 あや 主任専門研究員 伊勢 智宏 専門研究員 阿部 弘	自主的な活動による農業ふれあい公園等の魅力向上に貢献	
	主任専門研究員 高橋 拓也	行政品質向上運動における模範的な取り組み	
	主任専門研究員 小野 浩司	リンゴわい化栽培における農薬散布低減技術の開発	
	専門研究員 大野 浩	りんご「ふじ」わい性台木利用樹の簡便な樹相診断手法	
	専門研究員 畠山 隆幸	リンゴ岩手系統の親子鑑定と交雑和合性	
	専門研究員 宍戸 貴洋	切り花りんどうの鮮度保持技術の開発	
	主任専門研究員 猫塚 修一	「リンドウ褐斑病の発生生態と防除対策」に関する研究成果の取りまとめと博士号の取得	
	専門研究員 羽田 厚 上席専門研究員 藤澤 巧	キャベツ圃場における環境保全型農業の効果を示す指標生物候補の選定	
	技師 藤澤 由美子	イネばか苗病の増加要因の解析と対応策の提示	
	技師 斎藤 真理子 主査 大友 令史	斑点米被害の要因解析と要因を排除するための耕種的防除の実証	

表彰内容（表彰団体）	表彰の対象者（組織）	表彰の対象となった研究成果等	年月日
	主任専門研究員 荻内 謙吾 運転技士兼技能員 日山 千代司	キビ・アワ機械化栽培マニュアルの策定	
平成21年度第1回畜産研究所長表彰	上席専門研究員 熊谷 光洋	「和牛育種交配支援データベース」の作成による「育種価検索システム」の改良	21.8.27
	専門研究員 佐々木 直 主任技能員 米沢 健治 主任技能員 竹田 政則 主任技能員 菅原 薫 技能員 荒屋 康之 非常勤専門職員 山沢 博幸 期限付き臨時職員 佐藤 英明 日々雇用職員 高橋 久男 日々雇用職員 志田藤喜枝子	豚舎のきめ細かな温度管理による保温燃料(ガス)使用量などの経費節減	
平成21年度第2回畜産研究所長表彰	技能員 西野 聖 技能員 谷地舘 透 技能員 上澤 賢輝	目標飼養頭数の早期達成	21.11.30
平成21年度第3回畜産研究所長表彰	上席専門研究員 細川 泰子	受胎率向上のための黒毛和種受胎牛の飼育管理技術の確立	22.2.22
	専門研究員 安田 潤平	日本短角種枝肉脂肪中の脂肪酸組成に影響を与える要因の解析	
	専門研究員 佐々木 直	豚の肥育全期間(体重30～110kg)における玄米混合給与が産肉性に及ぼす影響	
	専門研究員 谷藤 直子	粗砕カキ殻施用草地における土壌改良効果の持続性について(利用5年目)	
	専門研究員 齋藤 浩和 専門研究員 越川 志津	初妊牛における環境性乳房炎予防技術の確立	

5 職員名簿

(平成22年3月31日現在)

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
所長	宮下 慶一郎	技能員	西野 哲仁	技師	斎藤 真理子
副所長	(欠員)	技能員	小黒澤 清人	技師	村上 太郎
プロジェクト推進室長	及川 一也	園芸研究室長	田村 博明	畜産研究所長	佐々木 宏
上席専門研究員	伊藤 勝浩	[果樹チーム]		次長	清枝 純一
主任専門研究員	高橋 昭喜	主任専門研究員	高橋 司	次長	小松 繁樹
主任専門研究員	日影 勝幸	主任専門研究員	小野 浩司	次長	山田 和明
主任専門研究員	渡邊 麻由子	専門研究員	大野 浩	主幹兼総務課長	陣場 秀信
技能員	菅野 輝彦	専門研究員	畠山 隆幸	主任主査	柳本 登
技能員	中軽米 徳典	[野菜チーム]		主任	吉田 由美子
プロジェクト推進室長	多田 勝郎	主任専門研究員	漆原 昌二	主事	伊東 ルミ
主任専門研究員	藤原 敏	主任専門研究員	高橋 拓也	運転技士兼技能員	吉田 正弘
主任専門研究員	細川 健	主任専門研究員	山口 貴之	主任技能員	関村 武志
専門研究員	臼井 智彦	[花きチーム]		主任技能員	小笠原 幸一郎
専門研究員	佐藤 千穂子	主任専門研究員	川村 浩美	主任技能員	石川 勝美
企画管理部長	古川 勉	主任専門研究員	星 伸枝	主任技能員	小林 雄二
研究企画室長	小田原 和弘	主任専門研究員	赤坂 志保	主任技能員	米沢 健治
主任専門研究員	勝部 和則	専門研究員	中里 崇	主任技能員	右京 隆二
主任専門研究員	稲田 聖児	南部園芸研究室長	佐藤 弘	主任技能員	工藤 明彦
主任専門研究員	伊勢 智宏	主任専門研究員	藤尾 拓也	主任技能員	荒木田 俊一
主任専門研究員	高橋 正樹	専門研究員	小田島 雅	主任技能員	竹田 政則
専門研究員	阿部 弘	環境部長	千葉 泰弘	主任技能員	菅原 薫
農業経営研究室長	小川 勝弘	生産環境研究室長	小菅 裕明	技能員	永洞 俊司
主任専門研究員	昆野 善孝	上席専門研究員	鈴木 良則	技能員	細野 貴樹
主任専門研究員	前山 薫	主任専門研究員	中野 亜弓	技能員	鷲見 義信
主任専門研究員	豊坂 光弘	専門研究員	大友 英嗣	技能員	畠山 博文
主任専門研究員	土澤 一博	専門研究員	穴戸 貴洋	技能員	水澤 博征
専門研究員	松浦 貞彦	専門研究員	高橋 彩子	技能員	上澤 賢輝
専門研究員	阿部 直行	技能員兼運転技士	佐藤 広昭	技能員	後藤 克明
主幹兼総務課長	小山 武彦	技能員兼運転技士	貉澤 哲哉	技能員	谷地 舘透
主査	照井 博幸	病理昆虫研究室長	一守 貴志	技能員	荒屋 康之
主事	小笠原 和夫	主任専門研究員	猫塚 修一	技能員	西野 聖
主事	須賀 美奈子	専門研究員	羽田 厚	家畜育種研究室長	吉田 力
主事	古舘 奈奈	専門研究員	横田 啓	上席専門研究員	佐藤 直人
主事	小林 慶幸	専門研究員	洞口 博昭	上席専門研究員	細川 泰子
技術部長	畠山 均	専門研究員	岩舘 康哉	専門研究員	佐藤 洋一
作物研究室長	佐々木 力	病虫害防除部長	赤坂 安盛	専門研究員	安田 潤平
上席専門研究員	菅原 浩視	病虫害防除課長	阿部 武美	専門研究員	佐々木 直
主任専門研究員	小綿 寿志	主任主査	阿部 信治	技師	米澤 智恵美
主任専門研究員	林 尻雄大	主査	大友 令史	家畜飼養・飼料研究室長	菊池 雄
専門研究員	阿部 陽	主任	加藤 清吾	主任専門研究員	多田 和幸
専門研究員	及川 あや	技師	藤澤 由美子	主任専門研究員	堀間 久己
専門研究員	伊藤 信二	技師	佐藤 美和子	専門研究員	越川 志津
技能員	菊地 徳章	技師	藤田 章宏		

職名	氏名	職名	氏名	職名	氏名
専門研究員	尾 張 利 行				
専門研究員	齋 藤 浩 和				
外山畜産研究室長	砂 子 田 哲				
主任専門研究員	藤 澤 牧 人				
専門研究員	菊 池 恭 則				
専門研究員	谷 藤 直 子				
主任技能員	藤 原 時 夫				
主任技能員	上 野 由 克				
技能員	鳴 海 茂 揮				
技能員	葉 木 澤 一 也				
種山畜産研究室長 (次長兼務)	山 田 和 明				
上席専門研究員	菊 池 正				
上席専門研究員	熊 谷 光 洋				
主任専門研究員	小 梨 茂				
専門研究員	藤 村 和 哉				
主事	管 野 潔				
主任技能員	斎 藤 和 一				
主任技能員	佐 藤 洋 貴				
主任技能員	中 村 健				
技能員	松 本 徹				
県北農業研究所長 次長	武 藤 和 夫 鈴 木 敏 男				
総務課長	工 藤 一 也				
主査	阿 部 君 男				
運転技士兼技能員	日 山 千 代 司				
技能員	清 水 賢 一				
技能員	藤 根 寛 道				
園芸研究室長	佐 藤 正 昭				
上席専門研究員	藤 沢 巧				
主任専門研究員	川 戸 善 徳				
専門研究員	成 田 恵 美				
専門研究員	田 代 勇 樹				
作物研究室(次長兼 務)	鈴 木 敏 男				
主任専門研究員	吉 田 宏				
主任専門研究員	荻 内 謙 吾				
主任専門研究員	仲 條 眞 介				
主任専門研究員	阿 部 亜 希 子				

沿革

- 明治31年 種馬厩を盛岡市に設置。
- 明治34年 農事試験場(3部制:庶務・種芸・分析)を本宮村向中野(現盛岡市)に設置。
種馬厩を種畜場と改称。
- 明治35年 種畜場を盛岡市から滝沢村に移転。
- 明治36年 農事試験場に園芸部(4部制)を新設。
- 大正 2年 原蚕種製造所を胆沢郡水沢町(現奥州市水沢区)に設置。
- 大正 8年 農事試験場胆江分場を江刺郡愛宕村(現奥州市江刺区)に設置。
- 大正11年 原蚕種製造所を蚕業試験場(4係制:庶務・蚕種・試験・桑園)と改称。
- 大正12年 農事試験場に病虫部(5部制)を新設。
外山御料牧場を種畜場に移管し、種畜場本場を玉山村(現盛岡市玉山区)に移転(滝沢は支場となる)。
- 昭和 2年 種鶏場を岩手郡巻掘村(現盛岡市玉山区)に設置。
- 昭和 5年 農事試験場軽米農場を九戸郡軽米町に設置。
蚕業試験場一戸桑園を二戸郡一戸町に設置。
- 昭和10年 農事試験場遠野試験地を上閉伊郡松崎村(現遠野市)に設置。
- 昭和12年 種畜場本場を滝沢村に移転、玉山は外山支場となる。
蚕業試験場六原桑樹試験地を金ヶ崎町に設置。
- 昭和13年 蚕業試験場一戸桑園を一戸支場と改称。
- 昭和15年 農事試験場軽米農場を九戸分場と改称。
- 昭和21年 農事試験場高冷地試験地を二戸郡小鳥谷村(現一戸町)に設置。
- 昭和22年 農事試験場遠野試験地が国営に移管。
- 昭和23年 種鶏場を紫波郡日詰町(現紫波町)に移転。
- 昭和25年 農事試験場を農業試験場(4部制:総務・営農・農産・畜産)と改称。
農業試験場畜産部を種畜場と併設。
農業試験場葡萄試験地を稗貫郡大迫町(現花巻市大迫町)に設置。
農業試験場沿岸作物試験地を九戸郡長内村(現久慈市)、下閉伊郡豊間根村(現山田町)及び気仙郡小友村(現陸前高田市)に委託設置。
- 昭和26年 農業試験場南部試験地を気仙郡米崎村(現陸前高田市)に設置。
農業試験場に遠野試験地が国から移管。
農業試験場に農業経営研究部門設置。
工芸作物原種農場を雫石町に設置。
- 昭和28年 蚕業試験場を水沢市(現奥州市水沢区)龍ヶ馬場に移転。
- 昭和30年 農業試験場本場機構改革(8部制:庶務・種芸・化学・園芸・病虫・経営・農機具・畜産)。
蚕業試験場機構改革(4部制:庶務・栽桑・養蚕・病理化学)。
- 昭和32年 蚕業試験場一戸支場を一戸分場と改称。
- 昭和36年 蚕業試験場一戸分場を二戸郡一戸町上野に新築移転。
- 昭和37年 農業試験場の園芸部、南部試験地及びぶどう試験地を分離して園芸試験場(3部制:庶務・果樹・蔬菜花卉)を北上市に設置。南部試験地及びぶどう試験地をそれぞれ、南部分場、大迫圃場と改称。
農業試験場胆江分場及び九戸分場をそれぞれ、県南分場、県北分場と改称。
種畜場に種鶏場及び農業試験場畜産部を併合して畜産試験場を滝沢村に設置。
農業試験場遠野試験地及び沿岸作物試験地を廃止。
工芸作物原種農場を農業試験場に統合し、原種部を設置。
- 昭和38年 農業試験場本場を盛岡市から滝沢村へ移転。
- 昭和39年 畜産試験場外山支場を外山試験地と改称。
- 昭和41年 農業試験場本場機構改革(4部制:庶務2係・技術・環境・経営)。
- 昭和44年 園芸試験場蔬菜花卉部を野菜花き部に改称。
- 昭和46年 農業試験場本場機構改革(科制導入。技術部:水田作科・畑作科・作業技術科、環境部:施肥改善科・土壌改良科・病害虫科、経営部:経営科・流通経済科)。
農業試験場県南分場及び県北分場に分場次長を設置。
農業試験場高冷地試験地を園芸試験場へ移管し、高冷地分場となる。
園芸試験場に環境部を設置。
園芸試験場大迫圃場を大迫試験地と改称。
畜産試験場外山試験地を外山分場と改称。
- 昭和47年 園芸試験場南部分場を陸前高田市米崎町から同市高田町へ移転。

昭和48年	蚕業試験場六原桑樹試験地を六原試験地と改称。
昭和51年	農業試験場作業技術科を農業機械科に改称。
昭和53年	蚕業試験場六原試験地を廃止。 蚕業試験場養蚕部、病理化学部をそれぞれ養蚕経営部、環境部に改称。
昭和56年	園芸試験場高冷地分場を高冷地開発センターに改称。
昭和57年	蚕業試験場整備計画実施(～昭和58年)。
平成 3年	農業試験場に水稻育種科を設置。
平成 8年	畜産試験場種山肉用牛改良センターを住田町に設置。
平成 9年	農業試験場、蚕業試験場、園芸試験場及び畜産試験場を農業研究センターに再編整備。 農業試験場本場、園芸試験場本場、同大迫試験地及び蚕業試験場本場を統合し、北上市にセンター本部を設置。 農業試験場県南分場及び園芸試験場南部分場をそれぞれ銘柄米開発研究室、南部園芸研究室と改称。 農業試験場県北分場、園芸試験場高冷地開発センター及び蚕業試験場一戸分場を統合し、軽米町に県北農業研究所を設置。 畜産試験場を畜産研究所に改組。 畜産試験場外山分場及び種山肉用牛改良センターをそれぞれ外山畜産研究室、種山畜産研究室に改称。 県北農業研究所に専門技術員を配置。
平成10年	園芸畑作部蚕桑技術研究室繭品質評価分室を盛岡市に設置(繭検定所を廃止)。 センター本部に専門技術員を配置。
平成11年	企画経営情報部マーケティング研究室を農業経営研究室に統合。
平成13年	病害虫部を新設し、病害虫防除課及び病理昆虫研究室を設置。 銘柄米開発研究室、蚕桑技術研究室及び同研究室繭品質評価分室を廃止。 南部園芸研究室を陸前高田市高田町から同市米崎町へ移転。
平成16年	総務部管理課を同部総務課に統合。 県北農業研究所にいわて雑穀遺伝資源センターを設置。 企画経営情報部内にいわて農林水産知的財産相談センターを設置。
平成17年	病害虫防除課県北農業研究所駐在を廃止、病害虫防除所(本部)へ統合。 専門技術員(県北農業研究所勤務)を専門技術員室(本部)へ勤務振り替え。
平成18年	専門技術員室を廃止(中央農業改良普及センターへ勤務振り替え)。 いわて農林水産知的財産相談センターを閉鎖(業務は岩手県知的所有権センターで実施)。
平成20年	センター本部が2プロジェクト推進室4部体制、畜産研究所が1課4研究室、県北農業研究所が1課2研究室に再編整備。

<所 在>

岩手県農業研究センター		
本 部	〒024-0003	岩手県北上市成田20-1 Tel. 0197-68-2331 FAX. 0197-68-2361 ホームページ http://www.pref.iwate.jp/~hp2088/ Email : CE0008@pref.iwate.jp(本部) Email : CE0001@pref.iwate.jp(病害虫防除所)
(南部園芸研究室)	〒029-2206	岩手県陸前高田市米崎町字川崎101 Tel. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093
畜産研究所	〒020-0173	岩手県岩手郡滝沢村字砂込737-1 Tel. 019-688-4326 FAX. 019-688-4327 Email : CE0010@pref.iwate.jp
(外山畜産研究室)	〒028-2711	岩手県盛岡市玉山区藪川字大の平40 Tel. 019-681-5011 FAX. 019-681-5012
(種山畜産研究室)	〒029-2311	岩手県気仙郡住田町世田米字飼沢30 Tel. 0197-38-2312 FAX. 0197-38-2177 Email : CE0034@pref.iwate.jp
県北農業研究所	〒028-6222	岩手県九戸郡軽米町大字山内23-9-1 Tel. 0195-47-1070 FAX. 0195-49-3011 Email : CE0009@pref.iwate.jp

平成 2 1 年度 岩手県農業研究センター年報
平成 22 年 10 月発行

岩手県農業研究センター

〒024-0003 岩手県北上市成田 2 0 - 1

TEL(0197)68-2331 FAX(0197)68-2361

IWATE-AGRICULTURAL RESEARCH CENTER

20-1Narita,Kitakami Iwate 024-0003,Japan

